



酪農学園大学への主な交通機関

(1) 全国主要空港から

- 仙台空港～新千歳空港(約70分)
- 伊丹空港～新千歳空港(約115分)
- 羽田空港～新千歳空港(約95分)
- 福岡空港～新千歳空港(約155分)
- 中部国際空港～新千歳空港(約105分)

(2) 新千歳空港から

- 空港地下のJR新千歳空港駅から「快速エアポート」で
- JR札幌駅(約40分)下車→(3)参照
- JR新札幌駅(約30分)下車→(4)参照

(3) JR札幌駅・札幌市営地下鉄さっぽろ駅から

- JR札幌駅から函館本線江別・岩見沢方面行き「普通列車」に乗車し(約15分) JR大塚駅下車→大塚駅南口から徒歩約15分
- 札幌市営地下鉄さっぽろ駅から南北線真駒内方面行きに乗車し(約2分)大通駅下車→東西線新さっぽろ方面行きに乗車し(約19分)新さっぽろ駅下車→(4)参照

(4) JR新札幌駅・札幌市営地下鉄新さっぽろ駅から

- バス会社：ジェイ・アール北海道バス
下車停留所：酪農学園前(国道12号沿いのバス停)
新札幌バスターミナル・北レーン10番乗り場より下記のバスにご乗車ください。
[新26] 行先／野幌駅北口・江別駅前
[新27] 行先／江別市立病院
[新29] 行先／情報大学前・野幌運動公園
※乗車時間は約15分。下車後、徒歩約10分にて本学に到着。

- バス会社：夕鉄バス
下車停留所：酪農学園前(構内)(本学敷地内のバス停)
新札幌バスターミナル・北レーン12番乗り場より下記のバスにご乗車ください。
[札幌線] 行先／あけぼの団地昭光福祉会前
[札幌代行線] 行先／南幌東町
※乗車時間は約15分。

- バス会社：夕鉄バス
下車停留所：酪農学園前(国道12号沿いのバス停)
新札幌バスターミナル・北レーン12番乗り場より下記のバスにご乗車ください。
[札幌代行線] 行先／栗山駅前
[新札幌線] 行先／新夕張駅前
※乗車時間は約15分。下車後、徒歩約10分にて本学に到着。



生きるを学ぶ。学びが生きる。
酪農学園大学

■農食環境学群 (循環農学類) (食と健康学類) (環境共生学類)

■獣医学群 (獣医学類) (獣医保健看護学類)

■大学院 (獣医学研究科) (酪農学研究科)

<https://www.rakuno.ac.jp>

〒069-8501 北海道江別市文京台緑町582番地

入試広報センター

TEL (011)388-4138 0120-771-663

FAX (011)386-1220

【障がいのある方への支援について】受験や就学については、事前にご相談ください。

酪農学園大学では、健康増進法の第25条に受動喫煙防止が規定されたことを受け、教育・研究・医療機関としての法の精神に鑑み、2011年4月1日から敷地内を全面禁煙としています。

この大学案内は2023年3月現在の情報を基に作成しております。また、掲載写真の一部は新型コロナウイルス感染拡大以前に撮影したものを使用しております。



酪農学園大学は、2020年度公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価において、大学評価基準に適合していると認証されました。

酪農学園大学公式サイト



受験生サイト



公式Facebook



公式LINE



公式Instagram



公式Twitter



酪農学園大学

大学案内2024

RAKUNO GAKUEN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2024



生きるを学ぶ。
学びが生きる。

GAKUEN
UNIVERSITY

酪農学園大学
公式サイト



大学って、何をするとところだろう？
みんなが行くから、行くところ？
就職のための通過点？

自分の「好き」を かたちにするところ

私たち酪農学園大学は、そう考えています。
それを次の5学類で追求し、日々実践しています。



「人と地球を守る持続性のある農業生産システムのスペシャリスト」を目指す
循環農学類

「食を科学的に追究する食のスペシャリストと、人々の健康を支える管理栄養士」を目指す
食と健康学類

「地球を構成する動・静物を診断、修復する環境のスペシャリスト」を目指す
環境共生学類

「臨床から先端研究までを視野に入れた獣医師」を目指す
獣医学類

「高度化する獣医療をサポートするスペシャリスト」を目指す
獣医保健看護学類

人間は好きなことに打ち込む時に、全力を傾けて努力します。
そして目標を達成した時に、深い喜びを感じます。
あなたが自分の「好き」に打ち込んで、
人格の形成という「かたち」に結びつけ
人生を切り拓いていくことを
酪農学園大学のすべての教職員は全力で応援します。



RAKUNO
GAKUEN
UNIVERSITY

Contents

- 3 建学の精神
- 4 沿革
- 5 教育基本方針
- 7 学群・学類紹介
- 9 基盤教育
- 11 農食環境学群
循環農学類
- 23 農食環境学群
食と健康学類
- 35 農食環境学群
環境共生学類
- 47 獣医学群紹介
- 49 獣医学群
獣医学類
- 59 獣医学群
獣医保健看護学類
- 69 酪農学園大学大学院
- 70 酪農学園大学で教員を目指す
- 71 国際交流
- 72 地域・企業との連携
- 73 学内の実習施設
 - 酪農学園フィールド教育研究センター
 - 食品加工実習室・乳製品製造実験実習室
 - B4号館
 - 附属動物医療センター
- 81 キャリアサポート
- 82 OB・OGメッセージ
- 87 卒業生就職データ
- 89 キャンパス紹介
- 91 部活動 クラブ・サークル
- 93 暮らし（学生寮・1人暮らし）
- 95 オープンキャンパス情報
- 97 キャンパスマップ

建学の精神

酪農学園大学は、一人の青年の 熱い想いから始まった。

酪農学園大学は創立時から変わらない想いを受け継いでいます。
それは一人の青年が生涯をかけた使命感から生まれたもの。
そして北海道の酪農の振興と歩みを同じくするもの。
創立者 黒澤西蔵の軌跡のなかには、本学に息づく建学の精神があります。



創立者
黒澤 西蔵(くろさわ とりぞう)
1885(明治18)年茨城県久慈郡世矢村(現常陸太田市)に生まれる。20歳で北海道に渡り、牧夫になる。以後、96歳までの生涯をかけて酪農の振興に尽力し、農民のための会社を立ち上げ、農民のための学校をつくった。その業績から、日本酪農の父と呼ばれる。

海道畜牛研究会を結成し、生乳が余って酪農家たちが危機に立たされた時には、酪農家自らが製品をつくって売る北海道製酪販売組合、現在の雪印メグミルクを立ち上げました。こうして北海道酪農のリーダーとなった西蔵は、寒地農業に必要なのは酪農を軸とした「循環農法」でなければならぬとの思いを強くします。

循環農法

「地下資源には限りがある。しかし土の寿命は尽きることがない。その生命力を育てれば無尽蔵の資源となる」、「農業とは天地人の合作によって、人間の生命の糧を生み出す聖業である」ことから、人と自然が共生し、物質やエネルギーが循環するシステムをつくる思想。「循環農法」は「健土健民」思想の実践といえます。

◆すべては農民教育のために

「人が育たなければ、酪農が育つわけがない」、酪農家の組織化運動のなかで教育の必要性を実感した西蔵は、1933(昭和8)年に酪農学園大学の前身である北海道酪農義塾を開校します。不毛の大地を酪農によって沃野に変えたデンマークを手本としました。当時は全寮制で学生は農場の一員となり働きながら学ぶ実践学を徹底。卒業生たちは地元に戻って酪農のモデル経営者として活躍するなど、酪農の発展に貢献しました。その後、1950(昭和25)年に酪農学園短期大学を開校するに際し、キリスト教の聖書からとった「三愛主義」を建学の精神として教育の根幹としました。そして、1960(昭和35)年には酪農学園大学を開校しました。

三愛主義

本学の人間教育は、神を愛し、人を愛し、土を愛す、「三愛主義」に基づきます。「神を愛し」とは善き人になろうと努力すること、「人を愛し」とは互いの違いを受け入れて生かしあうこと、「土を愛す」とは大地を健康に育てること。この3つの愛が合わさって初めて、健やかな人と大地が生まれます。

◆未来へ受け継がれる想い

2020(令和2)年に酪農学園大学は60周年を迎えました。時代とともに学びの分野が酪農から農業や食品、獣医、自然環境まで広がりましたが、その根本に流れる思想は一貫して変わっていません。「健土健民」の理念のもと一人ひとりの個性を磨き、身に付けた知識や技術を社会で活かす力を育む「実学教育」を実践し、知識だけではなく行動を伴う「知行合一」を目指しています。酪農を通じて人の真の豊かさを追い求めた西蔵の想いは、今もこれからも生き続けていきます。

知行合一

単に知識を身に付けるだけではなく、知識と実践は一体であることを意味しています。「健土健民」の思想の下で高邁な学識技能を有する「知行合一」の有能な農業人ならびに社会の人材を養成することを本学の目的としています。



酪農義塾農場(札幌村三角 1935年)

沿革

1933(昭和 8)年	北海道酪農義塾開設
1942(昭和17)年	野幌機農学校開設
1948(昭和23)年	学制改革により野幌機農学校を野幌機農高等学校に校名変更 野幌高等酪農学校(通信教育)開設 (1991(平成 3)年3月に廃止)
1949(昭和24)年	酪農学園大学部(各種学校)を開設 (1950(昭和25)年3月に廃止)
1950(昭和25)年	酪農学園短期大学酪農科を開設
1958(昭和33)年	酪農学園女子高等学校(全日制 普通科)を開設
1960(昭和35)年	酪農学園大学酪農学部酪農学科を開設 酪農学園女子高等学校を三愛女子高等学校に校名変更
1962(昭和37)年	酪農学園短期大学製造科を開設 (1972(昭和47)年3月に廃止)
1963(昭和38)年	酪農学園大学酪農学部農業経済学科を開設
1964(昭和39)年	酪農学園大学酪農学部獣医学科を開設 酪農学園短期大学酪農科を1コース(全日制)、2コース(季節制)(1984(昭和59)年3月に廃止)とする 野幌機農高等学校を酪農学園機農高等学校に校名変更
1975(昭和50)年	酪農学園大学大学院獣医学研究科獣医学専攻(修士課程)を開設
1978(昭和53)年	酪農学園大学酪農学部獣医学教育修士課程を含む6年制に移行
1981(昭和56)年	酪農学園大学大学院獣医学研究科獣医学専攻(博士課程)を開設 酪農学園大学大学院酪農学研究科酪農学専攻(修士課程)を開設
1984(昭和59)年	三愛女子高等学校英語コースを開設 酪農学園機農高等学校を酪農学園大学附属高等学校に校名変更
1985(昭和60)年	酪農学園短期大学を北海道文理科短期大学に校名変更 北海道文理科短期大学教養学科を開設 (1999(平成11)年12月に廃止)
1988(昭和63)年	酪農学園大学酪農学部食品科学科を開設 三愛女子高等学校をとわの森三愛高等学校(共学)に校名変更

1990(平成 2)年	北海道文理科短期大学経営情報学科を開設 (1999(平成11)年12月に廃止)
1991(平成 3)年	酪農学園大学附属高等学校ととわの森三愛高等学校が統合し、(新生)とわの森三愛高等学校(酪農経営科・普通科・英語科)を開設 酪農学園大学大学院酪農学研究科食生産利用科学専攻(博士課程)を開設
1994(平成 6)年	酪農学園大学酪農学部食品流通学科を開設
1995(平成 7)年	酪農学園大学大学院酪農学研究科フードシステム専攻(修士課程)を開設
1996(平成 8)年	酪農学園大学獣医学部獣医学科を開設(酪農学部獣医学科を改組)
1998(平成10)年	酪農学園大学環境システム学部経営環境学科及び地域環境学科を開設 北海道文理科短期大学を酪農学園大学短期大学部に校名変更及び酪農科を酪農学科に学科名変更
2001(平成13)年	酪農学園大学酪農学部食品科学科に食品科学専攻と健康栄養学専攻(管理栄養士)の2専攻を開設
2003(平成15)年	酪農学園大学大学院酪農学研究科食品栄養科学専攻(修士課程及び博士課程)を開設
2011(平成23)年	酪農学園大学農食環境学群循環農学類・食と健康学類・環境共生学類及び獣医学群獣医学類・獣医保健看護学類を開設(酪農学部・獣医学部及び環境システム学部を改組) 酪農学園大学短期大学部募集停止 (2012(平成24)年10月に廃止)
2015(平成27)年	酪農学園大学大学院獣医学研究科獣医保健看護学専攻(修士課程)を開設
2016(平成28)年	酪農学園大学酪農学部農業経済学科・食品科学科食品科学専攻・食品科学科健康栄養学専攻・食品流通学科、環境システム学部地域環境学科廃止
2017(平成29)年	酪農学園大学酪農学部酪農学科、環境システム学部環境マネジメント学科・生命環境学科廃止
2019(平成31)年	とわの森三愛高等学校を酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校に校名変更
2020(令和 2)年	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校通信制課程に農食環境科学科設置認可
2021(令和 3)年	酪農学園大学 獣医学部獣医学科廃止

◆田中正造との出会いが思想の原点

茨城の貧しい農家に生まれた西蔵は、14歳で学業を志して東京に出ました。住み込みの仕事しながら学校に通うなか、16歳の時に足尾鉾毒事件で田中正造氏を知り、その正義感と人間愛に感銘を受けます。この出会いが西蔵の一生を決定づけました。田中正造氏は、人間にとって国土がいかに大切かを語り、「**健土健民**」を理想とする西蔵の思想の根がつくられたのです。鉾毒によって田畑を汚染され、健康を損なった農民救済のため西蔵は「青年行動隊」の結成を図りましたが、被害救済をめぐる世論が広がっていたときだけに、官憲は彼を極端に警戒しました。「反対運動よりも示談が得策だ」とする農民を説得しようとしたところ、西蔵は逮捕・投獄され、6カ月間の未決拘留の後、無罪の判決が下されました。しかしこの獄中での聖書との出会いが、その後の人生に大きな影響を与えました。

健土健民

「健やかな土地から生み出される健やかな食物によって健やかな生命が育まれる」、この理念は本学の前身「北海道酪農義塾」から脈々と受け継がれてきた実学教育の核をなすものです。

◆北海道に渡り、酪農の発展に尽くす

田中正造氏の援助によって学業を修めていた西蔵でしたが、母の死を契機に貧しい弟妹を守るため、20歳で北海道に渡りました。宇都宮牧場の宇都宮仙太郎氏から牛飼いは「役人に頭をさげなくてもよい」「牛が相手だからウソをつかなくてもよい」「牛乳は人々を健康にする」という酪農三得を教わり、西蔵は一生を酪農に捧げる決心をします。1909(明治42)年に牛1頭を借りて念願の酪農自営を果たしました。事業にまい進するなかで北



教育基本方針（一部抜粋）

「学位授与の方針」 （ディプロマ・ポリシー）

建学の精神である「三愛主義」「健士健民」のもと、「農・食・環境・生命」の各分野における豊富な知識や高い実践能力を備え、視野の広い専門家として地域と世界の継続的な発展に貢献できる学生に「学士」の学位を授与します。

農食環境学群

農食環境学群では、建学の精神である健士健民および循環思想のもとで、土・植物・動物の重要性を体系的に理解するとともに、諸問題の解決策を示すための論理的な思考力と問題解決能力を備え、「農・食・環境」各々の社会に貢献できる資質を身に付けた学生に「学士」の学位を授与します。

循環農学類

循環農学類では、1～2年次において「基盤教育」と「専門基礎教育」で循環型社会の基礎を学び、3年次から始まる「専門教育」では、酪農学、畜産学、農学、農業経済学の4コースに各々所属し、各コースの到達目標に向けて学びを深めます。

食と健康学類

食と健康学類では、1～2年次において「基盤教育」と「専門基礎教育」で食資源の特性や栄養学の基礎を学び、3年次から始まる「専門教育」では、食資源開発、食品流通開発あるいは管理栄養士のいずれかに所属し、各コースの到達目標に向けて学びを進めます。

環境共生学類

環境共生学類では、1～2年次において「基盤教育」と「専門基礎教育」で環境問題の基礎を学び、3年次から始まる「専門教育」では、野生動物学と生命環境学の2コースいずれかに所属し、各コースの到達目標に向けて学びを深めます。

獣医学群

獣医学群では、建学の精神のもとで、獣医学と獣医保健看護学及びその関連科学分野の教育をとおして生命を尊ぶ豊かな人間性を育み、国際的な視野に立って人と動物の健康保持、環境保全ならびに食料の安定供給に寄与して「One Health」に貢献できる学生に「学士」の学位を授与します。

獣医学類

獣医学類では、1～2年次において「基盤教育」と「専門基礎教育」および「専門教育」で、動物の体の構造や機能、動物に関する倫理や福祉、また、実践的な英語や統計学を学び、3～4年次では、伴侶・産業動物の臨床や食の安全等を学習します。4年次からは「専修教育」にて研究室に所属して専門的研究を行い、5年次には少人数での参加型実習を行い、最終学年において、研究発表並びに最終的には獣医師国家試験受験に臨みます。

獣医保健看護学類

獣医保健看護学類では、1～2年次において「基盤教育」と「専門基礎教育」で基礎学力および獣医学における基礎知識を学び、3年次から始まる「専門教育」では、動物看護師として必要な専門知識と技術を学内外の実習等で身に付けます。学類の到達目標に向けて学びを深め、最終学年において、研究発表並びに愛玩動物看護師国家試験に臨みます。

「教育課程編成・実施の方針」 （カリキュラム・ポリシー）

本学の教育課程では、「農・食・環境・生命」に関する知識並びに実践力を段階的に身に付けることができるよう、基盤教育科目から専門基礎教育科目へ、そして専門教育科目・専修教育科目へと体系的な学修を取り進めていきます。

農食環境学群

社会で活躍できる豊かな人間性と専門性を兼ね備えた人材となるために、「農・食・環境」に関する知識と実践力を段階的に身に付けることができるよう基盤教育科目から専門基礎教育科目へと体系的に学修するカリキュラムとなっています。

循環農学類

循環型社会で活躍できる豊かな人間性と専門性を兼ね備えた人材となるために、酪農・畜産、作物、農業経済に関する知識と実践力を段階的に身に付けることができるよう基盤教育科目、専門基礎教育科目から専門教育科目へと体系的に学修するカリキュラムとなっています。

食と健康学類

社会で活躍できる豊かな人間性と専門性を兼ね備えた人材となるために、食資源、食品加工、食品流通に関する知識と実践力を段階的に身に付けることができるよう、基盤教育科目、専門基礎教育科目そして専門科目への体系的に学修するカリキュラムとなっています。

環境共生学類

環境との共生および環境問題の解決に資する豊かな人間性と専門性を兼ね備えた人材となるために、野生生物、生命環境に関する知識と実践力を段階的に身に付けることができるよう、年次を追って体系的に学修するカリキュラムとなっています。1年次には主に基盤教育科目によって幅広い教養と社会人基礎力を身に付け、2年次には主に専門基礎教育科目によって専門性の礎を築きます。3～4年次には主に専門教育科目を履修し、より専門性を深め、様々なスキルを会得するとともに、社会に貢献できる力の獲得を目指します。

獣医学群

幅広い知識や高い実践能力を身に付け、社会で即戦力となる人材となるために、「獣医学」「獣医保健看護学」に関する知識並びに学内外での実習科目における経験を段階的に身に付けることができるよう基盤教育科目、専門基礎教育科目から専門教育科目へと体系的に学修するプログラムとなっています。専修教育科目では、研究や討論を実践的に積み上げる学生参加型の講義・実習が展開されます。

獣医学類

獣医師として必要な専門科目の講義や実習を1年次から段階的に学習することにより、幅広い知識や技術を効率よく学ぶことができます。4年次には全国の獣医大学共通の獣医学共用試験を受験し、5年次には実際の患者動物を対象とした参加型臨床実習を行います。6年次には研究発表を行うとともに、獣医師国家試験合格に向けた6年間の学習内容の総まとめを行います。本学類の学士課程は大学基準協会の獣医学教育に関する基準に適合したものであり、また、カリキュラムは欧州獣医学教育国際認証（EAEVE）に合うカリキュラムとなっています。

獣医保健看護学類

ディプロマ・ポリシーに示す知識、技術、思考などの能力を身に付けるため、基盤教育、専門基礎教育、専門教育および専修教育からなるカリキュラムを編成しています。愛玩動物看護師国家資格取得のための専門科目を設けると共に、動物看護師として、高度な知識と高い実践能力を身に付けることを目標とし、社会で即戦力となる人材を育成できるカリキュラムを展開します。

「入学者受け入れの方針」 （アドミッション・ポリシー）

酪農学園大学

農業を基幹産業とする自然豊かな北海道の大地で学ぶことを望み、「農・食・環境・生命」に関する専門的知識と技能を習得し、地域と世界の持続的な発展に貢献する意欲にあふれ、主体性を持ち多様な人々と協働して学修する人を求めています。

農食環境学群

持続可能な食料生産分野、人の健康を支える食品科学分野あるいは生命を育む環境分野に興味を持ち、「農・食・環境」の各々の専門家として、社会の発展に貢献したいという意欲にあふれ、主体性を持ち多様な人々と協働して学修する人を求めています。

学 類 別

循環農学類

持続可能な食料生産分野の発展に興味を持ち、循環型社会を築く農業技術開発、研究および技術支援等を行う農業科学の専門家として、社会に貢献したいという意欲にあふれ、主体性を持ち多様な人々と協働して学修する人を求めています。

食と健康学類

●食資源開発学コースおよび食品流通開発学コース

人の健康を支える食品関連分野に興味を持ち、食資源ならびに食品の開発、および食品流通の技術開発、研究等を行う食品科学の専門家として、食を通して人間社会に貢献したいという意欲にあふれ、主体性を持ち多様な人々と協働して学修する人を求めています。

●管理栄養士コース

人の心とからだの健康を支える栄養学分野に興味を持ち、人々の健康増進、生活の質を向上させる栄養管理、栄養指導等を行う専門家として、人間社会に貢献したいという意欲にあふれ、主体性を持ち多様な人々と協働して学修する人を求めています。

環境共生学類

生命を育む環境全般に興味を持ち、発展を続ける人間社会と地球を構成する自然界の生命および環境との調和と共生のための学びを深める環境学の専門家として、持続可能な社会の発展に貢献したいという意欲にあふれ、主体性を持ち多様な人々と協働して学修する人を求めています。



獣医学群

社会に対する幅広い視野を持ち、地域さらには世界における人と動物との調和に対し深い関心を示し、日々進歩する最新知識を吸収できる基礎学力を有し、常に自ら積極的に学ぶ意欲を持ち、人間社会に貢献したいという意欲にあふれた人を求めています。

獣医学類

動物と人との調和に関する様々な事柄に興味を持ち、獣医療を通した動物と人の健康保持、食料の安全確保と安定供給、および環境保全や感染症制御などの公衆衛生の専門家または研究者として人間社会に貢献したいという意欲にあふれ、主体性と広い視野を持ち多様な人々と協働して学修する人を求めています。

獣医保健看護学類

動物と人との関係に関する様々な事柄に興味を持ち、動物の福祉と健康向上、および動物と環境との調和を図る動物看護師として、人間社会に貢献したいという意欲にあふれ、主体性を持ち多様な人々と協働して学修する人を求めています。

教育基本方針
全文はコチラから



すべての学びは つながっている

酪農学園大学の2学群5学類は互いに深く関係しています。

そのつながりを生かし、あなたの「好き」を他の分野と結びつけて、大きく発展させることができます。

たとえば、酪農経営×食の安全・安心×自然再生エネルギー=地球の環境保全かもしれません。

「好き」から始まる新しい未来を、あなた自身の手で創造できます。



農食環境学群

基盤教育については、**9-10ページ**をご覧ください

循環農学類

安全な食料を供給する農業について、酪農学・畜産学・農学・農業経済学など多角的に追究する。



食と健康学類

食の生産、加工・製造、流通ならびに健康など、食のシステムに関して幅広く学ぶ。



環境共生学類

野生動物学・生命環境学を学び、環境と調和・共生する社会の形成に貢献できる力を育成する。



獣医学群

獣医学類

獣医療をはじめ生命科学における先端的研究を推進する、高度な専門性を有した獣医師を育成する。



獣医保健看護学類

獣医学と動物看護学を学び、幅広い獣医保健看護領域を担える人材を育成する。



農食環境学群の中では、3つの学類の枠を超えて興味のある科目を履修できます。また、「循環農学類」と「食と健康学類」には教員養成を目的とした「教職コース」を設置しています。
※農食環境学群(管理栄養士コースを除く)では、「教職コース」に所属しなくても学類の各コースで専門的に学びながら教員免許を取ることができます。

1年次 基盤教育	2年次 専門基礎教育	3・4年次 専門・専修教育
		酪農学コース 畜産学コース 農学コース 農業経済学コース
酪農学園導入教育	教職コース ※循環農学類、食と健康学類いずれかの学類に所属する。	
人文社会科学教育	食資源開発学コース 食品流通開発学コース	
キャリア教育 ※1	管理栄養士コース	
自然科学教育		野生動物学コース 生命環境学コース
保健体育教育		
外国語教育		4年次 ⇒ 6年次まで 生体機能学 感染・病理学 予防獣医学 生産動物医療学 伴侶動物医療学
情報教育 ※2		基礎動物看護学 応用動物看護学 臨床動物看護学

詳しくは
11ページ

詳しくは
23ページ

詳しくは
35ページ

詳しくは
49ページ

詳しくは
59ページ

※1 獣医学群を除く
※2 管理栄養士コースは2年次開講

つながりの大切さを学ぶ 生きる力を付ける

1・2年次に多く開講する「基盤教育」は、高校までの受動的な学びから大学の主体的な学びへと姿勢を変える大事なプロセスです。全国から集まった仲間たちと協同する中でチームワークの大切さを知り、学生の自主性を促す幅広い学習によって自ら課題を乗り越える力を身に付けます。それは2年次以降の専門基礎教育および専門教育・専修教育に進んだ時、そして社会に出た時にも、柔軟な心を持って何事もあきらめることなく進んでいける力「人間力」として活かされます。



基盤教育の紹介動画はこちら

農食環境学群（一部の授業を紹介）

バターづくり



製造実習ではバターをつくります。生クリームをペットボトルに入れて振り続けること約10分。なめらかな黄金色のバターができます。

キャンパス内にある農場の畑を使って、作物を育てたり、管理したりします。土に触れ、晴天や雨といった天候が作物の生育に及ぼす影響などを実際に体験することで、知識と経験を養います。

基礎ゼミ農園



教室での講義

酪農学園大学の建学の精神を知ること大事な学び。さらに、文学や経済学などの人文・社会科学から生物学、化学などの自然科学まで、さまざまな領域を学びます。単に知識を得るだけでなく、グループ発表をしたり、論理的思考方法を習得することで、学びの姿勢を身に付けます。

体育実技

バドミントンや卓球、軽スポーツ等を用いて運動の重要性と個々人に必要とされる適切な運動の方法について学び、それらを実践します。チームプレーやコンビプレーなど、自分と他人との関わり合いの中で社会性や道徳性を養います。



搾乳

搾乳体験は実際のミルクングパーラーを利用します。



学びの流れ

1年次
基盤教育

2年次
基盤教育
専門基礎
教育

3・4年次
専門教育
専修教育

授業科目区分

酪農学園導入教育

人文社会科学教育

自然科学教育

保健体育教育

情報教育

外国語教育

キャリア教育※

※獣医学群を除く

搾乳体験などの実習から、社会学や生物学まで、五感全部を使って「つながり」の大切さを知る。この一年で、キミは何を得て、どれだけ成長するだろうか。

獣医学群（一部の授業を紹介）

羊に関連した実習



放牧場での飼料給与。ここでは、羊の種類とその特徴や行動について観察を行います。実際に羊の毛刈りを行うことで、細部の身体的特徴も観察します。

肉牛農場での実習



肉牛の聴診。ここでは、体格測定やブラッシングを通じて肉牛の各部位名称や体型的特徴を学びます。また、牛舎は現地の環境に合わせた仕様で設計したもので、農場の構造や衛生環境についても学ぶことができます。

内視鏡検査実習



犬の胃のモデルを用いて、内視鏡検査の手技を実際に体験します。

豚に関連した実習



子豚の聴診。ここでは交配・分娩から肥育・出荷まで一連の流れを理解するとともに、畜舎清掃や飼料給与などの管理業務も学びます。

動物の救命処置体験



気道確保から心臓マッサージまでの救命処置の流れと技法を犬のモデルを用いて実際に体験します。

乳を用いた実験室での実習



細菌の分離培地を使用した乳の検査方法と、光学顕微鏡を用いた乳の観察方法を学び、生乳と市販乳の違いについて理解を深めます。

牛舎でのハンドリング実習



乳牛の診察の流れを理解するため、乳牛に頸絡（とうらく）を付けて歩かせてスタンションで固定し、聴診するところまで実際に体験します。

鶏に関連した実習



鶏の聴診。鶏の特徴を実際に触れながら学びます。採卵や飼料給与など管理業務も体験します。

循環農学類

College of Agriculture, Food and Environment Sciences
Department of Sustainable Agriculture



循環農学類の紹介
動画はこちら

生命科学としての 農学を学ぶ



学びのポイント

point 1

「生命科学」としての農学を学ぶ

私たちの生存に必要な食料の生産を、理論と技術の両面から支える、それが農学の役割です。循環農学類では、フィールドに関連する問題を発見し、生命科学のメスで切り込むことを通じて、本質を見極めて能動的に行動する力を養います。



point 3

持続可能な社会の担い手を目指す

本学の創立者・黒澤酉蔵が80年以上前に唱えた「循環農法」の精神は、循環農学類に受け継がれています。SDGsに注目が集まるなか、環境にやさしく持続可能な農業、未利用資源の活用、気候変動対策といった、現代社会の課題の解決に取り組んでいます。



point 2

多彩な分野、多彩な仲間

循環農学類には約50の研究室があり、自然科学から社会科学、さらには人文科学にわたる、広範な学問範囲を扱っています。全国47都道府県から集まってくる多様な仲間と切磋琢磨しながら、取り組めるテーマの広さは無限大です。



point 4

北海道まるごと全部が私たちのフィールド

フィールドとの距離が近いことも循環農学類の強みです。3つの生産ステーションはもちろん、日本の食料基地・北海道も私たちのフィールド。現場のリアルな問題に向き合うことが実践的な学びにつながり、新しい知識への好奇心をかきたてます。



取得可能資格

必要要件を満たせば卒業と同時に取得可能な資格です。

- 中学校教諭1種(理科・社会)
- 高等学校教諭1種(理科・農業・公民)
※教職コースに所属しなくても教員免許の取得は可能です。
- 准学校心理士
- 家畜(牛)人工授精師
※講習会受講・最終試験合格の場合
- 家畜体内(外)受精卵移植
※講習会受講・最終試験合格の場合

学類でサポートする資格

- 簿記検定2級・3級
- 経済学検定(ERE)
- 食生活アドバイザー3級
- 北海道フードマイスター
- 食の6次産業化プロデューサー(レベル1・2・3)
- 食品衛生責任者
- 学芸員

受験資格

必要要件を満たせば受験する資格が得られます。

- ペット栄養管理士

任用資格

特定の職業に任用されるための資格。資格を取得後、その職務に就いて初めて効力を発揮する資格です。

- 食品衛生監視員
- 食品衛生管理者
- 飼料製造管理者

目指す職業

- 食品関連産業
(乳業・食品、小売店など)
- 農業関連産業
(肥料・飼料、動物医薬品など)
- 試験研究機関、動物飼育員
- 農業協同組合、家畜人工授精師
- 中学・高校教員、公務員
(行政職など)
- 酪農・農業経営、農業法人 など

3・4年次 専門教育 コース紹介

3・4年次 専門教育 酪農学コース

乳を生産する家畜の飼養管理、家畜育種をはじめ、飼料生産、衛生管理、家畜行動、生産物利用にかかわる科学を修学するとともに、酪農場における物質循環について学ぶ。サブコースとして農家実習を通じて酪農現場をより深く理解する実践酪農学コースがある。

コース TOPICS

- 酪農の本場・北海道で本物の酪農学を学ぶ
- 充実した施設で多様な畜種（乳牛、肉牛、豚、鶏、羊など）の生産技術を実践的に習得
- 学内の酪農生産ステーションには約170頭の乳牛
- 広い業界ネットワーク
- いろいろな動物を対象にした、動物行動学やアニマルウェルフェアについて学べる



3・4年次 専門教育 農学コース

循環型農業を基盤として、水稻、畑作、野菜、花きなどの農業生産技術とそれに伴う理論を学ぶ。本コースには作物の生産と、その関連分野（作物の栄養、生理、遺伝、雑草病害虫防除、土壌と生産の関連性）について学修する科目と実習がある。

コース TOPICS

- ガラス温室や圃場を使った充実の実習
- 環境制御可能な最新設備を有したガラス温室が通年利用可能
- 水稻、畑作、野菜、花きなど、多様な現場ニーズに対応した実験実習科目
- 栽培技術分野の科目と教育的に連動して配置された、土壌、作物栄養、植物の生理・病理・遺伝・育種、作物害虫や雑草に関する専門分野の科目群が充実



3・4年次 専門教育 畜産学コース

肉牛を中心に豚、鶏、羊、馬など食肉生産を目的とした家畜の飼養、生体機能、生殖生理およびその生産物の利用について学ぶ。本コースにはこれらの家畜の飼養管理体系を学修する科目と実習がある。

コース TOPICS

- 元野幌にある肉畜生産ステーションは総面積約100ha
- それぞれの動物種について2品種以上の家畜を飼養している
- 肉用牛約80頭、豚約100頭、羊約20頭、採卵鶏約300羽を飼養
- 採草用圃場58.6ha
- エコフィードを積極的に利用した資源循環型の肉畜生産体系を学ぶことができる
- 講師陣は学内から臨床獣医師、家畜人工授精師、管理栄養士など。また、外部講師として体型審査員や削蹄師など充実
- 肉牛については受精卵の生産から肉の加工まで、牛肉生産に関するすべての工程を学ぶ



ゲノムワイド関連解析によるニワトリの産卵形質と関連する遺伝子の探索

3・4年次 専門教育 農業経済学コース

食料生産と地域産業、市場と流通の現場から、経営・経済・政策を総合的に学ぶ。本コースには、農業経営、流通と消費、経済事情、循環型社会の形成と発展を支える仕組みについて学修する科目と実習がある。

コース TOPICS

- 農業・食料・経済の現場で最先端の経営や技術、流通を学ぶ
- 農畜産物や食料の販売に携わることを考えている方は、食料の流通の仕組みを学ぶ
- 公務員や地元企業を目指し、地域を活性化したいと思っている方は、地域おこしに必要な経済や政策について学ぶ
- 将来、農業・酪農の経営者になる方は、農場の経営に必要な知識を学ぶ
- 高度な統計分析手法を習得して、さまざまなデータから有用な情報を読み取る方法を学ぶ
- 教室での勉強だけでなく、調査や演習、実習を通して力を培う



循環農学類
植物病理学研究室

薦田 優香
教授



私の専門は植物病理学、特に植物に感染するウイルスに由来する病気について研究を行っています。植物に感染するウイルスの中には、農作物の収量や品質を大きく低下させ、結果として商品価値を下

げるウイルスが数多く存在しています。しかし、直接ウイルスを攻撃する農薬は開発されていないのが現状です。植物に発生した病気の原因を特定することは、感染をそれ以上広げないためにとても重要です。カビ(真菌)が原因の場合、目視での確認や顕微鏡での形態観察によって、カビの種類を特定できることが多いです。一方、ウイルスが原因の病気に関しては、特徴的なモザイク症状などの場合を除き、目視や通常の顕微鏡観察ではウイルスの種類を特定することはできません。そこで私たちが行っているのが、病気の葉っぱをすり潰してタンパク質やDNA・RNAを抽出し、そこからウイルスを判別する方法です。よく使用するのはPCR法という手法で、これによりウイルスの種類を調べることができます。近年世界中で流行を続ける新型コロナウイルスのPCR検査と同様の判別方法を、植物の世界でも行っているわけです。こうして原因ウイルスが特定できれば、ウイルス病対策を講じることができます。

人間の病気と同様、植物の病気についても、特定の地域にのみ発生していた病害が、苗や種子等の移動によって世界に広がってしまうケースがあります。また、現在も進行し続ける地球温暖化や気候変動の影響で、本来生育できないはずの地域に新たに虫や植物、小動物が定着し、それと共に新たな病害が流行する可能性も危惧されています。植物病によって稲や小麦、豆、ジャガイモなど主要作物に深刻な被害が出た場合、世界で8億人を超える現在の飢餓人口がさらに増える可能性があります。植物の病気を研究することは人類全体の生活を守ることにつながっていると私は考えています。

本学は広いキャンパス内にさまざまな作物の圃場があるため、圃場に赴いて生育状況を把握し、気になったらすぐにサンプルを採取することも可能です。現場を意識しながら植物の基礎研究を行うことができる理想的な環境だと思います。植物は動物のように動いたり鳴いたりしませんが、病原体に攻撃されるとすぐに、体内で抗菌物質やホルモンなどを合成して対抗する面白い存在です。ぜひ一緒に植物の持つ不思議を解き明かすと共に、本学でしか味わえない楽しい大学生活を送っていただけたらと思います。



植物伝染病の研究を通じて人の未来に貢献する

[カリキュラム]

☆1 教職コースは2年次開講 ☆2 教職コースは3年次開講 ☆3 外国人留学生のみ

※この内容は2023年4月1日現在のもので今後変更もあります。

1
年次

基盤教育

■基礎演習
■建学原論
■キリスト教I
■キリスト教II
■健士健民入門実習
■農食環境学概論

■哲学
■心理学
■文学
■社会学
■日本史
■世界史

■地理学
■法学
■日本国憲法
■経済学
■数学I
■数学II

■生物学
■生物学実験
■化学
■化学実験
■物理学
■地学

■運動の科学
■体育実技I
■体育実技II
■情報科学の基礎
■情報処理基礎演習
■英語I

■英語II
■英語III
■英語IV
■日本語I ☆3
■日本語II ☆3
■キャリア実習

専門基礎教育

■全学共通科目A
■全学共通科目B

専門教育

【実践酪農学・実践農学】
■実践酪農学
■実践酪農学演習
■実践農学

教職課程教育

■教育原理
■教職入門
■教育心理学

2
年次

基盤教育

■キリスト教と諸宗教
■キリスト教と生命倫理
■統計学I
■統計学II
■物理学実験
■地学実験
■外国語演習I
■外国語演習II
■中国語I
■中国語II
■ハングルI
■ハングルII
■キャリアベーシック

専門基礎教育

■無機化学
■有機化学
■物理化学
■分析化学
■生化学
■微生物学
■土壌学
■植物遺伝学
■動物遺伝学
■植物生理学
■民法・商法
■行財政学概論
■経済原論
■ミクロ経済学
■マクロ経済学
■経営学総論
■日本経済論

■家畜解剖学
■家畜生理学
■畜産学総論
■農業機械学
■草地・飼料作物学
■作物栽培学
■園芸学
■農業経営学概論
■農業政策学
■家畜行動学
■食料農業の法と制度
■家畜生理・解剖学実験
■農業微生物学実験
■農産物利用学実習
■作物生態生理学実験
■学外農場実習
■食品化学

■乳科学
■食肉科学
■応用生化学
■生物分類学
■情報処理演習
■簿記・会計学概論
■農業協同組合論
■農畜産物市場論
■農村社会学
■社会調査法
■国際経済論
■国際法
■食品産業論
■野生動物学の基礎
■動物生態学
■生物地球化学
■植物生態学

■気象学の基礎
■自然環境学実験・実習
■動物形態機能学
■アジア環境学
■環境法
■地形・地質学
■環境共生学外実習
■海外自然環境実習
■GIS基礎演習
■GIS応用演習
■リモートセンシング基礎演習
■ボランティア活動・NPO・NGO論
■マーケティング論
■国際関係論
■国際理解

専門教育

【教職コース】
■教職インターンシップ
■教職応用演習I
■教職応用演習II

【実践酪農学・実践農学】
■実践酪農学実習I
■実践酪農学実習II
■実践農学実習II

教職課程教育

■特別支援教育論
■教育課程論
■教育方法・ICT活用論
■生徒・進路指導論
■教育相談論
■地誌

3
年次

基盤教育

■外国語演習I
■外国語演習II
■キャリアデザインI
■キャリアデザインII

専門教育

■専門ゼミナールI
■専門ゼミナールII

【酪農学コース】
■家畜育種学
■家畜繁殖学
■家畜育種・繁殖学実験
■家畜管理栄養学
■家畜管理・栄養学実験
■家畜衛生学
■家畜衛生学実験
■畜産物利用学
■乳用家畜飼養学

■酪農・畜産経営論
■泌乳生理学
■乳用家畜飼養学実習

【畜産学コース】
■家畜育種学
■家畜繁殖学
■家畜育種・繁殖学実験
■家畜管理栄養学
■家畜管理・栄養学実験
■家畜衛生学
■家畜衛生学実験
■畜産物利用学

■酪農・畜産経営論
■肉用大家畜飼養学
■肉用中小家畜飼養学
■肉用家畜飼養学実習

【農学コース】
■水稻栽培学
■畑作物栽培学
■作物栽培学実習
■野菜園芸学
■花き園芸学
■園芸学実習
■作物育種学
■作物育種学実験

■作物栄養学
■土壌・作物栄養学実験
■植物病理学
■応用昆虫学
■作物保護学実験I
■作物保護学実験II

【農業経営学コース】
■農業経営学
■農業市場論
■食料・農業政策学
■協同組合学
■アグリビジネス論
■地域連携論

■簿記・会計演習
■農業経済学演習
■経済データ分析演習
■食料農業農村調査実習
■地域計画論
■農業資源経済学
■営農システム論

【教職コース】
■教職応用演習III
【実践酪農学・実践農学】
■実践酪農学実習III
■実践農学実習III

専門基礎教育

■統計データ分析演習
■農業施設学
■雑草学
■農業施設・機械学実習
■栄養生理学
■食品衛生学
■公衆衛生学

■食品物理化学
■食品流通論
■食品資源学
■食料経済論
■保全生物学
■サステイナビリティ学
■資源管理論

■博物館実習

教職課程教育

■農業科教育法I ☆1
■農業科教育法II ☆1
■職業指導I(農業)
■職業指導II(農業)
■理科教育法I ☆1
■理科教育法II ☆1
■社会科・公民科教育法I ☆1
■社会科・公民科教育法II ☆1
■教育社会学
■総合的な学習の時間の指導法
■特別活動論
■社会科・地理歴史科教育法I ☆1
■社会科・地理歴史科教育法II ☆1
■道徳教育指導論

4
年次

専門教育

■卒業研究I
■卒業研究II
■研究発表
■家畜繁殖技術論
■受精卵移植論

■畜産物利用学実習
■実験動物学
■果樹園芸学
■農産加工学

【教職コース】
■教職応用演習IV

教職課程教育

■教職実践演習(中・高1免) ☆2
■理科教育法III ☆2
■理科教育法IV ☆2
■教育実習(中・高1免) ☆2
■教育実習(高1免) ☆2

[カリキュラムマップ]



循環農学類



循環農学類 教職コース

循環農学類
農業政策学研究室 4年

撫 悠紀野さん
大阪府／
大阪府立狭山高等学校出身



北海道ならではの 体験や勉強ができる場所



私は中学生の頃に読んだ荒川弘先生の漫画「銀の匙」を通じて雄大な北海道の大地とそこで営まれる農業に憧れを抱きました。北海道の農業系大学を探す中で、高校1年生の時に本学のオープンキャンパスに参加し、広大な大地と先生や先輩たちが作り出す雰囲気心惹かれて本学に入学しました。1年次に開講された健土健民入門実習では、キャンパス内で野菜を栽培したり、牛の搾乳を行うなど、酪農学園大学ならではの学びと経験が印象的でした。

循環農学類には4つのコースがあり、3年次から各コースに分かれます。私は地元の道の駅や野菜の直売所などに両親がよく連れて行ってくれたことから、農業を通じた地域活性化に興味を持ち、農業経済学コースを選択しました。現在は地域に根付いた特色などについて研究する「農業政策学研究室」に所属して、主に道の駅について研究中です。また実際に農場や牧場などを訪問し、経営者が抱え

る課題や地域の活性化方法などについて学ぶ実習も印象的でした。

卒業後は関西で新規に開業する道の駅の職員として就職が決まりました。本学での学びを活かしつつ、地域の魅力を多くの人にPRできるように努めていきたいです。その一環として趣味のイラストを活かした商品パッケージのデザインなどもしていきたいです。酪農学園大学は本当にやりたいことを見つける機会をたくさん提供してくれる場所です。例えば当初と夢が変わっても、きっと新しい素敵な未来を描けるはずですよ。



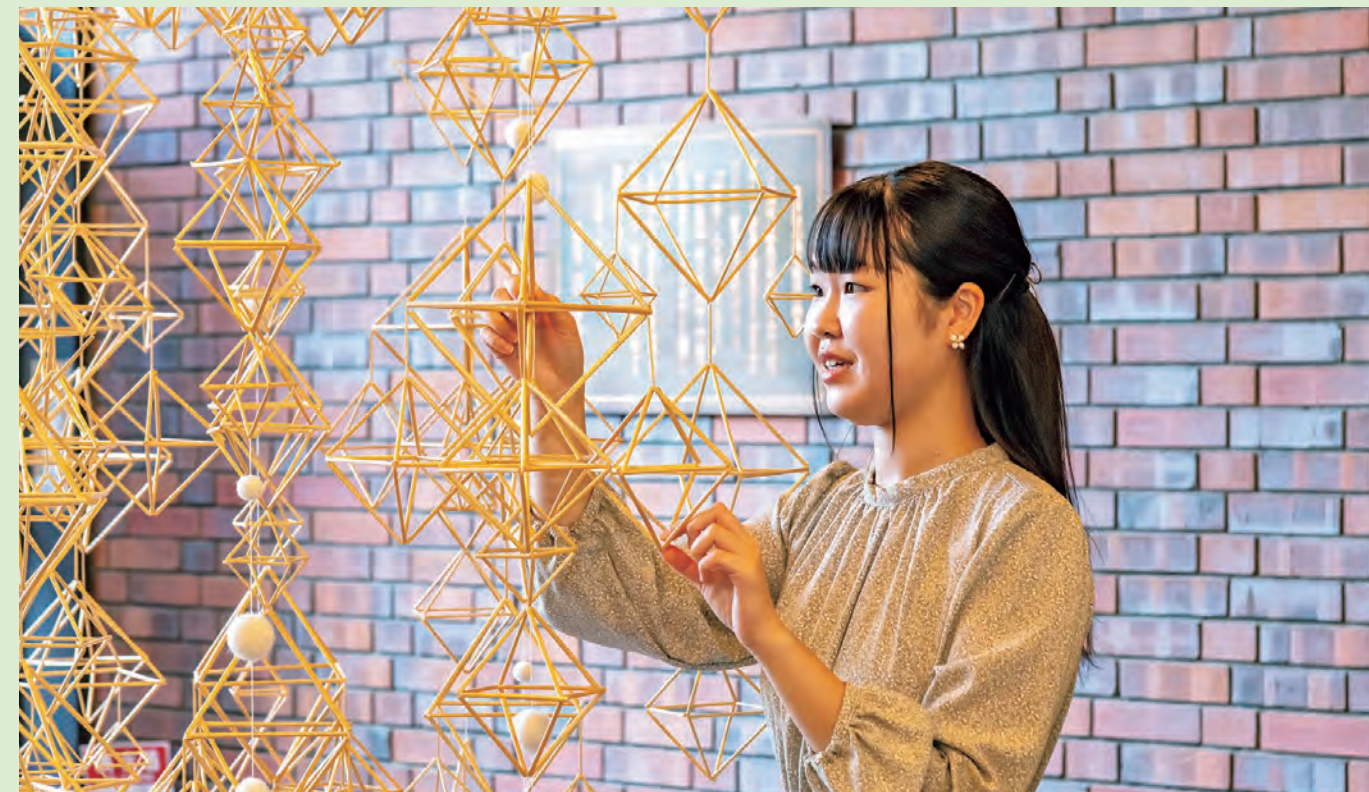
循環農学類
食物利用学研究室 4年

辻 奏音さん

北海道北見市／
池上学院高等学校
(北見キャンパス)出身



農業と食の楽しさを 発信できる人材に



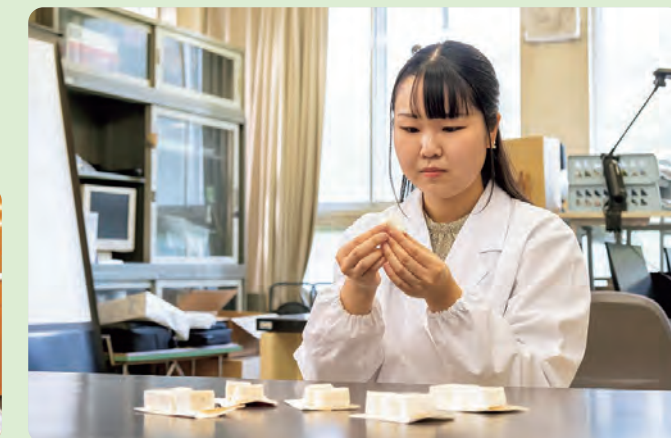
私は高校在学中に母から農業関係の進学も良いのではと勧められ、本学のオープンキャンパスに参加し、進学を決めました。私が所属する循環農学類には4つのコースがあり、植物のことを極めてみたいと農学コースを選択。農学コースでは野菜や花などの栽培技術はもちろん、植物の生理や病気などについて学んでいます。色々な講義で学んだことが結び付いて知識となり、その知識が実技に活かされ、そこで培った経験が新しい学びに繋がることを実感できるのは、本学ならではの楽しみです。また必修科目以外に他学類の講義も履修可能なことも魅力で、食と健康学類の栄養学に関連する科目や衛生学、製造学など興味があるものは積極的に学んでいます。

私が所属する食物利用学研究室ではチーズを作る際に発生する副産物「ホエイ」と、牛肉の副産物「牛脂」を



使った石けんづくりについて研究を進めています。どちらも活用しない場合は産業廃棄物として扱われるものです。原材料の保存方法や石けんの匂いなど課題はまだまだたくさんありますが、私の地元北見の特産品であるハッカを加えて価値のある産物にしたいと思っています。

卒業後は道職員として、本学で得た学びを活かし北海道の農業と食の魅力を発信したいと考えています。この夢を抱くようになったのは、気軽に接してくれる先生や職員の方々、そして研究室やサークル活動を通じて出会えた友達と過ごした4年間があるからだと思っています。ぜひ本学で唯一無二の大学生活を送ってください。



浜中町

実践酪農学実習 I・II

学外の酪農場で数ヵ月の長期実習を行う実践的な学習です。酪農現場で受け入れ農家から学ぶ実習と、学内での講義（座学）を交互に行うことにより、“現場の実際”をより深く理解し、即戦力の人材を育成することを目的としています。

実習では搾乳管理の手法についてや、ほ育、育成牛の管理、家畜糞尿処理についてなどの方法を学ぶほか、粗肥料の調製や雑草処理、環境整備など各種農作業の体験も行います。



① 放牧地から牛たちを追って、牛舎に帰す様子／② 飼槽（餌を置く場所）の掃除の様子／③ 搾乳前に、乳頭をきれいに清拭／④ ミルカーを牛のところに運んでいる様子／⑤ 生まれたばかりの子牛（肉用の交雑種）／⑥ 今後、母牛になる育成牛



① ブロッコリーの味蕾を囲む葉の取り方等を学ぶ／②・③ 収穫したブロッコリーをコンテナに詰めている様子／④ 広大なブロッコリー畑の実習現場／⑤ 多種多様な野菜の収穫や仕上げ・包装を学ぶ

むかわ町

実践農学実習 I・II・III

学外の農家で10日程度の実習を繰り返し行う実践的な学習です。畑作や園芸農家を対象に、“現場の実際”を実践的に学び、即戦力の人材の育成を目的としています。

実習は、実習先の農家の生活パターンに沿って行い、実習を行う時期ならではの作業の流れ（圃場整備や播種、定植、春野菜の収穫など）を学びます。

育苗から定植、防除、収穫といった現場技術だけでなく、加工や販売など経営に関する知識を習得し、新規就農者や現場の指導者につながる実践力を身に付けます。

酪農学コース

乳用家畜飼養学実習

酪農における、飼養管理の基礎について学びます。特に、乳牛の栄養管理、飼料給与および飼養環境を中心に実習をしていきます。酪農生産ステーションでの飼料の給与方法およびその特徴の学習や、粗飼料調製方法を解説し粗飼料の発酵品質の評価を行います。また、酪農場における飼養管理システムの評価方法、パソコンを用いた飼料設計、アニマルウェルフェアの評価方法も体験します。



① 飼料の品質をチェック／② 牛の採食行動を観察／③ 飼料設計のモニタリング／④ 搾乳牛の飼養環境を評価



① 放牧されている肉牛について学ぶ／②・③ 放牧計画立案のため、草地に生えている草の量を推定する実習／④ 外部講師による削蹄実習

畜産学コース

肉用家畜飼養学実習

めん羊、豚、鶏などの肉用中小家畜の繁殖、育成、肥育、および衛生管理を含む飼養管理技術ならびに飼料設計について実習を通して学びます。農用馬または競走馬においては、学外で集中講義を行い、実際の生産牧場の見学を通して、繁殖、飼養管理、育成、調教について学びます。また、肉用牛生産に関する飼養管理技術についても実習を通して体系的に学んでいきます。

農学コース

土壌・作物栄養学実験

土壌断面調査、土壌の物理・化学的性質の測定、ならびに土壌養分、植物－土壌微生物共生、土壌生物性および物質循環などの各項目について、グループごとに実験を行い、レポートを作成します。



① 土壌断面について教員から説明／② 土色を判別して記録／③ 土壌硬度を測定して記録／④ 分析用の土壌サンプルを採取



① 難しい部分は教員が丁寧に指導／② 学生同士で操作を確認したり、話し合うことで理解を深めます／③ jamoviの画面の一例で、プログラムによってヒストグラムを作成／④ 授業の全体の様子

農業経済学コース

経済データ分析演習

農業経済学では、農産物の需給、地域経済の動向、農業経営など、様々なデータを扱います。こうしたデータから有用な情報を取り出すためには、データを分析するための統計的な手法が必須です。

経済データ分析演習では、Excelの分析ツールおよび統計ソフト（jamovi）を用いて、実践的な回帰分析の習得を目指しています。

Pickup
ピックアップ研究室(ユニット)
循環農学類

研究室(ユニット)一覧

Pickup
1 ルミノロジー研究室 泉 賢一 教授
ウシの第一胃の秘密を探る

ウシは4つの胃を持っていますが、特に第一胃(ルーメン)には牧草を牛乳や肉に作り変えるための驚くべき秘密が隠されています。ルミノロジー研究室では、そんな魅力と驚きのつまったルーメンの研究をしています。

ルーメンの驚きポイント:

- ・とても大きい! なんと、そのサイズは200リットルといわれています。
- ・大量のエサと天文学的数の微生物が生活している! 牛が食べたエサを、住宅+食品貯蔵庫として、無数の微生物たちが生息しています。私たちの研究室では、どのようなエサを食べたら、ルーメン内の微生物が元気になる、牛乳がたくさん出るのかを日々考えています。



🔍 学びのkeywords ●酪農 ●乳牛 ●飼料 ●牛乳 ●家畜飼育 ●牛舎

Pickup
2 栽培学研究室 亀岡 笑 講師
環境変動に適応可能な作物デザイン・栽培技術を考える

水稻をはじめとした作物生産は私たちの食生活に欠かせません。しかし近年、そんな作物生産を脅かすほど、国内外で環境変動が深刻化しています。持続可能な作物生産を目指すには、環境変動の内容理解を前提として、作物の環境適応能力と、その能力を引き出すための適切な栽培技術の両方が必要となります。栽培学研究室では、国内外の作物生産環境の現状を学習しながら、作物の生理形態、ならびにそれらに基づく基礎・応用的な既存の栽培技術について理解を深め、深刻化する環境変動下での持続的な作物生産を目指すための新たな栽培技術について研究します。



🔍 学びのkeywords ●稲 ●畑作物 ●栽培技術 ●持続可能な農業 ●環境変動 ●根系発育

Pickup
3 家畜生産改良学研究室 西寒水 将 講師
経済能力の高い乳牛および肉牛の牛群整備プログラムの設計

最近、乳牛および肉牛の農家1戸当たりの飼育頭数は増加しています。多頭数経営においては、牛の生産能力を均一化することが大切であり、そのためには計画的な牛群整備が必要です。高能力牛の後継牛を効率的に生産するために、乳牛では性選別精液が人工授精に限らず過剰排卵誘起処置および体外受精にも利用されており、今日では性別をコントロールした受精卵の生産にも必要不可欠です。牛群整備プログラムの設計・実行、そのための能力評価値、ゲノミック評価値、性選別精液および受精卵移植技術等の繁殖技術の有効活用について学びます。



1頭の高能力牛より受精卵移植技術で生産された5頭の姉妹



🔍 学びのkeywords ●肉牛 ●乳牛 ●牛群整備 ●人工授精 ●受精卵移植 ●ゲノミック評価

Pickup
4 酪農・畜産経営論研究室 日向 貴久 教授
自然環境や社会環境の持続性に配慮した経営管理とは?

酪農をはじめとする酪農経営では、経営者は飼養、繁殖、飼料生産といった複数の仕事を管理します。経営を持続させるため、経営者は日々自らの経営に関するさまざまな意思決定を行います。意思決定には、現在の経営状況と社会情勢を正しく理解することが不可欠ですが、これからの経営者には、環境に配慮した生産を行い自然環境を持続させることも求められます。本研究室では、合理的な経営管理をテーマに、意思決定のための判断と選択の方法を考えます。また、わが国で持続可能な酪農生産のシステムのあり方と、経営者、消費者の関わりについて研究します。



🔍 学びのkeywords ●酪農 ●持続的農業 ●飼料自給 ●環境 ●経営管理 ●意思決定

研究室	教員	職名	テーマ	学びのkeywords
農畜産物市場論	相原 晴伴	教授	農畜産物・食料の流通の仕組み、需給や価格の動向を研究	アグリビジネス フラント園芸 農業政策 農作物 農業経済学 稲
家畜遺伝学	天野 朋子	教授	遺伝情報を活用し、より能力の高い家畜を作出する	乳牛 肉牛 中小家畜 動物(馬など) 品種改良 バイオ
農業施設学	石川 志保	准教授	家畜にヒトに地球に優しい新たな畜産経営システムを構築する	畜産施設 低環境負荷 農業IoT 省力化 経労化 DX
ルミノロジー	泉 賢一	教授	ウシの第一胃の秘密を探る	酪農 乳牛 飼料 牛乳 家畜飼育 牛舎
協同組合学	糸山 健介	准教授	協同組合とは何か?新しい協同の形を考察する	農業経済学 持続可能な農業 流通システム 農業政策 農村社会
農業政策学	井上 誠司	教授	農村にとって有効な農業政策について考察する	農業政策 農業経済学 農村 計画 地域資源 歴史
動物生殖工学	今井 敬	教授	バイオで牛をつくり育てる ―120μm※の卵子から900kgの肥育牛まで―	繁殖 受精卵移植 体外受精 生体卵子吸引 肉牛 乳牛
化学	大和田 秀一	准教授	化学で科学的思考を学ぶ	化学 新しい化学教授法の開発 物理化学 協同学習
環境微生物学	岡本 英竜	准教授	酪農環境における微生物による発酵メカニズムを解析する	微生物生態 難培養微生物の検出 集培培養
植物育種学	岡本 吉弘	准教授	植物組織培養技術や遺伝子情報に基づいた作物の遺伝育種学研究	育苗養 カルス アルビノ 受精障壁 自殖性作物 重複モデル栽培
天然物化学	小澤 修二	教授	植物の化学成分の構造を明らかにし、その生理活性を調べる	天然物 生理活性物質 化学 植物
理科教育	金本 吉泰	准教授	理科教育における生徒の資質・能力の育成についての研究	理科教育 コンピテンス 資質・能力 生命観
栽培学	亀岡 笑	講師	環境変動に適応可能な作物デザイン・栽培技術を考える	稲 畑作物 栽培技術 持続可能な農業 環境変動 根系発育
畜産衛生学	菊 佳男	教授	家畜の健康を守り、生産者と消費者を守る考え方を学ぶ	乳牛 乳房炎 疾病予防 病態 薬剤耐性 馬
国際経済学	小糸 健太郎	教授	国際的な視野で食料・農業・地域の問題を学ぶ	農業経済学 貿易 生産性 食料自給率 社会調査 統計学
作物栄養学	小八重 善裕	准教授	作物の栄養と健康を見つめ、豊かな食料生産に貢献する	作物 栄養 土壌 共生 菌根菌 イメージング
キリスト教応用倫理学	小林 昭博	教授	現代世界の多様なテーマを聖書やキリスト教思想を通して読み解く	ジェンダー セクシュアリティ 生命倫理 動物の権利 宗教 新約聖書
農業機械システム学	小宮 道士	教授	機械利用による安全かつ能率的、合理的な農作業を考える	農業機械 IT 技術開発 酪農 エネルギー 農業工学
植物病理学	薦田 優香	教授	植物の病気を遺伝子レベルで解明し、農業被害を防ぐ技術につなげる	植物の病気 植物ウイルス 感染実証 病害抵抗性 遺伝子工学
草地・飼料生産学	三枝 俊哉	教授	草地・飼料作物の効率的な生産による持続的な土地利用技術の研究	草地 飼料 土 肥料 養分循環 持続可能な農業
食料経済分析学	佐藤 和夫	教授	多様化する「食と農」を分析する	食品安全性 国産志向 マーケティング 消費者 テータ分析 アンケート
生物学	佐藤 元昭	教授	昆虫の細胞を用いた細胞分裂機構の研究	細胞分裂 細胞培養 顕微鏡 フローサイトメトリ
土壌環境学	澤本 卓治	教授	土壌を中心とした物質動態とその環境との関わりを研究	土 肥料 農学 化学 持続可能な農業
農業科教育課程	志賀 聡	教授	教科「農業」における理論と実践が融合する指導法や教育課程の研究	教職 教育課程 理論と実践 教材開発 地域の実情 北海道農業
農場生態学	園田 高広	教授	野菜と病害の生理生態を踏まえた栽培法や病害防除法の開発	持続可能な農業 野菜園芸 栽培技術 品種改良 植物病理
家畜飼料学	土井 和也	講師	輸入飼料に依存しない家畜生産を目指して	持続可能な農業 酪農 乳牛 飼料 家畜飼育 土地利用
家畜繁殖学	堂地 修	教授	牛の人工授精、胚移植、体外受精、繁殖管理、肉牛の飼養管理に関する研究	繁殖 人工授精 受精卵移植 体外受精 肉牛 乳牛
農業科教育	飛谷 淳一	准教授	実践的・体験的な学習活動を通した農業教育に関する研究	教職
家畜栄養学	中辻 浩喜	教授	草食家畜の栄養生理学を基本に土地利用型乳肉生産を実現する	酪農 乳牛 栄養 飼料 草地 放牧
農業昆虫学	中平 賢吾	准教授	天敵利用などの農業昆虫に関する研究	持続可能な農業 昆虫 害虫 農学 農業 技術普及
家畜生産改良学	西寒水 将	講師	経済能力の高い乳牛および肉牛の牛群整備プログラムの設計	肉牛 乳牛 牛群整備 人工授精 受精卵移植 ゲノミック評価
実践農学	猫本 健司	准教授	畜産環境や循環利用ならびに営農や就農に関する現況や課題の整理	畜産環境 家畜管理 糞尿処理 排水処理 経営評価 新規就農
酪農・畜産経営論	日向 貴久	教授	自然環境や社会環境の持続性に配慮した経営管理とは?	酪農 持続的農業 飼料自給 環境 経営管理 意思決定
農業科環境教育	廣瀬 之彦	教授	SDGsの視点による探究活動を通し、農業教育の在り方を研究する	農業教員養成 農業科免許取得 学習指導要領 科目(履修) SDGs 探究活動
英語圏文化	藤田 佳也	教授	「言語」「文化」「表現」を読み解く方法について学ぶ	文学 英語 言語 文化 表現 芸術
農食法制度論	正木 卓	准教授	農業・農村・食料を支える法制度のあり方を考える	農業関連法制度 農業経済学 農業政策 農村社会 地域連携
家畜育種学	増田 豊	准教授	データに基づく確実な選抜で家畜の性質を遺伝的に改善する	育種改良 テーマサイエンス ゲノム選抜 統計学 乳牛 肉牛
食物利用学	宮崎 早花	講師	おいしい食べ物とは何かさまざまな視点から考える	食品安全性 食品 農産加工 調理
統計学	毛利 泰大	講師	農村・農業・食料における社会現象に対する統計学を応用した実証分析	統計学 社会科学 社会調査 農村社会 食料生産
園芸学	森 志郎	教授	花きを中心とした新規園芸植物の作出と高品質栽培技術の確立	園芸 花き 植物 品種改良 バイオ 栽培技術
家畜管理・行動学	森田 茂	教授	「家畜に配慮」した人・牛に優しい管理システムを動物行動から構築する	酪農 乳牛 牛舎 家畜福祉 動物行動 肉畜生産
人と動物の関係学	山田 弘司	教授	人と動物の相互理解とよりよい関係を目指して	動物心理学 動物行動学 乗馬セラピー 動物福祉ファーム 動物園 動物福祉
中小家畜飼養学	山田 未知	教授	豚および鶏の効率的な飼養管理技術を探求する	肉畜生産 中小家畜 家畜飼養 人工授精 飼育環境 エコフィード
農業経営学	吉岡 徹	教授	経営調査を通して農業経営が成り立つ条件や方法を考える	農業経済学 農業経営 持続可能な農業 農村社会 農業6次化
農村計画論	吉野 宣彦	教授	農村人口を減らさないために、農業のコスト低下や、付加価値生産、経営の多角化を考え、支える	農業経済学 酪農 経営 農村社会 持続可能な農業 IT
作物学	義平 大樹	教授	人類生存に不可欠な穀物類の良質多収栽培法の研究	作物栽培 畑作物 栽培技術 農作物 肥料 飼料
資源植物学	我妻 尚広	教授	植物群落の保全や緑化を目的とした植物の生態遺伝学的研究	植物 品種改良 植物遺伝 遺伝的多様性 植物生理 緑化

※ μm=マイクロメートル

食と健康学類

College of Agriculture, Food and Environment Sciences
Department of Food Science and Human Wellness



食と健康学類の紹介
動画はこちら

「食べる」は生きる

食を通じて人々を笑顔に

学びのポイント

point 1

1年次には作物栽培や家畜に触れる 農場実習で生産現場を体験

食品全般を理解するため、土から育てた作物が人の体の中で変化するまで、一連の流れを体験しながら学べます。1年次には畑に種をまいて育てた野菜の収穫を行い、また、牛や羊、鶏、豚など家畜に触れて食品のもととなる生産現場を体験します。



point 2

学内にある乳製品や肉製品製造実習工場で 体験を通じて食を学ぶ

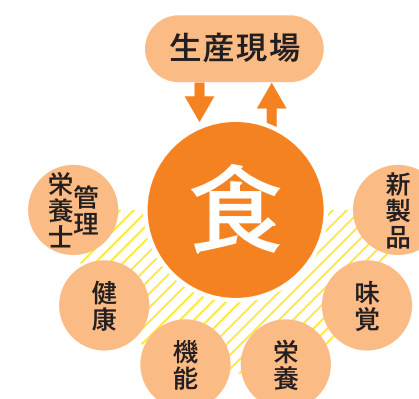
ハムやベーコン、ソーセージなどをつくる食品加工実習室と、チーズやバター、アイスクリームをつくる乳製品製造実験実習室を完備。本格的な設備を使って、食品製造を学べます。



point 3

安全・安心な「食品」の製造・加工・流通から 健康・医療分野までをカバー

食の分野は、安全性やアレルギーの問題、食料自給率の低下、高齢者向けの食品開発の必要性などさまざまな課題を持ち、食品にとどまらず健康・医療まで密接なかかわりがあります。これらを体系的に学び、それぞれの専門性を深めていきます。



point 4

管理栄養士国家試験合格を 目指す専門コースを設置

国家資格である管理栄養士はあらゆるライフステージで食事や栄養についてアドバイスを行う等、食と栄養の専門職として社会的に需要が高く、取得すると活躍の場が広がります。管理栄養士コースでは、国家試験合格を目指し高度で効率的な学習を行っています。



取得可能資格

必要要件を満たせば卒業と同時に取得可能な資格です。

- 中学校教諭1種(理科・社会)
- 高等学校教諭1種(理科・農業・公民)
※教職コースに所属しなくても教員免許の取得は可能です。
※管理栄養士コースを除く。
- 准学校心理士 ※管理栄養士コースを除く。
- 栄養士 ※管理栄養士コースのみ。

任用資格

特定の職業に任用されるための資格。資格を取得後、その職務に就いて初めて効力を発揮する資格です。

- 食品衛生監視員 ● 食品衛生管理者

受験資格

必要要件を満たせば受験する資格が得られます。

- 管理栄養士国家試験 ※管理栄養士コースのみ。
- 専門フードスペシャリスト(食品開発)
※管理栄養士コースのみ。
- 専門フードスペシャリスト(食品流通・サービス)
※管理栄養士コースのみ。

学類でサポートする資格

- 簿記検定2級・3級 ● 販売士2級・3級
- 食の6次産業化プロデューサー(レベル1・2・3)
※管理栄養士コースを除く。
- 食品衛生責任者 ● 学芸員

目指す職業

- 食品製造業
- 食品卸売・小売業
- 宿泊・飲食サービス業
- 農業協同組合
- 教育・学習支援業
- 教員 ■ 公務員 など

管理栄養士コース

- 医療・福祉施設
- 食品製造業
- 給食委託業
- 宿泊・飲食サービス業
- 公務員 など

3・4年次 専門教育 コース紹介

3・4年次 専門教育 食資源開発学コース

食とモノのかかわりを学ぶ！

食品科学の知識を基に、食資源である生物素材の特性と機能の分析・解析技術を習得し、食品の分析業務、製造・品質管理現場ならびに新規食品事業開拓に役立つ人材を養成する。

コース TOPICS

- 農畜水産物の持つ栄養、機能性、道産素材の付加価値向上などに関する最新の研究ができる
- 食品の科学にかかわる諸問題の解決策を示すための論理的な思考力と問題解決力が身に付く
- HACCPシステム実務者養成科目を含め、食品衛生管理・生産管理業務に役立つ知識と技術が身に付く
- オリジナルラベルのワイン製造は6年目に突入し、キャンパス内でのブドウ栽培も行う
- 食品メーカーや機器メーカーとさまざまな食材や加工装置を用いた新商品や新技術を開発中
- さまざまな機器分析により、おいさを物理学的視点で捉える研究を展開中
- 電子顕微鏡と原子間力顕微鏡による充実した食品微細構造の研究が可能
- 将来は、研究開発・生産管理職などの開発職、技術職を目指す



管理栄養士コース

土から作物、そして「食と健康」という建学の精神を基本とした教育により、栄養管理のプロフェッショナルとして最前線に立つ管理栄養士を育成する。

※管理栄養士コースは1年次よりコースに所属。

コース TOPICS

- 1学年40人の少人数クラスで、きめ細かな教育と国家試験対策が可能
- 全国トップクラスの管理栄養士国家試験合格率(2017-21年度の5年間の平均合格率95.0%)
- 酪農学園大学ならではの本格的な設備で、食品の加工技術を学ぶことができる
- 食品系企業と学生のコラボによるメニュー考案や商品企画・開発を実施
- 毎年、各種レシピコンテストでの入賞実績がある
- 抗酸化機能分析教育研究センターを開設し、食品の機能性研究が充実
- スポーツ栄養学を学べる研究室がある
- HACCPシステム実務者養成科目を授業として展開中



3・4年次 専門教育 食品流通開発学コース

食とヒトのかかわりを学ぶ！

広く食品科学の知識を習得し、それを基に食品の物流ならびにマーケット調査を基にした商品としての食品開発とその市場価値創生に貢献できる人材を養成する。

コース TOPICS

- 日本の食糧基地である北海道は食品流通の勉強にも最適
- 食品流通、食品企画開発、市場調査などの知識や技能を学べる
- 学内外の販売実習、企業との共同研究やフィールドワークにより、企画開発、食品製造、品質管理、流通技術などに関する実践的な研究ができる
- 地域資源を活用した商品開発、マーケティング調査、販売実習を企業や自治体とコラボ展開中
- 食品を開発するために食資源の加工特性、保存性などの基本的な知識や適切な手段を身に付ける
- 食産業に従事する者としての社会的な役割と責任を理解し、食品関連産業の発展に貢献する力を養成する
- HACCPシステム実務者養成科目を授業として展開中
- 将来は、商社などの総合職や商品企画職を目指す



食と健康学類TOPICS

服部醸造の新商品「雲丹(うに)ソース」を開発 ソースを使ったレシピ考案

八雲町にある服部醸造の「雲丹ソース」を食と健康学類の農産資源科学ユニットの学生らが共同開発し、管理栄養士コースの学生らが雲丹ソースを使ったレシピを考案しました。「雲丹ソース」は公益財団法人北海道科学技術総合振興センター(ノーステック財団)の地域産業クラスターものづくり支援事業として、1年間で服部醸造が商品開発に取り組み、財団が本学による新製品開発サポートをコーディネートしました。阿部茂教授のゼミ生が生ウニの衛生面や賞味期限の設定、ワインを入れる理由や効果、他社商品との差別化などの研究・検証をゼミ活動の一環として取り組みました。また、小林道准教授のゼミ生らがソースの「おいしい使い方」を提案するレシピを作り、7種類のメニューを試食する試食会を実施しました。



田中酒造と酪農学園大学との共同研究「ホエイ酒」が3年越しの完成！

田中酒造と本学との共同研究「ホエイ酒」が3年越しに完成しました。本学の学生がホエイ酒の開発を卒業論文として取り組んだのは2020年度で、完成予定は2021年4月以降としておりましたが、コロナ禍で仕込み作業ができず計画がストップしました。そこから新たに、学生3名が製品化ホエイ酒の醸造作業(二次発酵)に関わらせていただくことができ、開発を手掛けてからようやくの完成となりました。生のホエイそのものを活用したホエイ酒の製造・製品化としては例がない研究結果です。



酪農学園大生 学生チャレンジプロジェクト「RAKUNO ATHLETE MESHI プロジェクト」を実施

管理栄養士コース4年の池永和奏さんが企画した、アスリートに適した朝食を提供する「RAKUNO ATHLETE MESHI プロジェクト」(RAMプロ)が2022年12月に、本学の給食経営管理実習室にて行われ、おにぎり2種(チーズおかか、鮭枝豆)と豚汁、ヨーグルトセット100食を無料で提供しました。今回の企画では朝食に必要なたんぱく質と糖質を満たすことを目標とし、忙しい朝でも簡単に作れて美味しく食べられる献立を考えました。朝食の欠食は学生アスリートだけではなく、大学生全体の問題だと捉えています。したがってこのプロジェクトでは朝食提供のほか、QRコード記載のリーフレットを配布し、オススメの朝食レシピをWEBサイトで紹介することにも取り組みました。



その他の TOPICS

食と健康学類
臨床栄養学

大谷 克城
教授



私の専門は臨床栄養学の分野です。さまざまな疾患と食との関連性を解明し、病気を持つ人それぞれの状況に応じた栄養面のケアを考えるという学問です。予防から始まり、実際に病院に入院している

患者さんにどういった食事を提供するべきか。私は「人々の健康に寄与すること」を目標に、その中でも免疫関連の研究を行っています。ウイルスや細菌が人に罹ると身体に支障をきたしますが、それらの微生物に対抗するには人の免疫力が重要です。そして食と免疫力という観点から考えた時に大事になってくるのが「食の機能性」という部分で、私は食物が体に与える影響に着目した研究を進めています。

食物に含まれる栄養素はたくさんありますが、その中で今のストレス・高齢化社会で特に重要になってくるのが抗酸化物質です。人は生命活動を行ううえで酸素を体内に取り込みますが、その一部が活性酸素という物質に変化します。少量であれば体内の分解酵素が処理してくれますが、ストレスや老化により分解が追いつかなくなると、生活習慣病をはじめとした病気や体の機能障害を引き起こします。その対処法として食材から抗酸化物質を摂取していくことが大切になってきます。

食材の抗酸化力で重要なのは素材に含まれる色素で、赤や紫、黒色をした食材は強力な抗酸化力を持っています。大きく分けて黒ブドウなどに含まれるポリフェノールと、ニンジンなど

に含まれるカロテノイドに分類されます。私の研究は、北海道産の素材についてその抗酸化力を分析することから始めました。これまでに500種以上の食材のサンプリング、分析を行い、データベース化し、食品系の企業などへ情報提供を行っています。これまでの分析の結果、ハーブ類や小果実で抗酸化力が高いことがわかりました。私はこのように素材自身が持つ抗酸化力の分析はもちろん、これらの素材を使った商品開発という研究のアウトプット部分も同時に進めています。



酪農学園大学の「食と健康学類」ではチーズやバターなどの乳製品やソーセージなどの肉製品をはじめ、様々な食品加工の実習が受けられます。ほかにも1年次には実際に学生に畑が割り当てられ、育てるところから食について学べるという、他大学にはない魅力的なカリキュラムが用意されています。また研究という部分でも、私の研究室のように様々な最新の分析機器を使った実験が行えたり、企業と共同で商品開発をするような研究室もあります。「食と健康」というワードに興味がある人は入学してからでも絶対にやりたいことが見つかります。またそれを叶える環境も整っていますので、希望をもって本学へ進学して欲しいと思います。



[カリキュラム]

☆1 管理栄養士コースは2年次開講 ☆2 管理栄養士コースは除く ☆3 教職コースは2年次開講 ※この内容は2023年4月1日現在のものです。今後変更もあります。

1
年次

基盤教育

■基礎演習 ■建学原論 ■キリスト教I ■キリスト教II ■健康入門実習 ■農食環境学概論	■哲学 ☆1 ■心理学 ☆1 ■文学 ☆1 ■社会学 ■日本史 ■世界史	■地理学 ☆1 ■法学 ☆1 ■日本国憲法 ☆1 ■経済学 ☆1 ■数学I ■数学II	■生物学 ■生物学実験 ■化学 ■化学実験 ■物理学 ■地学	■運動の科学 ☆1 ■体育実技I ■体育実技II ■情報科学の基礎 ☆1 ■情報処理基礎演習 ☆1 ■英語I	■英語II ■英語III ■英語IV ■日本語I ☆5 ■日本語II ☆5 ■キャリア実習
--	---	--	---	---	--

専門基礎教育

■全学共通科目A ■全学共通科目B	【管理栄養士コース】 ■医学概論 ■解剖生理学I ■解剖生理学II ■生化学I	■生化学II ■生化学実験・実習I ■生化学実験・実習II ■食品学 ■調理学	■食品学実験・実習I ■調理学実験・実習I ■全学共通科目A ■全学共通科目B	■専門教育 【管理栄養士コース】 ■基礎栄養学	■教職課程教育 ☆2 ■教育原理 ■教職入門 ■教育心理学
----------------------	---	---	--	-------------------------------	--

2
年次

基盤教育

■キリスト教と諸宗教 ■キリスト教と生命倫理 ■統計学I ■統計学II ■物理学実験 ■地学実験 ■外国語演習I ■外国語演習II ■中国語I ■中国語II ■ハングルI ■ハングルII ■キャリアベーシック ☆2	■無機化学 ■有機化学 ■物理化学 ■分析化学 ■生化学 ☆2 ■微生物学 ☆2 ■土壌学 ■植物遺伝学 ■動物遺伝学 ■植物生理学 ■民法・商法 ■行財政学概論 ■経済原論 ■ミクロ経済学 ■マクロ経済学 ■経営学総論 ■日本経済論	■食品化学 ■乳科学 ■食肉科学 ■応用生化学 ■食品産業論 ■マーケティング論 ■家畜解剖学 ■家畜生理学 ■畜産学総論 ■作物栽培学 ■情報処理演習 ■国際経済論 ■国際法 ■農業機械学 ■草地・飼料作物学 ■園芸学 ■農業経営学概論	■農業政策学 ■家畜行動学 ■食料農業の法と制度 ■家畜生理・解剖学実験 ■農業微生物学実験 ■農産物利用学実習 ■作物生態生理学実験 ■学外農場実習 ■生物分類学 ■野生動物学の基礎 ■動物生態学 ■生物地球化学 ■植物生態学 ■気象学の基礎 ■自然環境学実験・実習 ■動物形態機能学 ■アジア環境学	■環境法 ■地形・地質学 ■環境共生学外実習 ■海外自然環境実習 ■GIS基礎演習 ■GIS応用演習 ■リモートセンシング基礎演習 ■簿記・会計学概論 ■農業協同組合論 ■農畜産物市場論 ■農村社会学 ■社会調査法 ■ボランティア活動・NPO・NGO論 ■国際関係論 ■国際理解	【管理栄養士コース】 ■公衆衛生学 ■社会福祉概論 ■運動生理学 ■微生物学 ■解剖生理学実験・実習I ■解剖生理学実験・実習II ■食品加工学 ■食品学実験・実習II ■調理学実験・実習II
---	---	---	---	---	---

専門教育

■食品総合実験 【管理栄養士コース】 ■栄養学実験・実習I	■応用栄養学I ■応用栄養学II ■栄養指導概論 ■臨床栄養学I	■臨床栄養学実験・実習I ■公衆栄養学I ■給食経営管理論I	【教職コース】 ☆2 ■教職インターンシップ ■教職応用演習I ■教職応用演習II	■特別支援教育論 ■教育課程論 ■教育方法・ICT活用論 ■生徒・進路指導論	■教育相談論 ■地誌
-------------------------------------	---	--------------------------------------	--	---	---------------

3
年次

基盤教育

■外国語演習I ■外国語演習II ■キャリアデザインI ☆2 ■キャリアデザインII ☆2	■専門ゼミナールI ☆2 ■専門ゼミナールII ☆2 ■食品品質管理論 ■食品流通情報システム論 ■農産資源利用学 【食資源開発学コース】 ☆2 ■食品栄養学 ■タンパク質化学 ■食品機能論 ■食品工学 ■食品栄養化学実験	■生化学実験 ■食品微生物学実験 ■食品品質特性学実験 ■肉肉製造学実験実習 ■食品微生物学 ■乳製品製造学 ■肉製品製造学 ■食品物性学 【食品流通開発学コース】 ☆2 ■食品マーケティング戦略論 ■食品物流管理論	■アグリビジネス論 ■食品栄養学 ■食品企画開発論 ■食品品質特性学実験 ■食品企画開発実習 ■肉肉製造学実験実習 ■食品微生物学 ■乳製品製造学 ■肉製品製造学 ■食品物性学	【管理栄養士コース】 ■総合演習I ■応用栄養学III ■栄養学実験・実習II ■栄養教育論 ■栄養カウンセリング論 ■栄養指導論実習I ■栄養指導論実習II ■臨床栄養学II ■臨床栄養管理論 ■高齢者臨床栄養学 ■臨床栄養学実験・実習II	■公衆栄養学II ■公衆栄養学実習I ■給食経営管理論II ■給食管理実習I 【教職コース】 ☆2 ■教職応用演習III
--	---	--	---	--	---

専門基礎教育

■統計データ分析演習 ■食品物理化学 ■栄養生理学 ■食品流通論 ■食品資源学 ■食品衛生学 ☆2 ■公衆衛生学 ☆2 ■食料経済論	■農業施設学 ■雑草学 ■農業施設・機械学実習 ■保全生物学 ■サステイナビリティ学 ■資源管理論 ■博物館実習	【管理栄養士コース】 ■健康管理概論 ■病理学 ■食品衛生学 ■食品加工学実習 ■食品衛生学実験・実習	■農業科教育法I ☆3 ■農業科教育法II ☆3 ■職業指導I(農業) ■職業指導II(農業) ■理科教育法I ☆3 ■理科教育法II ☆3 ■社会科・公民科教育法I ☆3 ■社会科・公民科教育法II ☆3	■教育社会学 ■総合的な学習の時間の指導法 ■特別活動論 ■社会科・地理歴史科教育法I ☆3 ■社会科・地理歴史科教育法II ☆3 ■道德教育指導論
---	--	--	--	---

4
年次

専門教育

■卒業研究I ☆2 ■卒業研究II ☆2 ■研究発表 ■フードコーディネーター論	【管理栄養士コース】 ■総合演習II ■給食管理実習II ■臨床栄養学実習I ■臨床栄養学実習II ■公衆栄養学実習II ■健康栄養学演習I ■健康栄養学演習II	【教職コース】 ☆2 ■教職応用演習IV	■教職実践演習(中・高1免) ☆4 ■理科教育法III ☆4 ■理科教育法IV ☆4 ■教育実習(中・高1免) ☆4 ■教育実習(高1免) ☆4
---	--	-------------------------	--

[カリキュラムマップ]



食と健康学類

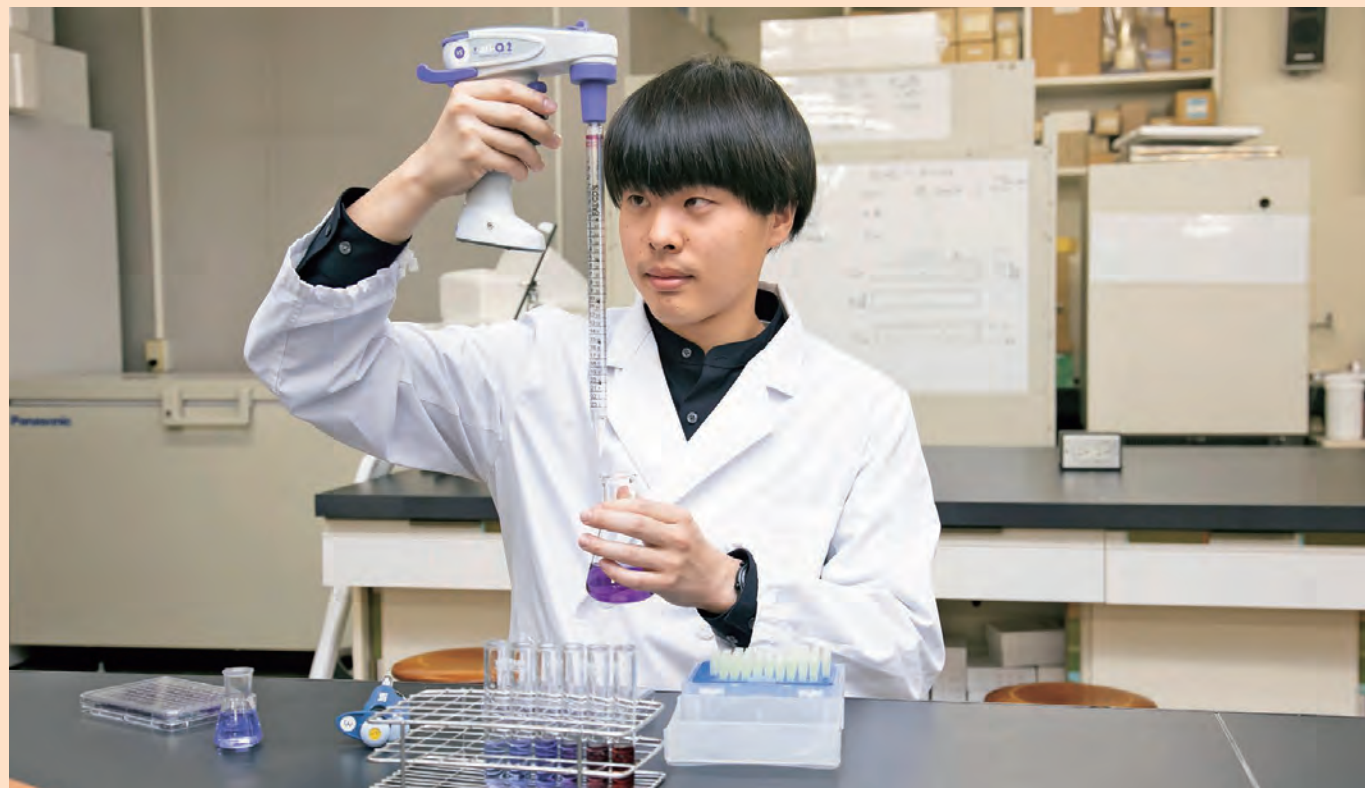


食と健康学類 教職コース

食と健康学類
応用生化学研究室 3年
武島 大己さん
北海道富良野市／
富良野高等学校出身



大学院を経て将来は 食肉研究の道へ



私の実家は農業と畜産業を営んでいて、食べ物に関わる環境で育ったことで幼いころから食に興味を持っていました。そして高校3年生の進路選択の時に、父の母校である酪農学園大学の「食と健康学類」で、食品について学べることを知り入学を決めました。

現在は応用生化学研究室に所属し食肉について研究をしています。きっかけは「公益財団法人伊藤記念財団」が発行している成果報告書の論文を読んだことです。食肉について高度なレベルで研究を行っている人たちがいるという事実を知り、自分の世界が広がる実感とともに将来は食肉研究の道へ進みたいという気持ちが高まりました。

卒業論文では、肉の美味しさをテーマに研究をしたいと考えています。ただ美味しさと言っても感覚的な指標が多く、硬さや香りなど複数の要素が関わってくるため非常に難しいと言われています。しかしその分やりがいもありますし、大学院に進学するためにも食肉

についての見識を深めていきたいと思っています。

この大学案内を手にとっている方の中には、進路選択に悩んでいる方も多いと思います。その際、興味のある業界や仕事の中で、自分だったら、どういった事をやってみたいかを考えることが大切だと思います。勉強ももちろん大事ですが、高校生という短い時間の中で、自分の好きなものや興味があることを探すことも大学選びや、その後の人生設計において重要になってくると思います。



食と健康学類
管理栄養士コース
食・健康スポーツ科学研究室 4年

池永 和奏さん
北海道札幌市／
札幌手稲高等学校出身



女性アスリートを 栄養面から支えたい



私は小・中学校で陸上競技、高校でハンドボールに取り組んでいました。その経験を活かし、選手時代に抱いていた疑問を解決する道を模索した時に、大学の学校案内を通じて「食・健康スポーツ科学」という研究室があると知り、入学を決めました。

所属する食・健康スポーツ科学研究室で、私は女性アスリートに対する栄養面からのケアについて学んでいます。女性アスリートは、例えば試合に出場できたとしても、女性特有の問題から、貧血など、身体の不調によって本来持っているパフォーマンスを発揮できないことがあります。これらの要因の一つに栄養管理などのケア不足が挙げられると考えています。また、卒業研究では、月経周期に伴う女性ホルモンの変化によって運動前に糖質溶液（スポーツドリンク）を飲んだ場合に身体パフォーマンスにどのような影響がでるのかを調べています。

現在は管理栄養士の国家試験の合格を目指し、勉学に励むとともに

に、卒業後に進学予定である本学大学院での研究計画を行っています。そして、大学院修了後には、本学で得た学びを活かし、女性アスリートを栄養面からサポートしていければと思っています。

大学選びのコツは、少しでも興味のあること、好きなことを見つけることだと思います。本学は全学生が健士健民入門実習という授業を通じて畑や動物に触れることができるなど、他の大学とは違った良さや経験をたくさんできる大学です。本学に入学してぜひ色々なことにチャレンジしてみてください。



食品企画開発実習

食品企業における新製品の企画開発手法について学ぶことを目的とし、各グループでディスカッションを重ねながら、新製品のテーマの策定やそのアイデアの具体化の方法、パッケージデザインや包装形態の検討手法、アンケートによる消費者ニーズの把握などの市場分析手法について学びます。

日持ちのするスイーツを題材として、各グループごとに新製品を開発し、実際に試作を行った上でそれらの評価を行い、得られた結果についてプレゼンテーションを行います。



① スイーツの試作風景／② 試作したスイーツの盛り付け／③ 重要な試作品の味見／④・⑤・⑥ 様々な販促用のポップ／⑦・⑧・⑨ 企画開発したスイーツ達／⑩・⑪ 各チームが開発した商品の試食会とアンケート調査

食品品質特性学実験

食品製造において製品の品質を保つことは極めて重要です。

本実験では食品の品質の中でも物理的な特性に着目して実験課題を設定しています。寒天やチーズ、デンプン餅の硬さを評価したり、チョコレートや青果物の凝固、融解温度の測定、食品内に含まれる水分活性（自由に動き回れる水分の量）測定などを通して、食品製造現場において必要とされる基本的な品質特性の評価法習得を目指しています。



① 水分活性の実験。食品中に自由に動き回れる水分（自由水）がどのくらい存在するか調べ、食品の保存性や冷凍時の影響を学ぶ／② 砂糖や塩を添加したときの自由水を調査している様子／③ 添加物と水の重量を測り濃度を決めて測定。食品製造のレシピには濃度が大事

公衆栄養学実習 I・II

公衆栄養学では、地域の人々の健康・栄養状態を改善するための知識・技術などを習得します。公衆栄養学における管理栄養士の仕事としては、公務員である行政栄養士が代表的です。4年生に行われる臨地実習では、保健所または保健センターなどに勤める行政栄養士の活動を実践を通して学ぶことで、管理栄養士としての実務能力を養います。



① 実習として料理教室での健康講話を実践／② 料理教室の参加者と一緒に料理／③ 料理教室中に参加者とコミュニケーション／④ 学生が作成したレシピのリーフレット

給食管理実習 I・II

給食管理は栄養面・安全面・経営面など多岐にわたる内容を含み、そのほとんどを管理栄養士がマネジメントします。

給食を提供するためには、献立と調理作業の計画、食材料の納入と管理、大型調理機器の操作など多くの知識と実践が必要になります。

本学の給食管理実習は、グループ学習によって体系的に学べるように構成しており、教員の指導のもとに学生同士が意見を交わしながら主体的に学んでいきます。

更に、作成した献立をテーマにしたリーフレットを作成し、給食を生きた教材として活用します。給食の提供を通して対象者に合わせた栄養教育の技術を習得します。



① 安全な給食提供のために、加熱時間や材料の過熱温度を計測／② 作業計画に基づいての大量の食材料を切裁／③ ほうじ茶プリンの焼成（献立の満足度を高めるためにデザートにこだわります）／④ ほうじ茶プリンを活用したリーフレット栄養教材

食品加工学実習

食品学、食品加工学などの基礎講義で学んだ知識を実践するために、各種食品素材の調製から製品が完成するまでの各工程の実践を習得するとともに、食品加工副産物の有効利用についても理解し、人の健康と栄養に関わる豊かな知識と技能を身に付けることを目標とします。



① 塩せきした豚バラ肉をこれから燻煙する様子／② ソーセージに香辛料を混ぜ合わせる作業の様子／③ 出来上がったソーセージは後で美味しくいただきます／④ 凝乳酵素を加え、凝固を開始させる／⑤ 圧搾を終えたチーズの形を整えている様子



Pickup
ピックアップ研究室(ユニット)
食と健康学類

Pickup
1 農産資源科学研究室 阿部 茂 教授 小泉 次郎 助教

食品企業や自治体が求める新たな食品加工技術や
新商品の開発を行う

当研究室では6次産業化に係る商品開発や技術支援、そして食品製造において効率化や差別化を可能にする新たな食品加工技術の開発を行っています。民間企業や自治体との共同研究が多く、現場での研究打合せや試作試験が多いことが特徴です。ゼミ活動では食品関連の展示会や発表会の視察を行います。自らブース展示を行い共同研究により開発した新商品や新技術を紹介することもあります。食品企画開発研究室は食品開発に必要な知識や技術を習得することに加え、商品説明を行うなど実践的な経験を積むことで社会人として即戦力の人材育成を図ります。



紹介動画は
こちら



🔍 学びのkeywords ●食品企画開発 ●加工技術開発 ●6次産業化 ●食品製造・加工 ●マーケティング ●過熱水蒸気

Pickup
2 流通マーケティング研究室 尾碕 亨 教授 増田 祥世 准教授

農と食を軸によりよい社会を作るマーケティングの
あり方を考える

食に関するマーケティングでは、売ることだけではなく調和のとれたフードシステムの構築や食の源泉である農業・農村の持続可能性についても考える必要があります。また、企業だけでなく生産者等も地域に根付いた多様なマーケティング活動を行っています。本研究室ではフィールドワークによってこうした小さなマーケティングの社会的意義も検証しながら、よりよい社会を作るためのマーケティングのあり方を研究していきます。



🔍 学びのkeywords ●フードシステム ●6次産業化 ●直売 ●消費者 ●農村社会 ●女性農業者

Pickup
3 食品物理学研究室 金田 勇 教授 川端 庸平 准教授

分子ガストロノミーを志向した食品の物理学

食品や飲料の美味しさは、アミノ酸や塩、砂糖、油脂などの化合物で決まりますが、柔らかさ、のど越し、後味などの食感には化学の知識だけでは説明できないことがあります。本研究室では、クリームなどの泡やチョコレート、チーズなど多岐にわたる食品の中の構造を“量子ビーム”を用いて観察することや、食品の硬さや柔らかさなどの測定を通して、美味しさの起源を明らかにする研究を行っています。これらの研究を通して、食品科学にある諸問題の解決を目指すとともに、企業や他大学・研究機関との交流を通し、北海道発で世界に通用する食品物理学研究室となるよう取り組んでいます。



紹介動画は
こちら



🔍 学びのkeywords ●食品レオロジー ●分子ガストロノミー ●食品乳化構造 ●食品コロイド ●食感改質

Pickup
4 管理栄養士コース 栄養教育学研究室 杉村 留美子 准教授

行動科学理論に基づく栄養教育、
食行動変容の促しに関する研究

管理栄養士は、幼児期や高齢期などさまざまなライフステージを対象に栄養教育を実施します。成人期では肥満や疾病を防ぐために食事を制限しなくてはならない状況がありますが、本研究室では、食事を制限するだけではなく、食べるタイミングによって血糖値の上昇を抑えることに着目した研究を進めています。ゼミ活動では、地域と連携した幼児に対する栄養教育の実施、企業から依頼を受けたレシピの開発をゼミ生が担当する機会があります。試作やプレゼンを繰り返して完成させるレシピの提供は、食環境整備の一環として、栄養教育における大事な役割の一つです。



🔍 学びのkeywords ●管理栄養士 ●栄養教育 ●行動科学 ●食行動 ●食育 ●健康の維持・増進

研究室(ユニット)一覧

研究室	教員	職名	テーマ	学びのkeywords
農産資源科学	阿部 茂 小泉 次郎	教授 助教	食品企業や自治体が求める新たな食品加工技術や新商品の開発を行う	食品企画開発 加工技術開発 食品製造・加工 マーケティング 6次産業化 過熱水蒸気
食肉科学	岩崎 智仁 前田 尚之 長谷川 靖洋	教授 准教授 講師	筋肉から食肉までの生化学、衛生学及び組織細胞学・マウスからジビエまで	骨格筋 筋損傷と再生 酸化ストレス ステロイドホルモン 臓モツ
流通マーケティング	尾碕 亨 増田 祥世	教授 准教授	農と食を軸によりよい社会を作るマーケティングのあり方を考える	フードシステム 消費者 6次産業化 農村社会 直売 女性農業者
食品化学	小野寺 秀一 上野 敬司	教授 准教授	食資源を有効活用し、新しい機能性食品素材を開発する	オリゴ糖 腸内細菌 3次機能 アスパラガス 生活習慣病 動物実験
食品物理学	金田 勇 川端 庸平	教授 准教授	分子ガストロノミーを志向した食品の物理学	食品レオロジー 食品コロイド 分子ガストロノミー 食品乳化構造 食感改質
乳科学	竹田 保之 栃原 孝志	教授 准教授	発酵乳製品の微生物叢および乳酸菌の機能解析と利用に関する研究	牛乳 乳酸菌 チーズ 発酵 ヨーグルト 食品構造解析 食品衛生
発酵科学	舩津 保浩 村松 圭	教授 准教授	発酵技術を用いた低利用資源の有効活用と安全・安心な食品素材の開発	乳酸菌 発酵技術 酵母 醸造 麹 食品衛生
数学	上野 岳史	教授	自然演繹における部分構造論理の正規化可能条件についての研究	数学 部分構造論理 数理論理 論理構造の解明 圏論
英文学	金井 彩香	准教授	19世紀から20世紀の英米小説を読む	文学 英語 文化 歴史
教育発達心理学	須賀 朋子	教授	学校現場で必要な教育心理学、特別支援教育を追求する	特別支援教育 不登校 教育心理学 教育問題 DV

◆管理栄養士コース

研究室	教員	職名	テーマ	学びのkeywords
臨床栄養管理学	石井 智美	教授	21世紀の食へ貢献する管理栄養士を目指して	栄養 食文化 健康 発酵食品 料理 高齢者の食
臨床栄養学	大谷 克城	教授	抗酸化機能に着目した食素材研究と新たな機能性食品の開発	管理栄養士 食品分析 臨床栄養 酸化ストレス 抗酸化機能 食品開発
公衆栄養学	木村 宣哉	講師	地域・集団・個人における健康についての研究	管理栄養士 健康寿命 生活習慣 ヘルスリテラシー 地域保健 保健活動
給食栄養管理	小林 道	准教授	栄養および食習慣が人々の健康に与える影響を科学的に明らかにする	管理栄養士 食習慣 給食 栄養疫学 栄養管理 食事調査
栄養教育学	杉村 留美子	准教授	行動科学理論に基づく栄養教育、食行動変容の促しに関する研究	管理栄養士 食行動 栄養教育 食育 行動科学 健康の維持・増進
食品学	舩津 保浩	教授	食品ロスのリサイクル技術と道産食材を活用した低GI食品の開発	血糖値 官能評価 生活習慣病 リサイクル 食品ロス 調味料
食品衛生学	村松 圭	准教授	食材の機能性や共生菌に注目した食の安全と健康を科学する研究	食品機能 微生物 食の安全・安心 品質管理 食品分析 健康増進
食・健康スポーツ科学	山口 太一 柴田 啓介	教授 講師	スポーツパフォーマンスを高めるためのより良いコンディショニング法の探求	コンディショニング 筋力トレーニング スポーツ栄養 体力 ストレッチング 体育
医学・生理学	山田 雅文	教授	様々な疾患と栄養との関わりについて、その病態とともに学ぶ	健康 病態 栄養 疾患

Pickup
5 管理栄養士コース 食・健康スポーツ科学研究室 山口 太一 教授 柴田 啓介 講師

スポーツパフォーマンスを高めるための
より良いコンディショニング法の探求

スポーツ選手は試合でより良い競技成績を収めることを望んでいます。そのためには、心身の状態をより良くするための「コンディショニング」が重要となります。コンディショニングとは、試合に向けた体づくりや試合前の準備と終了後の回復など、スポーツ選手に必要なとされるコンディションを高めるために行うすべての活動を指します。本研究室では主に栄養、ストレッチング、筋力トレーニングに着目し、スポーツパフォーマンスを向上させるためのコンディショニング方法を血液性状、体力、スポーツパフォーマンスの測定評価を用いて明らかにする研究を行っています。



紹介動画は
こちら



🔍 学びのkeywords ●コンディショニング ●スポーツ栄養 ●ストレッチング ●筋力トレーニング ●体力 ●体育

環境共生学類

College of Agriculture, Food and Environment Sciences
Department of Environmental Sciences



環境共生学類の
紹介動画はこちら

世界の自然環境・生態系をどう守る？

その答えを北海道から探す



学びのポイント

point 1

地球環境、生態系の仕組みやつながりを科学的に解明し問題解決の方法を探る

環境とは人や生物を取り巻く総体で、守るのも壊すのも人の考え次第です。野生の動植物に対して好き嫌いだけでなく、一つの生命として向き合い、すべての自然のつながりを理解する学びを行います。

物質循環
温暖化
気象・気候

森林生態系
海・川・湖
生物多様性
GIS・RS
環境政策

希少種保全
外来種対策
鳥獣害対策

point 2

GIS (地理情報システム)、RS (リモートセンシング) を用いた情報解析を実践的に学ぶ

地域の諸問題の解決には人工衛星やドローンから得られる空からの目「RS」、さらに、その画像を他の情報と合わせて解析する「GIS」が不可欠です。これらの技術を講義だけでなく実習等も通じて実践的に学びます。



point 3

自然と人が調和・共生する社会の実現に貢献できる人材を育成

本学類には環境に関する多種多様な分野を専門とする教員が在籍しています。広大なフィールドで、自然と共生する社会に貢献するための活きた力が養われます。



point 4

北海道から世界のフィールドで実学教育を実践

4年間を通してたくさんのフィールドワークの機会があり、複雑な生態系を肌で感じながら学ぶことができます。学生の4人に1人が実習・調査・留学で、アジアやオセアニア、欧米、アフリカなどの海外経験をしていることも本学類の特徴です。



取得可能資格

必要要件を満たせば卒業と同時に取得可能な資格です。

- 中学校教諭1種(理科)
- 高等学校教諭1種(理科)
- 准学校心理士

学類でサポートする資格

- 気象予報士
- 生物分類技能検定(2級・3級)
- 猟銃所持許可
- 狩猟免許(猟銃・わな・網)
- ビオトープ管理士
- 公害防止管理者
- 環境測定分析士
- 技術士補

受験資格

必要要件を満たせば受験する資格が得られます。

- 鳥獣管理士 準1級(野生動物学コース卒業必須)、2級、3級
- シカ捕獲認証(レベル1)

目指す職業

- 環境・建設コンサルタント業
- 環境NPO・NGO法人
- 衛生サービス業
- 情報通信業
- 農業協同組合・森林組合
- 教育・学習支援業
- 教員
- 都道府県・市町村公務員
- 狩猟者・認定鳥獣捕獲事業者 など

3・4年次 専門教育 コース紹介

3・4年次
専門教育

野生動物学コース

野生動物の保全と管理について、北海道の広大なフィールドを舞台に生態学と地域社会とのかかわりを基礎とした幅広い理論と技術を学ぶ。

◆どんな切り口（分野）で学びを深めるかはあなた次第！



野生動物学コース TOPICS

- 国内唯一の野生動物にかかわる地域の問題を解決できる専門家(Wildlifer)養成を目指すコース
- 野生動物の生態や行動、保全や管理、狩猟や有効活用、鳥獣行政、人や地域と野生動物などを専門とする多彩な研究室

各コース共通

- マレーシアやモンゴルなどアジアを中心とした海外実習やフィールドワークも充実
- 人工衛星やドローン、ICTを活用した高度な環境情報解析
- 全国各地の野生動物や環境の問題に、最前線で活躍する人材を輩出中
- 資格取得に繋がる専門科目を多数配置

TOPICS

- 地球規模の(Globalな)視点で環境問題を捉え、地域の(Localな)視点で問題解決のために行動できる人材を育成
- 自然環境や野生動物、人々の暮らしを地域の資源として地域活性化にも貢献
- 北海道の大自然、森・里・川・海全てがフィールド。全道各地で豊富なフィールドワーク
- 地域の課題も地球環境の危機も、市民公園の池から南極まで、広範な教育研究テーマ

3・4年次
専門教育

生命環境学コース

北海道の森・川・湖・海といった優れた自然資源の保全と利用を題材に、生命圏の物質的・エネルギー的環境に関する理論と技術を学ぶ。

◆多種多様な専門教育の中で



生命環境学コース TOPICS

- 地域から地球規模まで幅広い環境問題に対応できる人材(Nature Specialist)を育成するコース
- 気候や気象、環境変動・変化、湖沼・河川流域環境、海洋環境、水環境、土壌や植生、植物等を専門とする多彩な研究室



環境共生学類
生態系物質循環

保原 達
教授



私の研究は陸上生態系を主とした生態学、森林科学です。土壌と植物、そして人間との関係について、物質循環という観点から研究を行っています。最も関心のあるテーマは「地と生物の関係」という部分で、具体的には蛇紋岩地という特殊な地質帯や火山灰地に学生たちと出かけ、研究に取り組んでいます。

蛇紋岩は植物の生育を阻害する重金属を多く含んでおり、植物にとっては劣悪な環境です。しかし蛇紋岩地にはこれに適応した希少な植物が見られます。そうした植物はどのようにしてこの環境に適応しているのでしょうか。現状の段階ですと、有毒であるはずの重金属を無毒化したり害の少ないところに蓄積させているという結果が出ています。重金属を土から植物、植物から土へと渡し合い、循環させているのです。そこで学生たちと、蛇紋岩地の土壌と植物の関わりを、元素や物質といった化学的な観点から分析し研究を進めています。

また火山灰地では生き物たちの遺骸が黒色土として蓄積しますが、いわゆるこの「黒土」は農業にとって非常に重要な役割を果たしています。この黒いものは植物のなれの果てですが、火山灰は数千年の月日が経つことによってこの黒い成分を強力に吸着し始めます。そうすると最初は栄養のない灰だった地が、農業に適した肥沃な土地となるのです。これらは膨

大な歳月を積み重ねた、そこに住んだ生き物と地質が織りなした絶妙なプロセスの結果ともいえるでしょう。

世の中には自然生態系をメインに研究をされている方は多いですが、土壌を主として研究を進める学者は非常に少ない。土というのは全ての始まりでもあります。土に植物が息し、死んだ植物はやがて土に還って養分となり、再びその地に植物が育つ。そういった循環が起きることで生態系が成り立っています。ただ土はブラックボックスでもあり、研究のプロセスは非常に難しい。地域によって天候や地質、物理条件など前提となる条件が変わりますし、土地の個性を抽出するのも難しいのです。ただ、農業の発展や環境問題を鑑みると非常に重要な研究でもあるので、一つ一つ地道に成果を積み重ねたいと思っています。

農家さんが持つ農地や畑の土壌を調査し、結果をお伝えすることで感謝をいただくなど、日々の研究でやりがいも感じています。ただ地球環境という広い視点で見ると、農業は森林破壊や環境汚染に少なからず影響を与えています。将来的にはそういった課題を解決できるよう、農地と森林としての要素を兼ね備えた「環境配慮型農業」の実現に、私の研究が寄与できればいいなと考えています。

酪農学園大学は環境共生学類一つを取ってみても、野生動物や地球環境、さらには環境に関わるデータサイエンスなど多彩なことを学べる体制が整っています。多様な関心を持った教授陣が揃っているため、入学してから色々な道を試せるのが強みだと思います。大学は失敗しても許される環境だと思いますので、入学した暁には色々な挑戦的な学びを通して自分なりに課題を解決する力を一緒に養っていきましょう。



[カリキュラム] ☆1は外国人留学生のみ

※この内容は2023年4月1日現在のもので今後変更もあります。

1
年次

基盤教育

■基礎演習
■建学原論
■キリスト教I
■キリスト教II
■健康入門実習
■農食環境学概論

■哲学
■心理学
■文学
■社会学
■日本史
■世界史

■地理学
■法学
■日本国憲法
■経済学
■数学I
■数学II

■生物学
■生物学実験
■化学
■化学実験
■物理学
■地学

■運動の科学
■体育実技I
■体育実技II
■情報科学の基礎
■情報処理基礎演習
■英語I

■英語II
■英語III
■英語IV
■日本語I ☆1
■日本語II ☆1
■キャリア実習

専門基礎教育

■全学共通科目A
■全学共通科目B

教職課程教育

■教育原理
■教職入門
■教育心理学

2
年次

基盤教育

■キリスト教と諸宗教
■キリスト教と生命倫理
■統計学I
■統計学II
■物理学実験
■地学実験
■外国語演習I
■外国語演習II
■中国語I
■中国語II
■ハングルI
■ハングルII
■キャリアベシック

専門基礎教育

■無機化学
■有機化学
■物理化学
■分析化学
■生化学
■微生物学
■土壌学
■植物遺伝学
■動物遺伝学
■植物生理学
■民法・商法
■行政学概論
■経済学
■ミクロ経済学
■マクロ経済学
■経営学総論
■日本経済論
■生物分類学
■野生動物学の基礎
■動物生態学
■生物地球化学

■植物生態学
■気象学の基礎
■自然環境学実験・実習
■動物形態機能学
■アジア環境学
■環境法
■地形・地質学
■環境共生学外実習
■海外自然環境実習
■情報処理演習
■GIS基礎演習
■GIS応用演習
■リモートセンシング基礎
■演習
■国際関係論
■国際理解
■国際法
■家畜解剖学
■家畜生理学
■畜産学総論
■農業機械学

■社会調査法
■ボランティア活動・NPO・NGO論
■マーケティング論
■国際経済論



教職課程教育

■特別支援教育論
■教育課程論
■教育方法・ICT活用論
■生徒・進路指導論
■教育相談論

3
年次

基盤教育

■外国語演習I
■外国語演習II
■キャリアデザインI
■キャリアデザインII

専門基礎教育

■統計データ分析演習
■保全生物学
■サステイナビリティ学
■資源管理論
■農業施設学
■雑草学
■農業施設・機械学実習
■食品物理化学

■栄養生理学
■食品流通論
■食品資源学
■食品衛生学
■公衆衛生学
■食料経済論
■博物館実習

教職課程教育

■教育社会学
■総合的な学習の時間の指導法
■特別活動論
■理科教育法I
■理科教育法II
■道徳教育指導論

専門教育

■専門ゼミナールI
■専門ゼミナールII
■環境変動のリモートセンシング
■環境情報の解析
■地域資源学
■生態地保全管理論
■環境アセスメント・ヒートマップ

【野生動物学コース】
■野生動物保全技術実習I
■野生動物保全技術実習II
■野生動物観察同定実習
■野生動物保全行政論
■野生動物保全と人間事象
■狩猟管理技術論

■野生動物生態学
■野生鳥獣管理学
■環境共生演習I
■環境共生演習II
■実践野生動物学実習
■植生保全学

【生命環境学コース】
■森林環境学
■水圏環境化学
■自然環境保全と地球温暖化
■気象・気候学
■水圏・地圏総合実習
■生命環境学実験実習I

■生命環境学実験実習II
■植生保全学
■環境共生演習I
■環境共生演習II
■実践生命環境学実習
■火山・鉱物学

4
年次

専門教育

■卒業研究I
■卒業研究II
■研究発表
■環境教育論
■動物園・水族館学
■自然再生エネルギー論

教職課程教育

■教職実践演習(中・高1免)
■理科教育法III
■理科教育法IV
■教育実習(中・高1免)
■教育実習(高1免)



[カリキュラムマップ]



環境共生学類

環境共生学類
生態系物質循環研究室 4年

久米 花枝さん
埼玉県／
山村学園高等学校出身



自分の「好き」を見つける ヒントがある大学



私は現在、生態系物質循環という研究室に所属していますが、そこで蛇紋岩という特殊な地質を持つ土壌をテーマに卒業論文を進めています。蛇紋岩土壌は簡単にいうと、植物が生息しづらい性質を持っている土壌で、北海道内でも珍しい地質です。私はその中でもさらに珍しい、蛇紋岩と泥炭地が重なった地層について研究をしています。

私は山や植物が好きで生命環境学コースに進みましたが、元々土壌そのものに興味はありませんでした。しかし今のゼミに所属してから土の奥深さに触れ面白と感じ、今では卒論のテーマにするほど好きになりました。卒業後の進路も地質コンサルタントの会社に就職が決まっています。入学してからでも『好きを見つけれられる』というのは、広大なフィールドワークや豊富な選択肢が揃っている酪農学園大学ならではの魅力かなと感じています。



環境共生学類では3年次からコースが分かれるため、動物や植物、魚や水質などさまざまなことに興味や見識のある友人と出会えます。そういった意味でも、「将来何をしたいのか分からない」という人でも、私のように「面白そう」というものに会えるタイミングがきっとどこかにあります。本学で開催されるオープンキャンパスはもちろん、道外でも出張オープンキャンパスが開催されているので、進路に悩んでいる方は気軽に足を運んでみていいのかなと思います。

環境共生学類
環境リモートセンシング研究室 4年

金井 瑠海さん
長野県／
松商学園高等学校出身



自然の今を リアルタイムで学べる4年間



高校時代の私は狩猟に興味があり、その分野を専門的に学べる酪農学園大学を知り、北海道への憧れもあって本学への入学を決めました。

入学当初は狩猟について学びたいと思っていましたが、1・2年次の講義を通じて自然分野を幅広く学ぶうちに野生動物、特にオオカミの生態についてより詳しく学びたいと思い、3年次は環境リモートセンシング研究室へ。リモートセンシングとは、人工衛星や航空機などが搭載している測定器によって、遠隔で対象物に触れずに対象物の形や性質を測定する技術です。研究室では、フィールドワークでモンゴルに行き、オオカミの巣や草食動物のフン、周辺の植物などの調査を通じてオオカミとの関連性を調べました。さらにICチップを付けたオオカミがどのように移動しているかについてGPSを活用した調査も行っています。実はモンゴルでも日本同様、草食動物であるシカが増えています。



大型肉食動物がいない日本の生態系の未来を考える上で、オオカミの存在がモンゴルの生態系の維持にどのような影響を与えるか調査することは、非常に大事な研究だと考えています。私は本学で学んだリモートセンシング技術を活用できる企業に就職する予定ですが、同時に子どもと自然環境を結び付ける活動にも力を入れたいと考えています。

環境共生学類は自然環境の下で行う実習が豊富なことが大きな魅力です。座学や実習を通じて様々な専門知識を学ぶうちに、自分のやりたいことがきっと見つかるはずだと思います。ぜひ本学で楽しい大学生活を送ってください。



知床国立公園の隣接地域(オホーツク海側)での環境保全活動



① 西興部村の鹿牧場公園でエゾシカを観察／② 占冠村で哺乳類調査のためセンサーカメラを設置／③ 占冠村のデントコーン園場脇についたヒグマの足跡／④ エゾシカの食肉処理施設で解体方法を学ぶ(占冠)／⑤ トドツツの幹についたヒグマの爪痕(知床)／⑥ 知床国立公園(世界自然遺産)で「ジュナルトラスト」しれとこ100平方メートル運動の説明を受ける(知床)／⑦ 外来種アライグマの捕獲実習(占冠)／⑧ しれとこ100平方メートル運動の植林活動を体験する(占冠)

① 洞爺湖中島におけるエゾシカ調査実習／② 洞爺湖での植生調査実習／③ 森林土壌調査実習／④ ボートやカヌーを用いた水圏フィールド実習／⑤ 船舶を用いた観測実習

① 洞爺湖中島におけるエゾシカ調査実習／② 洞爺湖での植生調査実習／③ 森林土壌調査実習／④ ボートやカヌーを用いた水圏フィールド実習／⑤ 船舶を用いた観測実習

Figure 5 shows a person in a red jacket and helmet using a chainsaw to cut a log in a forest. Figure 6 shows a group of people in orange and blue vests working on a snowy slope, possibly for avalanche control or rescue training.

① 標茶での植栽実習／② 泥炭湿地での温室効果気体フラックス観測
③ 学内での環境試料分析実習／④ 上川・空知管内での流域生態系
観測実習／⑤ 標茶での森林間伐実習／⑥ サロマ湖における海水実習

Pickup

ピックアップ研究室(ユニット)

環境共生学類

研究室(ユニット)一覧

Pickup

1 野生鳥獣管理学研究室 伊藤 哲治 講師

野生動物を知り、人と共存する方法を探求する

現在、人と野生動物の軋轢が大きな問題となっています。その問題を解決・改善に導くには、さまざまな視点や専門性でその問題について調べる必要があります。さらに、専門的な知識を持った人材を育成し、各地域の専門家として鳥獣問題に取り組んでもらうことも重要です。私の研究室では、フィールドワークで得られた野生動物のさまざまな情報や試料から、鳥獣管理のための情報を得て、野生動物管理の方向性を探るための調査・研究を行っています。例として、ヒグマの遺伝的構造解析や行動追跡、アライグマの生息状況調査や捕獲調査、シカに対する電気柵の効果検証などです。是非、一緒に野生動物について調べましょう!



紹介動画はこちら



🔍 学びのkeywords ●野生動物 ●鳥獣管理 ●フィールドワーク ●DNA分析 ●被害対策 ●地域交流

Pickup

2 環境リモートセンシング研究室 星野 仏方 教授

「頂点捕食者が存在する生態系と存在しない生態系」はどう違うか?

オオカミは生態系の頂点に君臨する捕食者です。オオカミが存在しない生態系において増え過ぎた草食有蹄類の食害によって、植物生態系が衰退し、よって鳥類、昆虫類を含めた生態系全体に深刻な影響を及ぼしています。当研究室ではアメリカ・イエローストーン国立公園の過去と現在の比較、およびオオカミが生息するモンゴルHustai国立公園と北海道知床国立公園の比較研究によって、「頂点捕食者が存在する生態系と存在しない生態系」の違いを明らかにするために調査研究を行っています。



モンゴル国ホスタイ(Hustai)国立公園に生息するハイロオオカミ

🔍 学びのkeywords ●衛星追跡 ●リモートセンシング ●遊牧伝統文化 ●オオカミとの共存

Pickup

3 生物資源保全学研究室 原村 隆司 准教授

動物の行動・生態の解明および生物多様性保全に関する研究

地球上にはさまざまな動物がいます。そして、すべての動物がさまざまな興味深い行動や生態を持っています。私の研究室では、両生爬虫類や昆虫などの小型動物を対象に、それらの行動や生態がどのように進化してきたのかを解明する研究を行っています。また、近年、北海道でも外来種問題が注目されています。このような外来種を防除・駆除するためにも、外来種が持つ生態を詳細に解明する必要があります。そこで、北海道の生物多様性を守るための外来種防除に関する調査を進めています。調査では、フィールドワークや室内実験を中心として、マクロからミクロレベルでの動物の行動・生態解明を行っています。



紹介動画はこちら



🔍 学びのkeywords ●外来種 ●生物多様性 ●フィールドワーク ●両生類 ●動物行動 ●自然保護

Pickup

4 水質化学研究室 中谷 暢丈 教授

水や水生生物を介した物質の循環過程や人為的な環境汚染を研究

身近な水は、地球上すべての生命維持、人の生活や産業活動、自然生態系の維持等に必要不可欠な物質ですが、それぞれに適切な水質が要求されます。また、水生生物の体内に蓄積された化学物質は、長期的な水環境の汚染状況を反映しています。私の研究室では、河川や湖沼などの水質や水生生物に含まれる化学物質を調べ、水域における物質の循環過程や人為的な環境汚染を明らかにし、得られた知見を用いて水環境の適切な保全や修復、再生を目指す研究を進めています。



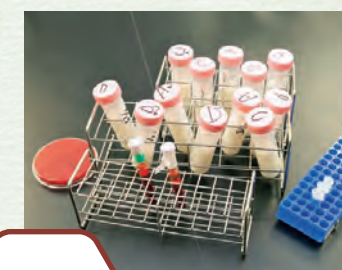
紹介動画はこちら



🔍 学びのkeywords ●水環境 ●化学物質 ●水質 ●水生生物 ●環境汚染

研究室	教員	職名	テーマ	学びのkeywords
狩猟管理学	伊吾田 宏正	准教授	持続的な狩猟の発展および狩猟鳥獣の生態と管理	狩猟管理 鳥獣捕獲 生態資源利用
野生鳥獣管理学	伊藤 哲治	講師	野生動物を知り、人と共存する方法を探求する	野生動物DNA分析 鳥獣管理被害対策 フィールドワーク地域交流
環境空間情報学	小川 健太	准教授	GIS・RS技術の応用	地球環境人工衛星ディープラーニング 環境計測ドローン リモートセンシングGIS
野生動物生態学	佐藤 喜和	教授	フィールドワークを通じて野生動物の生態を探索	フィールドワーク野生動物 ヒグマ森林 鳥獣対策
データサイエンス	菅原 隆介	助教	群論を用いて身近な自然現象を分析する	数学群論 応用数学データサイエンス リー代数
保全生物学	鈴木 透	准教授	野生動物と自然環境の相互関係を科学する	生物多様性フィールドワーク 保全GIS 景観生態ドローン
情報工学	高取 則彦	教授	生物進化のシミュレーションと進化的計算法	情報科学シミュレーション 生物の進化最適化
生物多様性保全	立木 靖之	准教授	持続可能な地域社会と生物多様性の保全についての研究	鳥獣対策海外 生物多様性環境保全 フィールドワーク地域社会
自然再生学	千葉 崇	講師	地質記録等から過去の環境変化を読み取り古地震等の現象を明らかにする	沿岸環境珪藻 津波堆積物第四紀地質学 微化石古環境復元
環境法	遠井 朗子	教授	地球環境条約の履行確保と国内実施方法の検討	国際環境法再生可能エネルギー 環境法政策環境アセスメント 生物多様性環境犯罪
水質化学	中谷 暢丈	教授	水や水生生物を介した物質の循環過程や人為的な環境汚染を研究	水環境水生生物 化学物質環境汚染 水質
気象・気候学	馬場 賢治	教授	大気や海洋の見地から社会や動植物に与える影響を研究	気象・気候大気海洋相互作用 環境汚染(水質・大気)海水 環境観測・計測教職
生物資源保全学	原村 隆司	准教授	動物の行動・生態の解明および生物多様性保全に関する研究	外来種両生類 生物多様性動物行動 フィールドワーク自然保護
環境リモートセンシング	星野 仏方	教授	「頂点捕食者が存在する生態系と存在しない生態系」はどう違うか?	衛星追跡リモートセンシング 遊牧伝統文化オオカミとの共存
生態系物質循環	保原 達	教授	陸上生態系の生物と環境のつながりを解明する研究	森林物質循環 植物の環境適応ミネラル 土壌
昆虫生態学	松林 圭	助教	昆虫の多様性がどのように生じるかを生態と遺伝子の両面から調査する	昆虫環境 多様性行動 進化種分化
昆虫生理生態学	松本 圭司	助教	昆虫の環境適応に関する生理学的・生態学的研究	昆虫生物多様性 環境適応環境保全 昆虫ホルモン
環境植物学	松山 周平	准教授	DNA分析や操作実験を用いて植物と環境の関係を研究する	植物希少植物 森林フィールドワーク 生物多様性DNA分析
フィールド情報学	森 夏節	教授	フィールドから得られたデータを分析、解析し、明らかとなった諸問題を情報技術を用いて解決する	IT化と環境地球環境 環境問題環境教育 地理情報システム情報技術の習得
環境動物学	森 さやか	准教授	主に鳥類を対象に野生動物の生態と保全にかかわる研究に取り組む	野生動物希少種保全 鳥類DNA分析 フィールドワークGIS
環境地球化学	吉田 磨	教授	地域や地球の生命や環境を守るために、多様なフィールドで観測研究	地球温暖化海 環境変化環境教育 環境観測・計測地方創生
国際理解学	吉中 厚裕	教授	持続可能な社会実現のための「地球」と「地域」両視点の尊重と統合	生物多様性環境政策 フィールドワーク自然資源の保護・利用 地球環境地域社会
実践GIS	吉村 暢彦	講師	GIS等の技術を用いた海外・国内の地域課題の発見と対応の検討	GIS農林業等のDX GPSアクティブラーニング 地域課題の発見

獣医学群が活躍するフィールド



獣医学類 生体機能学 分野

動物の構造や機能を学ぶ、いわば獣医学の土台。研究から臨床まで幅広く応用できます。

獣医学類 感染・病理学 分野

動物の病気の原因を調べ、予防法を考える基礎研究。比較的、研究員や公務員に向いています。

獣医学類 生産動物医療学 分野

牛・馬・豚などの生産動物にかかわる疾病を学習。畜産物を守り、食の安全に貢献できます。

獣医学類 予防獣医学 分野

病気の予防を主な目的に家畜衛生と公衆衛生を総合的に修得。国際的にも活躍の場があります。

獣医保健看護学類

獣医学類とともに動物の命を救い、人と動物を繋ぐ役割を担います。卒業生は、幅広い分野（伴侶、展示、生産動物）で活躍しています。

獣医学類 伴侶動物医療学 分野

犬や猫など伴侶動物の健康を実現。獣医療の高度化が進み、眼科などの専門医も求められています。



公務員

検査機関

野生動物
保護機関

目指す
職業

研究員

伴侶動物
臨床獣医師

研究員

公務員

目指す
職業

生産動物
臨床獣医師

伴侶動物
臨床獣医師

生産動物
臨床獣医師

研究員

目指す
職業

公務員

生産動物
臨床獣医師

研究員

目指す
職業

公務員

JICA等
国際関係
機関

検査機関

生産動物
看護師

愛玩動物
看護師

目指す
職業

公務員

伴侶動物
臨床獣医師

目指す
職業

専門医

研究員

獣医学群

獣医学類

School of Veterinary Medicine
Department of Veterinary Medicine



獣医学類の紹介
動画はこちら

動物にも人間にも
信頼される獣医師になる



学びのポイント

point 1

**6年一貫教育で、獣医師として
将来活躍する分野を見据えた
高度な専門性を養う**

「動物のお医者さん」だけではなく、獣医師の仕事は多岐にわたり、グローバルに活躍できます。本学類では実践的な学びを通して多様なニーズに応えていきます。



point 3

**専修教育コースは、生体機能学、感染・病理学、
予防獣医学、生産動物医療学、伴侶動物医療
学の5つに区分**

伴侶動物の病院をはじめ、人の健康を支える公衆衛生、動物を使った新薬開発の研究、家畜の健康と食の安全を守ることなどさまざまな獣医師の役割を専門的に学ぶ5コースがあります。

人獣共通感染症
(BSE、鳥インフル、新型コロナ)

食の安全・安心
(生産動物医療、耐性菌)

獣医学

生命科学
(再生医療やクローン動物)

伴侶動物医療
の高度化

point 2

**日本一の診療件数を誇り、最新の施設・
設備を備えた附属動物医療センターで
実践的な教育を実施**

附属動物医療センターは日本一の診療件数を誇り、実際の症例を学ぶ機会が格段に多くあります。また臨床実習に出る前にスキルスラボで実技や医療面接のトレーニングを積んだり、将来の方向性に応じて高度な実験や実習に取り組める体制と設備を整えています。



point 4

**学生3人に担当教員1人がついて、
しっかりと基礎から実践力を磨く体制が
整っている**

学習の進み具合から専門への方向性までアドバイザー制とユニット制を連携させ、担当教員が学生一人ひとりに応じて国家試験に合格するまで指導していきます。



取得可能資格

必要要件を満たせば卒業と同時に取得可能な資格です。
●食品衛生責任者

任用資格

特定の職業に任用されるための資格。資格を取得後、その職務に就いて初めて効力を発揮する資格です。
●食品衛生監視員 ●食品衛生管理者 ●飼料製造管理者
●環境衛生監視員 ●家畜人工授精師 ※獣医師免許取得者は資格を有する
●狂犬病予防員 ※獣医師免許取得者は資格を有する
●と畜検査員 ※獣医師免許取得者は資格を有する ●薬事監視員

受験資格

必要要件を満たせば受験する資格が得られます。
●獣医師国家試験

学類でサポートする資格

●食の6次産業化プロデューサー(レベル1)
●学芸員

目指す職業

- 伴侶動物病院獣医師
- 農業共済組合家畜診療所獣医師
- 公務員(農林水産省、厚生労働省、環境省ほか)
- 研究員(動物医薬品製造業、研究開発、安全性試験)
- 動物園・水族館等の獣医師

など

獣医学類
食品衛生学ユニット

臼井 優
教授



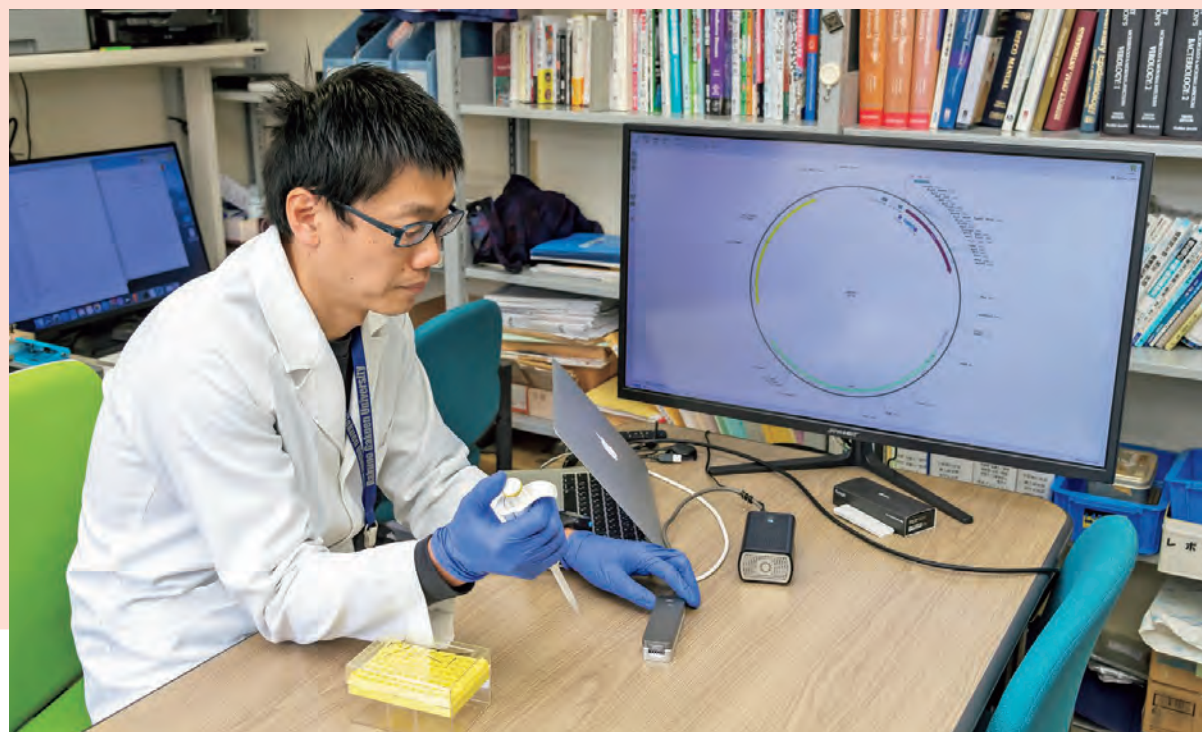
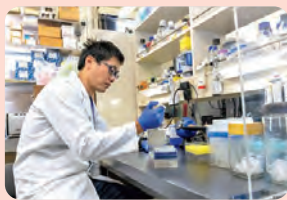
私の主な研究のテーマは、動物由来の薬剤耐性菌の研究です。細菌の中には感染すると人と動物の両方に症状が出るものと、動物には影響を与えないものの、人間の体内に入ると病気を引き起こす細菌が

あります。例えば「カンピロバクター」という細菌は、健康な鶏や牛であっても感染していることがあるのですが、動物では症状がありません。またこの細菌は加熱調理をすれば死滅するのですが、加熱が不十分で細菌が人間の体内に侵入した場合は食中毒を引き起こし、後遺症が残ることもある危険な細菌です。他にも集団食中毒を引き起こすことがある大腸菌「O-157」も動物には症状を起こさず人間に害を与える細菌として知られています。細菌感染症に対しては、通常抗菌薬を用いて治療を行うのですが、細菌も次第に特定の薬に対して耐性を持つ「薬剤耐性菌」になります。そして複数の薬剤に耐性を持つ「多剤耐性菌」の出現は、全世界レベルの問題として近年WHO（世界保健機関）を中心に、世界各国の大学や研究機関が対応策を研究している状況です。

細菌が耐性にならないようにするために必要なことは、第一に薬を使い過ぎないことです。これは私たち人間もそうだし、動物、特に家畜動物への抗菌薬の使用量を抑えなければなりません。それと同時に、細菌の伝播を遮断するためには細菌がどのように循環するのかを調査しなければなりません。こういった状況から私たちの研究グループは、家畜の糞尿や汚水処理に着目し

て調査を行いました。その結果、家畜の糞尿から作った堆肥肥料の中に「薬剤耐性菌」や細菌の薬剤耐性化をもたらす「薬剤耐性遺伝子」が含まれることが判明し、その肥料を使用している土壌からも検出されました。また糞尿の肥料化方法の内、バイオガスプラントで嫌気性消化を行って作られた肥料は、他の発酵処理方法に比べて薬剤耐性菌や薬剤耐性遺伝子が少ないことも分かりました。しかし、バイオガスプラントを作ることはコスト面での負担が大きいという課題もあり、現在は低コストで薬剤耐性菌や薬剤耐性遺伝子を少なくする方法も研究中です。また薬剤耐性菌の検査キットの開発や、細菌を媒介する衛生昆虫や野生動物に関する研究のほか、抗菌薬の慎重使用を目的とした冊子の作成など、薬剤使用量低下の為に普及啓発活動も行っています。

持続可能な循環型社会を実現するにあたって、有機肥料の一つである家畜の糞尿は貴重な資源です。しかし、私たち人間が不用意に動物に薬を多用することで、その循環を上手く構築できない可能性があり、この問題は日本のみならず世界全体の課題でもあります。酪農学園大学は環境、人も含めた大きなフィールドを使った実験をするには理想的な環境です。また北海道内のみならず全国で活躍している卒業生という幅広いネットワークを介した研究ができるのも本学の魅力だと思います。獣医師として動物に興味がある方はもちろん、本学の学びを通じてSDGsに貢献したいと考える方もぜひ酪農学園大学に来てほしいと思います。



[カリキュラム] ☆1は外国人留学生のみ

※この内容は2023年4月1日現在のもので今後変更もあります。

1
年次

基盤教育

- | | | | |
|---------------|--------|-----------|-----------|
| ■建学原論 | ■心理学 | ■体育実技I | ■英語II |
| ■キリスト教 | ■社会学 | ■体育実技II | ■日本語I ☆1 |
| ■健士健民・獣医学入門実習 | ■生物学 | ■情報科学の基礎 | ■日本語II ☆1 |
| ■獣医療概論 | ■化学 | ■情報処理基礎演習 | |
| | ■運動の科学 | ■英語I | |

専門基礎教育

- | | | | |
|---------|----------|-------------|----------|
| ■獣医組織学A | ■獣医生理学総論 | ■動物倫理・動物福祉学 | ■全学共通科目A |
| ■獣医生化学 | ■感染と免疫 | ■動物ハンドリング実習 | ■全学共通科目B |

専門教育

- | | |
|---------|-----------|
| ■獣医解剖学A | ■獣医組織学B |
| ■獣医解剖学B | ■獣医生理学各論A |

2
年次

基盤教育

- 統計学I
- 統計学II
- Veterinary Topic English (Standard)
- Veterinary Topic English (Advanced)
- English for Veterinary Skills

専門教育

- | | | |
|-----------|----------|----------|
| ■獣医解剖学実習 | ■獣医生理学実習 | ■動物感染症学B |
| ■獣医組織学実習 | ■獣医薬理学B | ■微生物学実習 |
| ■分子遺伝学 | ■実験動物学実習 | ■医療物理学 |
| ■獣医生化学実習 | ■獣医微生物学 | |
| ■獣医生理学各論B | ■動物感染症学A | |

専門基礎教育

- 獣医薬理学A
- 獣医寄生虫学
- 獣医病理学総論
- 実験動物学
- 動物栄養管理学

畜産関連科目

- 学外農場実習
- 畜産学総論

3
年次

専門基礎教育

- 動物行動学
- 臨床薬理学
- 臨床繁殖学A
- 獣医麻酔疼痛管理学
- 公衆衛生学総論
- 博物館実習

専門教育

- | | | |
|------------|------------|-------------|
| ■毒性学 | ■獣医病理学各論 | ■伴侶動物内科学各論A |
| ■獣医薬理学実習 | ■獣医病理学実習 | ■手術学総論 |
| ■動物感染症学C | ■食品衛生学 | ■伴侶動物外科学各論A |
| ■獣医寄生虫病学 | ■産業動物臨床学A | ■画像診断学 |
| ■獣医寄生虫病学実習 | ■伴侶動物臨床学総論 | ■伴侶動物臨床学実習A |
| ■疫病学・原虫病学 | ■臨床病理学 | |

4
年次

専門基礎教育

- 野生動物学

専門教育

- | | |
|-------------------|-------------|
| ■人獣共通感染症学 | ■産業動物臨床学実習B |
| ■獣疫学 | ■臨床繁殖学B |
| ■獣衛生学 | ■伴侶動物内科学各論B |
| ■ハードヘルズ学 | ■伴侶動物内科学各論C |
| ■総合衛生学実習I（獣医衛生） | ■馬臨床医学 |
| ■総合衛生学実習II（公衆衛生） | ■伴侶動物外科学各論B |
| ■総合衛生学実習III（食品衛生） | ■獣医臨床腫瘍学 |
| ■畜産物利用学実習 | ■獣医臨床検査学実習 |
| ■産業動物臨床学B | ■伴侶動物臨床学実習B |
| ■産業動物臨床学C | ■獣医臨床基礎実習 |
| ■産業動物臨床学実習A | |

畜産関連科目

- 畜産物利用学

専修教育

- | | |
|-----------------|--------------|
| ■獣医畜産法規 | ■予防獣医学演習II |
| ■研究発表 | ■生産動物医療学演習I |
| ■学外実習A（伴侶動物） | ■生産動物医療学演習II |
| ■学外実習B（生産動物） | ■伴侶動物医療学演習I |
| ■学外実習C（展示・野生動物） | ■伴侶動物医療学演習II |
| ■学外実習D（食品衛生） | |
| ■生体機能学演習I | |
| ■生体機能学演習II | |
| ■感染病理学演習I | |
| ■感染病理学演習II | |
| ■予防獣医学演習I | |

5
年次

専門教育

- 食肉衛生検査学実習（学外）
- 総合病理診断学実習
- 食鳥検査学実習
- 参加型伴侶動物臨床実習A（内科）
- 参加型伴侶動物臨床実習B（外科）
- 参加型伴侶動物臨床実習C（麻酔・画像診断）
- 参加型伴侶動物臨床実習D（検査・馬診療）
- 参加型伴侶動物臨床実習E（学外臨床実習・Shelter）
- 参加型産業動物臨床実習（学内・学外）

専修教育

- | | |
|-----------------|---------------|
| ■研究発表 | ■予防獣医学演習III |
| ■学外実習A（伴侶動物） | ■予防獣医学演習IV |
| ■学外実習B（生産動物） | ■生産動物医療学演習III |
| ■学外実習C（展示・野生動物） | ■生産動物医療学演習IV |
| ■学外実習D（食品衛生） | ■伴侶動物医療学演習III |
| ■生体機能学演習III | ■伴侶動物医療学演習IV |
| ■生体機能学演習IV | |
| ■感染病理学演習III | |
| ■感染病理学演習IV | |

6
年次

専修教育

- | | | |
|--------------|-----------------|-------------------|
| ■統合獣医学 | ■学外実習B（生産動物） | ■予防獣医学アドバンスドコース |
| ■中獣医学 | ■学外実習C（展示・野生動物） | ■生産動物医療学アドバンスドコース |
| ■動物理学療法 | ■学外実習D（食品衛生） | ■伴侶動物医療学アドバンスドコース |
| ■研究発表 | ■生体機能学アドバンスドコース | |
| ■学外実習A（伴侶動物） | ■感染病理学アドバンスドコース | |

[カリキュラムマップ]



獣医学類

獣医学類
獣医ウイルス学ユニット 5年
森 萌美さん
広島県／
広島市立基町高等学校出身



コンパニオンバードの エキスパートを目指して



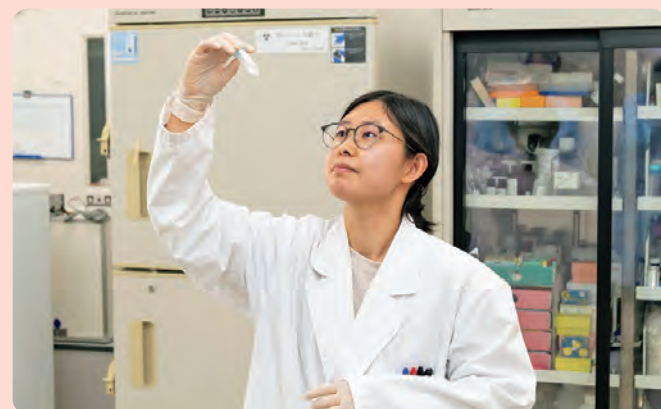
私は子どもの頃から動物、特にインコやオウム、文鳥などに代表されるコンパニオンバードが好きでした。ある時、飼育していた鳥が体調を崩してしまったのですが、お世話になった動物病院で女性獣医師の方に適切な治療をしていただき、元気を取り戻すことができました。それ以来、鳥を治療する姿に憧れを抱き、鳥の獣医師を志すようになりました。大学受験では2つの大学に合格しましたが、伴侶動物と生産動物の両方を幅広く学ぶことができる本学への進学を決めました。

獣医学類の学びで特に印象深いのが解剖学実習で、牛の胃の中の状態を観察しました。牛は4つの胃が必要だという座学で得た知識が、実習の場で結びつく面白さを実感できたとともに、獣医学という学問を肌で感じることができました。また、5年次には必修科目として伴侶動物と産業動物の臨床実習を行います。内科、外科、麻酔科などの実践技術はもちろん、対象とする動物も犬や猫、牛、豚、羊、馬と広範囲

に学ぶことができるのも本学ならではの魅力だと思います。

コンパニオンバードは講義で扱われることがほとんどないため、所属する獣医ウイルス学ユニットで鳥類細胞と神経疾患を引き起こす哺乳類ボルナウイルスの関係について研究するかたわら、自分で時間をつくり実習や見学、セミナーに参加するなど、夢を叶えるべく勉強中です。

現在、本学では欧州獣医学教育国際認証(EAEVE認証)に向けてカリキュラム改正等が行われ、また学生委員会が設立されるなど、より学生の声が反映されやすい体制にあります。自分の夢に向かって努力を続け、意見を発信することに関心のある方はぜひ本学で一緒に学んでいきましょう。



獣医学類
獣医生化学ユニット 5年
田中 良明さん
北海道遠軽町／
遠軽高等学校出身



臨床と研究の経験を 活かせる獣医師に



私の実家は北海道の遠軽町で酪農を営んでおり、動物が身近にいる環境で育ちました。進路選択の際、将来は動物に関わる仕事、そして地域に貢献できる仕事に就きたいと考え、獣医師を目指して本学への入学を決めました。

私が所属している獣医生化学ユニットでは、特定の細菌だけを殺して、宿主である人間や動物には影響を与えないウイルスである「ファージ」について研究しています。私たちが細菌に感染した場合、抗生物質を使用して治療しますが、近年抗生物質に耐性を持つ「薬剤耐性菌」が問題になっています。これは人間のみならず生産動物や伴侶動物も同様です。耐性菌によって治療が難しい犬や猫の外耳炎や牛の乳房炎などは、治療の現場でも大きな課題となっています。そこで注目されているのが「ファージ」を使った治療です。海外では、すでに臨床実験が行われていますが、日本国内では本学でのみ臨床実験が行われて

いて、私も牛の乳房炎の原因となる細菌を殺す「ファージ」について研究しています。将来は産業動物獣医師として故郷であるオホーツク地域の酪農・畜産農家の助けになれるよう国家試験に向けて勉強する日々を送っています。

本学は、学内に動物がいて、二次診療施設である附属動物医療センターでは最新の治療を学ぶことができるため、獣医師を目指す上では最高の環境だと思います。獣医学類の勉強量は多く、挫折することもあると思いますが、獣医師になりたいと志す仲間が存在や、獣医師になるという強い意志があればきっと道は開けるはずです。



参加型臨床実習

附属動物医療センターにおける生産動物部門および伴侶動物部門における診療活動と飼い主様とのコミュニケーションを通して、臨床獣医師として要求される問題解決能力を広く養います。

生産動物医療

本学AMC(附属動物医療センター)の生産動物医療部門における診療活動全般に参加体験する実習です。その内容は内科疾患、外科疾患、生殖器疾患への対応だけでなく、人工授精、受精卵移植、妊娠鑑定、ワクチネーションや群単位での伝染病保有状況調査など多岐にわたります。生産者の方とのコミュニケーションも学んでいきます。

① 超音波診断装置を使用した生殖器検査／② 搾乳に同席し全頭への乳汁検査を実施／③ 直腸検査(生殖器、泌尿器、消化器などの検査)／④ 頸静脈からの採血(病態を把握するための血液検査)／⑤ 超音波診断装置を使用して胸腔内の検査／⑥ 新生子治療のための輸液ルート確保(頸静脈への留置針装着)



伴侶動物医療

伴侶動物内科、伴侶動物外科系(神経科、整形外科、軟部外科・腫瘍科)において、問診、診断、治療計画の作成、治療効果の評価を実習します。また、画像診断科で、動物のX線検査、超音波検査、内視鏡検査、CT検査およびMRI検査などの画像診断の計画とその読影、担当医への報告書作成などを行う実習や、麻酔科において、動物の麻酔管理・周術期管理の立案と計画を行うなどの実習をします。



①・②・③ 外来の動物に対して、教員と共に身体検査を行っている様子／④ 入院中の動物に投薬を行っている様子／⑤ 教員の指導の下、超音波検査を行っている様子



馬医療

馬の往診に随行して身体一般検査や採血、跛行検査、心電図検査や挙肢検査などの基本的なスキルを学びます。また予防医療としてワクチン接種や駆虫剤の投与などを、獣医師の指導のもと学生が実際に行います。時にはミニチュアホースから重種馬まで多様な馬の診察を経験できます。



① 肢の挙げ方の指導を受けている様子／② 実際に蹄を確認し異常がないか検査する様子／③ 血液検査を行うことで健康状態のモニタリングに役立ちます／④ 馬の体型をチェック。健康の維持には体型の維持が欠かせません／⑤ 身体一般検査として聴診を行います。心肺機能の把握に重要です

病院実習専修コース(生産・学外)

月曜日から金曜日まで連続する5日間を1クールとし、オホーツク農業共済組合のえんゆう(遠軽、湧別、佐呂間)地区、道央農業共済組合の管轄地区、トータルハードマネジメントサービスの家畜診療所のいずれかの診療に参加します。診療所の獣医師の指導のもと、問診方法、疾病罹患動物の扱い方、鑑別診断、各種疾病の治療法および病態管理、牛群検診と生産管理、各種検査(身体検査、臨床病理学的検査、画像診断検査など)、各種治療法などについて実習します。

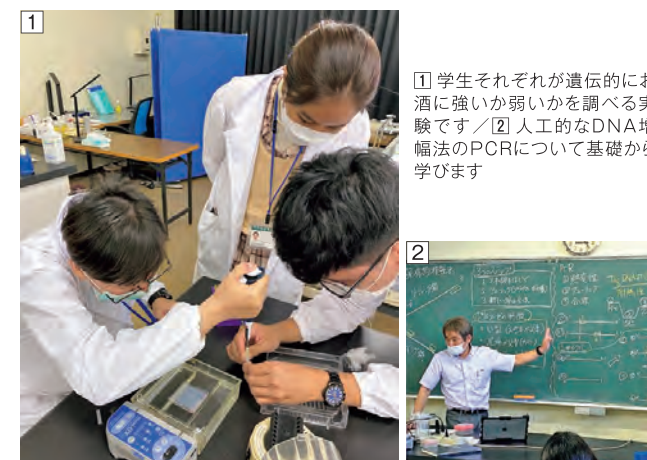
実践的生産動物医療を体験し、生産現場において臨床獣医師として要求される問題解決能力を養います。



① 手術への参加／② 呼吸器の診断／③ 新生子牛の状態確認／④ 手術時の輸液ルートを確保／⑤ 子牛の診断の様子

獣医生化学実習

本実習の目的は、生命の営みを細胞内のタンパク質、ゲノムDNA、遺伝子などの分子レベルでその働きを理解することです。様々な実験を通して、生命活動を生化学的に理解することです。また、実習の内容は、生物、化学、獣医生化学、分子遺伝学の授業範囲と連動しており、講義で習った知識を実際に実習することで知識の定着を図る狙いがあります。



① 学生それぞれが遺伝子にお酒に強い弱いかを調べる実験です／② 人工的なDNA増幅法のPCRについて基礎から学びます

English for Veterinary Skills

獣医学・獣医保健看護学専門教育における英語論文の読み書き、英語でのコミュニケーションを伴う講義・実習形式での学習に必要な能力を身に付けます。基礎的な獣医英単語の学習から始め、獣医学の講義が英語で行われた場合にも理解できる能力を身に付けます。また英語で自分の考えを表現し、コミュニケーションやプレゼンテーションを行い、それに対し英語で質問できることを目標としています。

①・② 楽しく英語でディスカッションしている様子



Pickup

ピックアップ研究室(ユニット)

獣医学類

研究室(ユニット)一覧

Pickup

1 ハードヘルス学ユニット 及川 伸 教授 福森 理加 准教授

乳牛群の疾病発生予防とリスク要因の解析

生産動物にとって疾病は生産性を著しく低下させます。近年、群レベルにおいて疾病発生を予察し予防することは獣医師としての重要な責務になっています。動物たちは人から与えられた環境や飼料で飼育されています。乳牛においてもその飼養環境は農場によって異なります。“何が疾病発生の重要なリスク要因となっているのか”に関して身体的モニタリング、血液代謝産物や飼料内容の分析、畜舎構造の評価等に関して総合的に展開しています。そこから新たな群レベルでの疾病予察システムと予防法の開発を試みています。実際の現場に役立つ有益な研究を目指しています。



紹介動画はこちら



学びのkeywords ●生産動物 ●群レベル ●予察 ●予防 ●モニタリング ●疾病予察システム

Pickup

2 画像診断学ユニット 華園 究 准教授 三好 健二郎 講師 堀 あい 助教

動物の画像診断(X線、超音波、CT、MRI)と Interventional Radiology (IVR)

動物は言葉で症状を直接訴えることができないため、画像診断が病気の発見・診断において非常に重要な役割を果たします。当ユニットでは一般的に行われるX線検査、超音波検査だけではなく高度画像診断装置であるCT、MRI装置を駆使して、確定診断につなげる取り組みを行っています。これまでマウスから、大きいものでは牛、馬、ヒグマなどについて診断してきました。さらにIVRという画像下での治療にも取り組んでおり、動脈管開閉症という心疾患のカテーテル治療などの実績もあります。これらの診断・治療技術をより向上させることを研究テーマとしています。



学びのkeywords ●レントゲン ●超音波 ●CT ●MRI ●画像診断 ●IVR

Pickup

3 生産動物病態学ユニット 福田 茂夫 講師 小千田 圭吾 助教

牛疾病の診断と予防方法に関する研究と臨床現場での実践

家畜の病気を治療・予防する上で重要なことは「どんな病気であり、どのような病態であるか」を診断することです。本ユニットでは、様々な病気の症例に対し身体的モニタリングの他、超音波検査などの画像診断、血液や尿、内臓のバイオプシーにより検体を分析し、その症例がどのような病態であるのかを検証しています。また、牛の免疫機能、特に体内への病原体の侵入を防ぐ粘膜での免疫機能を明らかにし、新たな感染症予防方法につなげるための研究も行っています。疾病の診断精度の向上と感染症を防ぐ免疫機能の解明により、牛の病気の被害を減らし、酪農・畜産の生産性向上に貢献することを目標に活動しています。



紹介動画はこちら



学びのkeywords ●生産動物医療 ●感染症 ●免疫機能 ●飼育管理 ●病態解明

Pickup

4 獣医生理学ユニット 翁長 武紀 教授 安井 由美子 准教授 守屋 大樹 講師

生態系由来の生理活性物質が動物の免疫や内分泌に及ぼす影響の解明

生理学は生命活動の現象と機能を扱う非常に幅の広い学問であり、形態学と共に臨床を含めた獣医学のすべての基礎と言っても過言ではありません。研究においては動物個体、そして摘出した組織や細胞、あるいは培養細胞を用い、形態学的なデータと併せて生命のしくみを解明します。当ユニットではさらに北海道に分布する樹木から抽出した精油の芳香成分が動物の行動やストレス、創傷治癒にどのように影響するかを調べています。さらに、蛍光タンパク質を利用し、免疫系細胞が体内でどのような動態を示すのかを調べています。



紹介動画はこちら



学びのkeywords ●アトピー ●ストレス環境 ●樹状細胞 ●蛍光タンパク質 ●消化管ペプチド

Pickup

5 獣医病理学ユニット 松田 一哉 教授 佐野 悠人 講師

動物の疾患に関する病理診断ならびに病理学的研究

病理学は、病気の原因究明・診断やその発生メカニズムを解明することを目的とする学問です。動物においてもヒト同様にさまざまな病気が発生し、病気になった動物には肉眼的・組織学的にさまざまな変化が現れます。私たちのユニットでは、病理解剖に供された動物や手術で摘出された臓器の肉眼的検索や顕微鏡を用いた組織学的検索を通じて、病気について明らかになった情報を臨床現場に還元することを目的として活動しています。また、病気の発生メカニズムについて、未だに知られていないことや診断を通じて生じた疑問を明らかにするための研究を行っています。



学びのkeywords ●生産動物 ●伴侶動物 ●野生・展示動物 ●病理診断医 ●病気のメカニズム ●眼球・眼球付属器

分野	ユニット	教員	職名	テーマ	学びのkeywords
生体機能学分野	獣医解剖学	植田 弘美 渡邊 敬文 細谷 実里奈 高橋 直紀	准教授 准教授 助教 助教	解剖学から解く生体・形態機能	解剖 生命科学 臨床解剖 生体機能 組織 形態機能
	獣医生理学	翁長 武紀 安井 由美子 守屋 大樹	教授 准教授 講師	生態系由来の生理活性物質が動物の免疫や内分泌に及ぼす影響の解明	アトピー 蛍光タンパク質 ストレス環境 消化管ペプチド 樹状細胞
	獣医生化学	岩野 英知 藤木 純平	教授 講師	遺伝子レベルで動物の病気を理解し、新しい診断法や治療法を開発する	ファージセラピー ゲノム解析 薬剤耐性菌 遺伝子診断 薬物代謝 遺伝子工学
	獣医薬理学	寺岡 宏樹 中村 達朗	教授 講師	薬と有害物質の生体作用に関する研究	創薬 ゼブラフィッシュ 毒性 環境 代謝 タンパク質
	獣医放射線生物学	遠藤 大二	教授	放射線からスタートしたゲノム・微生物研究・画像診断・生体機能解析	放射線生物学 ゲノム解析 病原体検出 遺伝子解析 画像診断 生体機能
	病患モデル学	北村 浩 藤本 政毅	教授 助教	生活習慣病や高齢疾患の病患モデルの開発と解析	病患モデル 筋萎縮 マクロファージ 糖尿病 NASH ユビキチンプロテアーゼ
感染・病理学分野	獣医ウイルス学	萩原 克郎 大道寺 智	教授 准教授	動物と人に感染するウイルス感染症学から予防・免疫、腫瘍ウイルス療法	ウイルス 免疫機能 細胞 抗体応答 遺伝子解析
	獣医細菌学	秋庭 正人	教授	細菌感染症の発病機構の解明と診断・除根技術の開発に関する研究	細菌 家畜 伝染病 伴侶動物 微生物 野生動物
	医動物学	浅川 満彦	教授	寄生虫病と原虫病を含む感染症の診断と疫学に重点を置く獣医学、医学および保全生態学の学際One Healthを標的にした野生動物医学研究	寄生虫 エキゾチック動物 感染症(人獣共通感染症含む) 鳥類・爬虫類 野生動物医学 動物園水族館展示動物
	獣医病理学	松田 一哉 佐野 悠人	教授 講師	動物の疾患に関する病理診断ならびに病理学的研究	生産動物 病理診断医 伴侶動物 病気のメカニズム 野生・展示動物 眼球・眼球付属器
	獣医臨床病理学	鈴木 一由 岡本 実 平田 晴之 都築 直	教授 准教授 准教授 准教授	全ての動物種における病患評価をさまざまな手法に基づいて解明し治療に役立てる	病患生理学 馬医療学 臨床検査学 牛医療学 病理組織診断 伴侶動物医療学
	食品衛生学	臼井 優 福田 昭	教授 講師	動物由来薬剤耐性菌の環境やヒトへの伝播機構の解明とその対策	細菌 食品衛生学 人獣共通感染症 公衆衛生
予防獣医学分野	人獣共通感染症学	村松 康和 内田 玲麻	教授 准教授	細菌症人獣共通感染症および節足動物媒介性ウイルス感染症に関する研究	人獣共通感染症 ウイルス 公衆衛生 伴侶動物 細菌 蚊・マダニ
	獣医疫学	蒔田 浩平 松山 亮太	教授 講師	重要家畜・人獣共通感染症の効果的かつ受容可能な制圧方法の研究	重要感染症 人獣共通感染症 制圧方法評価 国際共同研究 多分野連携 リスク評価
	獣医衛生学	樋口 豪紀 権平 智	教授 准教授	ウシの抵抗力(免疫力)を明らかにし、病気を予防する方法についての研究	ウシ 乳房炎 免疫 アミノ酸 抵抗力
	ハードヘルス学	及川 伸 福森 理加	教授 准教授	乳牛群の疾病発生予防とリスク要因の解析	生産動物 予防 群レベル モニタリング 予察 疾病予察システム
	動物生殖学	大谷 新太郎 中田 健 杉浦 智親	教授 教授 助教	牛群あるいは牛個体ごとの生産効率および受胎成績を向上させる取り組み	乳牛 繁殖障害 生産性・繁殖性向上 子宮 環境評価 画像診断
	生産動物内科学	田島 誉士 安藤 達哉	教授 准教授	生産獣医療の個体診療と群管理における生産性阻害因子に関する研究	生産動物医療 食の安全・安心 生産性向上 感染症 牛の健康管理 往診(動物病院)
生産動物医療学分野	生産動物外科学	石川 高明 佐藤 綾乃 村上 高志	教授 講師 助教	牛の獣医臨床における治療から疾病解析・予防法の構築	生産動物獣医療 食の安全・安心 病気の予防 フィールド調査 外科
	生産動物病態学	福田 茂夫 小千田 圭吾	講師 助教	牛疾病の診断と予防方法に関する研究と臨床現場での実践	生産動物医療 飼育管理 感染症 病態解明 免疫機能
	伴侶動物内科学	大田 寛 山崎 裕毅 田村 昌大 出口 辰弥 赤羽根 偉太	准教授 准教授 講師 助教 助教	伴侶動物の内科疾患の病患解明と新規診断法・治療法の開発	犬 画像診断 猫 炎症性疾患 消化器
	伴侶動物外科学	鳥巢 至道 井坂 光宏 濱本 裕仁 酒井 俊和 山本 集士	教授 教授 講師 助教 助教	消化器疾患(鳥巢・酒井・山本)、運動器・循環器疾患(井坂)の診断・治療に関する研究	脳 整形外科 背髄 消化器 循環器 腫瘍
	獣医麻酔学	山下 和人 佐野 忠士 伊丹 貴晴 加藤 桂子	教授 准教授 准教授 助教	馬、犬、猫、兎の麻酔・疼痛管理および犬猫の集中治療に関する研究	麻酔学 犬 疼痛管理 猫 集中治療 馬
	画像診断学	華園 究 三好 健二郎 堀 あい	准教授 講師 助教	動物の画像診断(X線、超音波、CT、MRI)と Interventional Radiology (IVR)	レントゲン MRI 超音波 画像診断 CT IVR

獣医学群

獣医保健看護学類

School of Veterinary Medicine
Department of Veterinary Science



獣医保健看護学類の
紹介動画はこちら

動物たちとの
幸せな生き方の答えを探す



学びのポイント

point 1

高度化する獣医療を支える 愛玩動物看護師を育成

獣医師をサポートするとともに、飼い主様と獣医師との信頼関係を構築する重要な「架け橋」としての愛玩動物看護師を育成します。



point 3

獣医師とのチーム医療を支える 生産動物看護師も育成・輩出

生産動物看護師へのニーズは高まりつつあり、希望者は学内やNOSAIの実習に参加することにより、実際の生産動物の医療について学ぶことができます。また、取得可能資格として、家畜(牛)人工授精師があります。



point 2

総勢50名を超える教員が指導！ 動物看護のスペシャリストを育成

本学類の教員を中心に獣医学類も含め総勢50名を超える教員が指導します。1・2年次は専門基礎教育を受け、2～4年次で動物看護に関する専門知識と技術を身に付けます。獣医師、飼い主様、動物との信頼関係をしっかりと築き、チーム医療に貢献する動物看護スペシャリストの育成を目指しています。



point 4

本学類で飼っている犬たちとともに、 実践的な学びを行う

本学類では動物看護に関するすべての講義・実習に役立つよう、犬種・年齢が異なるさまざまな犬たちを飼っています。毎日の世話は学生が交代で行い、犬の生態の理解を深め、健康管理や病気の早期発見ができる知識が自然と身に付きます。



取得可能資格

必要要件を満たせば卒業と同時に取得可能な資格です。

- 家畜(牛)人工授精師
※講習会受講・最終試験合格の場合

学類でサポートする資格

- 食品衛生責任者
- 食の6次産業化プロデューサー(レベル1)
- 学芸員

受験資格

必要要件を満たせば受験する資格が得られます。

- 愛玩動物看護師国家試験
- ペット栄養管理士試験

目指す職業

- 動物病院
- 農業共済組合
(家畜(牛)人工授精師)
- 動物医薬品製造業
- 伴侶動物関連卸売・小売業
- 公務員

など

獣医保健看護学類
動物生命科学

林 英明
教授



私が今進めている研究は、動物が受けるストレスを測定した心身の状態評価についてです。動物のストレスを測定・評価する方法としては大まかに分けて2つの手法があり、それが「行動学的な評価法」と「生理学的な評価法」です。前者は動物がどんな行動をしているかで状態を判断する手法であり、その場で観察することで費用を掛けずに評価することが可能ですが、「主観的評価」となることがあります。対して後者は動物の体の情報を抽出して測定・分析することで評価するため信頼性の高い「客観的評価」となりますが、時間と費用が掛かり、それぞれ一長一短があります。

私はその中で主に生理学的な評価の部分に着目し、コルチゾールというストレスに反応性が高い血中ホルモンについて調査することで動物の状態を評価する研究をしています。このホルモンを測定するには採血する必要がありますが、採血自体が動物のストレスになることもあります。近年、血中コルチゾールが唾液や糞便、被毛などに移行することが明らかとなり、牛の乳汁や被毛など簡便かつ動物に負担を掛けずにサンプルを採取することができるといことで注目されています。私は牛を研究対象として、牛の各指標からストレス値を計測する研究をメインに、今では動物園動物やそのほかの動物にも研究の幅を広げています。

動物の唾液や糞便、被毛などを用いてストレスを調査する場合、どのようなストレスを評価するかでサンプルの選択が変わります。例えば、唾液はほぼ血液の代わりとして利用できますが、乳汁では搾乳した時点から次の搾乳までの期間、糞便では採取した時点から約1日遡った期間における血中の濃度が反映されます。被毛だとさらに長期的な期間が反映されるため、慢性的なストレスを評価することが可能となります。これらのサンプルを唾液と被毛、糞便と乳汁などを組み合わせて測定することで、複合的に評価する手法を現在研究しており、さらに行動的評価も加えることでより精度の高い評価を行うこともあります。

ではストレスを評価しその軽減ができたとして、動物はそれで幸せなのかというと、それはまた別の話です。動物の幸福度や充足度も測定できないか、ということが近年注目されています。人間では母子間や恋人間で幸せを感じた時に増えるホルモンであるため、通称「幸せホルモン」と呼ばれるオキシトシンを、動物において指標とした評価法を確立する研究も進めています。ストレスというネガティブな評価だけではなく、ポジティブな評価を含めることで初めて動物の状態を正しく評価できると考えていますし、それが動物のQOLを上げ、動物福祉の向上にも繋がるのではないかと考えています。

酪農学園大学では伴侶動物だけではなく牛や鶏、羊や豚などの家畜を身近に飼っているため、他大学にはない生産動物の看護を学べるのも強みです。また獣医学教育との関わりの中で、動物看護を学べるという点も他にはない魅力だと感じています。大学は求めるものがあれば何でもできる場所です。我々は学生にさまざまなきっかけを与えるのが役割だと考えていますし、色々なことに挑戦して興味をもってもらえればいいなと思っています。

酪農学園大学では伴侶動物だけではなく牛や鶏、羊や豚などの家畜を身近に飼っているため、他大学にはない生産動物の看護を学べるのも強みです。また獣医学教育との関わりの中で、動物看護を学べるという点も他にはない魅力だと感じています。大学は求めるものがあれば何でもできる場所です。我々は学生にさまざまなきっかけを与えるのが役割だと考えていますし、色々なことに挑戦して興味をもってもらえればいいなと思っています。



[カリキュラム] ☆1は外国人留学生のみ

※この内容は2023年4月1日現在のもので今後変更もあります。

1
年次

基盤教育

■建学原論
■キリスト教
■健士健民・獣医学入門実習
■獣医療概論
■社会学

■心理学
■生物学
■化学
■運動の科学
■体育実技I

■体育実技II
■情報科学の基礎
■情報処理基礎演習
■英語I
■英語II

■日本語I ☆1
■日本語II ☆1

専門基礎教育

■獣医組織学A
■獣医生化学
■獣医生理学総論
■感染と免疫

■動物倫理・動物福祉学
■動物ハンドリング実習
■全学共通科目A
■全学共通科目B

専門教育

■動物看護学概論
■伴侶動物学A
■伴侶動物学B

2
年次

基盤教育

■統計学I
■統計学II
■Veterinary Topic English (Standard)
■Veterinary Topic English (Advanced)
■English for Veterinary Skills

専門基礎教育

■獣医薬理学A
■獣医寄生虫学
■獣医病理学総論
■実験動物学
■動物栄養管理学

専門教育

■家畜解剖学(農食環境学群共通)
■畜産学総論
■動物内科看護学
■動物外科看護学
■動物臨床看護学総論
■動物臨床検査学
■簿記・会計学概論
■動物形態機能学実習
■動物看護基礎実習I
■動物看護基礎実習II

専修教育

■グルーミング理論
■グルーミング実習

畜産関連科目

■学外農場実習

3
年次

専門基礎教育

■動物行動学
■臨床薬理学
■野生動物学
■獣医麻酔疼痛管理学
■公衆衛生学総論
■臨床繁殖学A
■博物館実習

専門教育

■動物臨床看護学各論A
■動物臨床看護学各論B
■動物臨床看護学各論C
■伴侶動物内科看護学実習
■Shelter Medicine
■伴侶動物外科看護学実習
■伴侶動物麻酔看護学実習

専修教育

■中獣医学
■動物理学療法
■動物行動学実習
■獣医保健看護学演習
■基礎動物看護学演習I
■基礎動物看護学演習II
■基礎動物看護学演習III

■応用動物看護学演習II
■臨床動物看護学演習I
■臨床動物看護学演習II

4
年次

専門教育

■動物人間関係学
■動物看護総合実習II
■学内動物病院実習

専修教育

■動物環境衛生学
■獣医畜産法規
■伴侶動物飼養管理学
■生産動物飼養管理学
■統合動物看護学
■基礎動物看護学演習III
■基礎動物看護学アドバンスプログラム

■応用動物看護学演習III
■応用動物看護学アドバンスプログラム
■臨床動物看護学演習III
■臨床動物看護学アドバンスプログラム

畜産関連科目

■家畜育種学
■家畜管理・栄養学実験
■家畜育種・繁殖学実験



[カリキュラムマップ]



獣医保健看護学類

獣医保健看護学類
動物と人の関係学ユニット 4年

佐藤 雪生さん

北海道中標津町／
中標津高等学校出身



座学だけじゃ磨けない スキルを向上できる大学



私は動物が好きで、中学生の時に開催された職業研修で地元の動物病院に行きました。そこで出会った獣医師さんと動物看護師さんがとても素敵な人達で、「あなたは動物看護師に向いているよ」と仰っていただいたのがこの道に進んだきっかけです。さらにそのみなさんが本学の卒業生だということも知り、大学は酪農学園大学に進学しよう決めていました。

実際に大学に入ってみると、いろいろなことを学ぶことができましたが、その中でも動物行動学では、犬の気持ちを理解しながら正しく扱うことを学ぶことができました。動物栄養学では動物の毎日の食事がどれほどペットの健康に重要かを学び、ペット栄養管理士の資格を取るきっかけになりました。さらに、動物看護師の知識を増やすことにつなげるために、1年生の頃からペットアドバイザーのアルバイトも行いました。



本学の獣医保健看護学類では、3年生の実習で、実際に飼われている動物の獣医療に携わり、治療業務を経験し、生き死にという獣医療現場を肌で体感できます。これは座学だけでは学べない部分で私自身にとって貴重な経験ができたと感じています。

現在は4年生になり、卒業論文では飼育下におけるミズダコの腕の使い分けに関する研究を進めています。タコは脳が9個、神経が通っている腕を8本も持つ動物で知能も高いといわれていますが、世界的に中々研究報告例が少ないです。元々動物の中でもタコが好きだったこともあり、好きを形にできるチャンスが来たと思い精一杯研究に励んでいます。



獣医保健看護学類
動物と人の関係学ユニット 4年

八木 姫歌さん

北海道札幌市／
北広島高等学校出身



充実した4年間と 新たな夢を得た大学



私は自身の進路を考え始めた高校生の頃に、「将来は動物看護の勉強がしたい」と強く思っていました。そして進学先を専門学校と大学の二択で迷っていましたが、動物看護師一択ではなく、多角的な面から動物の知識が得られる酪農学園大学に進学を決めました。

現在は就職活動を終え、動物用医薬品を製造する製薬会社に就職が決まっています。これは本学類で学ぶ中で薬の製造という形で動物の役に立てる職業があることを知り、とても興味が湧いたことが

きっかけでした。動物看護師ではありませんが、大学という環境でこそ得られたこのきっかけと、本学で学んだ知識を活かして仕事に励みたいと思います。

私が所属しているユニットでは「チンパンジーの腸内細菌の解析」をテーマに卒業論文を進めています。チンパンジーは雑食という点で人間と腸内細菌が少し似ていますが、その中

でも食べるものや環境により個体で差があることが判明しました。現在はタンザニアで採取された40頭以上のサンプルを利用し、個体と群体の関係性に注目しながら腸内細菌の分析を進めています。

進路選択の際は、自分が興味のあることを学べる環境であるかが重要だと思います。大学は4年間あり、受け身で過ごしてしまうと貴重なこの時間を無駄にしていしまいます。本学は非常に選択肢が多い学校です。興味が無くても、楽しそうだなと思う学類や学間があれば飛び込んで欲しいと思います。きっと自分の好きが見つかりますし、充実した4年間が過ごせますよ。



動物臨床検査学実習Ⅰ

動物医療現場で行われる検査について、検査に必要な器材の準備、血液検査、血液生化学検査、糞便検査、尿検査、血清学的検査などの基本的手技や機械の扱い方などを学び、実践力を習得します。少人数のスキルスラボ形式で行われ、各自が確実に技術と知識を修得します。



①⑤ 血清学的検査の手技を実際に行っている様子／
② 手技の説明を聞いています／③ レジューを見ながら確認しています／④ 実際の機器を使って操作しています

動物看護総合実習Ⅰ

大学で学んだ動物看護の知識を臨床現場でも実践・理解するため、学外の伴侶動物病院において実際の業務を経験し、知識や技術を身に付けるとともに、動物看護師の社会的役割を理解します。学外の動物病院で実習することによって、動物看護師としてだけでなく、社会人としてのビジネスマナーも習得します。

また実習先の動物病院は、大学が紹介するのではなく、学生が主体的に動いて教員の指導の下で探すことも実習の一つとしています。実習前には、動物病院の業務や動物看護師の役割について、教員や学生同士で改めて予習復習を行っています。



① 猫の病状について確認しています／② エリザベスカラーがきちんと装着できたか確認しています／③ 猫が飛び出さないように注意して出しています／④ 聴診をしています／⑤ 猫の体温測定は直腸温を測ります



伴侶動物外科看護学実習

附属動物医療センターにおいて、各専門診療科の日常（内科、整形外科、腫瘍科／軟部外科、循環器科、リハビリテーション科、麻酔科、集中治療科、画像診断科など）や動物看護師職の業務（伴侶動物医療部門、生産動物医療部門、薬剤部など）に、ローテーションで立ち合い、チーム獣医療における診療業務等の実際を見学し、動物看護師の役割を理解します。また、将来担う動物看護師の業務について学びます。

一例として、伴侶動物外科看護学実習では、術前検査の様子を見学し、実際の手術にも立ち合います。また、動物看護師としての重要な業務である保定も学びます。振り返りとして、各学生が実習で経験したことを発表し、互いに学び合う授業を展開しています。



① 麻酔導入の様子を見学／② イヌのリハビリテーションの様子／
③ 薬を調合しています／④ 聴診を行っています／⑤ 経口投与の方法を学んでいます



動物看護総合実習Ⅱ

動物看護の授業や実習で学んだことを活かして行う学外の実習先は、動物病院には限りません。産業動物に興味のある学生は、生産動物関連の施設で学ぶこともできます。生産動物の獣医療に携わる動物看護師の需要は年々高まっています。生産動物の現場で活躍している卒業生も多くいますので、幅広い職種での経験を積むことも良いでしょう。



① 牛の健康状態のチェックを行っています／② 直腸検査を行うために長い手袋をつけます／③ 牛の肛門に手を入れて、卵胞の状態の検査や妊娠判定を行います／
④ 検査のためにストールで保定していた牛を解放します／⑤ 検査が終わった後、牛に異常がないか確認します

Pickup
ピックアップ研究室(ユニット)
獣医保健看護学類

研究室(ユニット)一覧

Pickup
1
動物医療学ユニット 椿下 早絵 准教授 八百坂 紀子 講師
動物看護師としてチーム獣医療に貢献する
スペシャリストを育成

獣医療の高度化、動物の高齢化、獣医療サービスの多様化により、チーム獣医療の重要性がますます高まっています。チーム獣医療とは、獣医師をはじめとする複数の獣医療従事者が連携し、それぞれの専門性をもとに一頭一頭の動物に対して最適な治療を提供し、飼い主様も対象とした生活の質(QOL)の維持・向上を叶えるための医療です。動物看護師は、チーム獣医療で重要な役割を担います。本学類では、専門基礎教育・専門教育・専修教育科目において、基本的な動物看護に関する知識や技術を身に付け、さらに3・4年次のアドバンスプログラムにおいて、本ユニットに所属する学生は、動物理学療法、中獣医学(漢方・鍼灸・すい)な)や口腔衛生を保つためのデンタルケアを中心に学びを深め、これらの分野のスペシャリストを目指します。



紹介動画は
こちら



🔍 学びのkeywords ●中獣医学 ●口腔衛生 ●動物理学療法 ●リハビリテーション

Pickup
2
動物生命科学ユニット 林 英明 教授 宮庄 拓 准教授
各種動物の生体反応や状態を適切に評価する

生体はさまざまな状況に対してさまざまな反応・応答を示します。怪我をしたときや細菌やウイルスに感染したとき、バランスの悪い食事を摂ったり、ストレスを感じたりしたときなどには、さまざまな反応(=武器)を駆使して身体を守ろうとします。それらの反応を解明することで、疾病の治療や改善のみならず、予防にもつながることが可能になります。近年、動物の状態を客観的に評価するツールとして、糞便や被毛、乳汁の様な動物を傷付けずに簡単に採取可能なサンプルからストレスホルモンを測定できるようになっています。当ユニットではこれらの測定手法なども取り入れながら、ラットやブタなどを用いた基礎的な研究から、牛などの家畜だけでなく伴侶動物、さらには動物園動物なども研究対象として動物福祉や環境エンリッチメントの向上を目指した幅広い研究を行っています。



紹介動画は
こちら



🔍 学びのkeywords ●生体反応 ●生体防御 ●病気の予防 ●ストレス ●動物福祉 ●環境エンリッチメント

Pickup
3
動物と人の関係学ユニット 川添 敏弘 教授 郡山 尚紀 教授 高橋 優子 教授 能田 淳 教授
動物と人が正しく共生できる社会と環境づくりを目指す

人と動物にとって快適で健康的な飼育環境というものがあります。けれども、動物たちと“一緒に生活するだけ”で幸せになれるという間違ったイメージも存在します。その結果、動物たちを気軽に手に入れた人たちによって、多くの犬や猫たちが捨てられてしまう問題が生じています。そこで私たちは、大学附属動物病院と連携して保護犬猫のワクチン接種や健康チェック、不妊去勢処置をして、新しい飼い主様を探すことにしました。そのためには、適切な飼育への理解やドッグトレーニングが必要です。私たちは、一頭でも多くの犬を譲渡できるように取り組んでいます。他にも、多頭飼育問題、ペットロス、バビームル(子犬生産工場)、補助犬ユーザーさんの不利益など、人と動物にかかわる社会的な課題がたくさんあります。そこで、動物と人の関係学ユニットでは、動物福祉を大切に、動物と人が正しく共生できる社会と環境づくりを目指して研究と活動を展開していきます。



紹介動画は
こちら



🔍 学びのkeywords ●アニマルセラピー ●動物倫理 ●環境衛生 ●野生動物 ●ドッグトレーニング ●シェルターメディスン

ユニット	教員	職名	テーマ	学びのkeywords
動物医療学	椿下 早絵	准教授	犬猫の術後の早期回復や高齢動物の運動機能の維持への取り組み	動物理学療法 早期回復 イヌ リハビリテーション 高齢化 ネコ
	八百坂 紀子	講師	中獣医学(東洋医学)やデンタルケアについての研究	動物看護伴侶動物 緩和ケア 口腔衛生 看護ケア 中獣医学 コミュニケーション方法
動物生命科学	林 英明	教授	動物福祉の向上を目指した動物の客観的評価と現場への応用	動物福祉 環境エンリッチメント ストレス オキシトシン
	宮庄 拓	准教授	さまざまな状況に対する動物の生体反応(生体応答)について	生体反応 生体応答 ストレス 生体防御 生体機能 病気の予防
動物と人の関係学	川添 敏弘	教授	「殺処分ゼロ」など動物愛護に伴う分野を科学的な視点で研究	殺処分ゼロ 地域連携 人間動物関係学 保護犬 動物看護学 学校飼育動物
	郡山 尚紀	教授	人と動物とのより良い関係を目指す研究:身近な伴侶動物から野生動物まで	行動治療 しつけ教室 野生動物 アニマルセラピー 動物園水族館 人獣共通感染症
	高橋 優子	教授	獣医療に関わる法的・政治的・宗教的・哲学的問題を扱う	動物の福祉 5つの自由 法律 動物の権利 3つのR 宗教
	能田 淳	教授	地球環境で考える、ヒト・動物・環境の健康:ワンヘルスに向けた環境衛生学	人と動物の健康 ワンヘルス 公衆衛生 地球環境 バイオエアロゾル

獣医保健看護学類NEWS

動物看護師の
国家資格化
「愛玩動物看護師」

2019年6月21日に国会で「愛玩動物看護師法」が成立し、同年6月28日に公布され、2022年5月1日に施行。

本学では、国家資格対応カリキュラムに向けて準備を進め、2022年4月入学生以降は、同対応カリキュラムにて学ぶことができ、農林水産および環境大臣が指定する講習会を修了することで、愛玩動物看護師国家試験の受験資格が得られます。



詳細はこちら

愛玩動物看護師の業務範囲の考え方(イメージ図)

獣医療 ■診療 診療や検査などに基づく診断・治療法の決定・手術など	獣医師のみ 実施可能
愛玩動物看護師の活躍が期待される業務 ■診療の補助 獣医師の指示の下に行う採血、投薬(経口など)、マイクロチップ挿入、カテーテルによる採尿など ■その他の看護 入院動物の世話、診断を伴わない検査など	愛玩動物看護師のみ 実施可能
動物の愛護及び適正な飼養に関する業務 ■動物の日常の手入れに関する指導・助言 ■動物介在活動等への支援 ■災害発生時の被災動物適正飼養の為の支援	愛玩動物 看護師以外も 実施可能
■人と動物の共生に必要な基本的なしつけ ■動物飼養困難者(高齢者等)への飼育支援 ■動物のライフステージに合わせた栄養管理など	
■その他一般業務 動物の日常の手入れに関する指導・助言・保定・衛生管理や受付業務など	

酪農学園大学 大 学 院

農・食・環境・生命の最先端研究に取り組む。

酪農学園大学は、農・食・環境・生命の領域において、それぞれが互いに連携しながら地球と生命を科学する大学です。その研究領域は、産業としての農だけではなく、生命を健やかに育むための食や健康、地球環境に至るまでの社会を構成するあらゆる分野におよびます。獣医学研究科(2専攻)と酪農学研究科(4専攻)で構成される本学大学院は、こうした強みを活かし、建学の精神である「健士健民」という理念の具体的実現をテーマに、高度な専門性を有し、それを職業で表現していく人材、技術革新など将来を切り拓く研究者の育成を目指しています。



農・食・環境に関わる研究を現場から学び、現場に返す。

酪農学研究科

食生産利用科学専攻 [博士課程] 3年

■ 植物資源生産学 ■ 食資源開発利用学 ■ 微生物利用学 ※ ■ 食料経済学 ※
■ 動物資源生産学 ■ 応用食品化学 ※ ■ 農業経営政策学

食品栄養科学専攻 [博士課程] 3年 [修士課程] 2年

加工特性 ■ 食品加工特性学 ■ 食品物性学
栄養機能 ■ 食品栄養機能化学 ■ 食品機能生化学
健康栄養 ■ 健康栄養学 ■ 臨床栄養学
食環境管理 ■ 食品微生物管理学 ■ 食品環境汚染学 ※

酪農学専攻 [修士課程] 2年

作物生産科学 ■ 土壌植物栄養学 ■ 病理・害虫学 ■ 飼料作物学 ■ 植物遺伝学 ■ 酪農機械学
家畜生産科学 ■ 家畜繁殖学 ■ 遺伝・育種学 ■ 家畜栄養学 ■ 家畜管理学 ■ 酪農生物化学
酪農情報学 ■ 酪農経営情報学 ■ 農業経営学 ■ 酪農政策学 ■ 農業市場学
環境共生学 ■ 野生動物学 ■ 国際環境情報学 ■ 地球環境保全学

フードシステム専攻 [修士課程] 2年

食資源利用システム ■ 農・畜産食品学
食料政策システム ■ 食料政策論 ■ 食品流通論
経営管理システム ■ 経営管理論 ■ 食品情報システム論

臨床と基礎の両面から獣医学の発展を推進する。

獣医学研究科

獣医学専攻 [博士課程] 4年

基礎獣医学〈生体機能学〉

■ 獣医解剖学 ■ 獣医生理学 ■ 獣医生化学 ■ 獣医薬理学 ■ 獣医放射線生物学

基礎獣医学〈感染・病理学〉

■ 獣医病理学 ■ 医動物学 ■ 獣医ウイルス学 ■ 獣医細菌学 ■ 実験動物学 ■ 獣医臨床病理学

臨床獣医学〈生産動物医療学〉

■ 生産動物内科学 ■ 生産動物外科学 ■ 動物生殖学 ※

獣医保健看護学専攻 [修士課程] 2年

基礎・応用獣医保健看護学

■ 獣医解剖学 ■ 獣医生理学 ■ 環境衛生学 ■ 獣医微生物学 ■ 動物薬理学 ■ 獣医病理学 ■ 公衆衛生学
■ 医動物学 ■ 獣医生化学

臨床獣医保健看護学

■ 獣医衛生学 ■ 獣医麻酔学 ■ 画像診断学 ■ 動物理学療法学 ※ ■ 獣医疫学 ■ 人と動物の関係学 ■ 獣医倫理学 ■ 生産獣医療学

※指導教員不在(2023年4月1日現在)

酪農学園大学で 教員を目指す

酪農学園大学では教員免許取得のための2つの道があります。

「農食環境学群」の各学類(管理栄養士コースを除く)で専門的に学びながら必要な単位を取得する方法と、もう一つは教員採用試験の突破を目標に「循環農学類」と「食と健康学類」(管理栄養士コースを除く)に設置された「教職コース」に進む方法です。

「教職コース」では1年次終了時の選抜を経て、教員の道を目指す仲間

たちと教員採用に向け

た専門的な授業や指導

を受けることが可能で

す。卒業時に農業科の

教員免許に加え、理科

(中学)、理科(高校)、

社会科(中学)、公民科

(高校)免許のいずれか

一つ以上を取得し、高校

(農業、理科、公民)ある

いは中学(理科、社会)

教員を目指します。

TOPICS

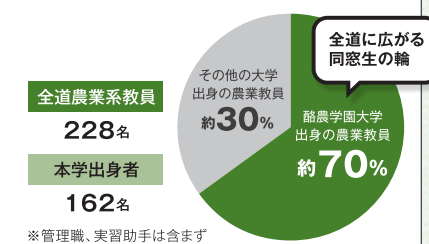
2022年度/本学調べ

教員として全国で活躍する
酪農学園大学卒業生数 **636名**

道内	道外
農業系 162名	農業系 179名
理科 113名	理科 39名
農業系・理科以外 70名	農業系・理科以外 73名

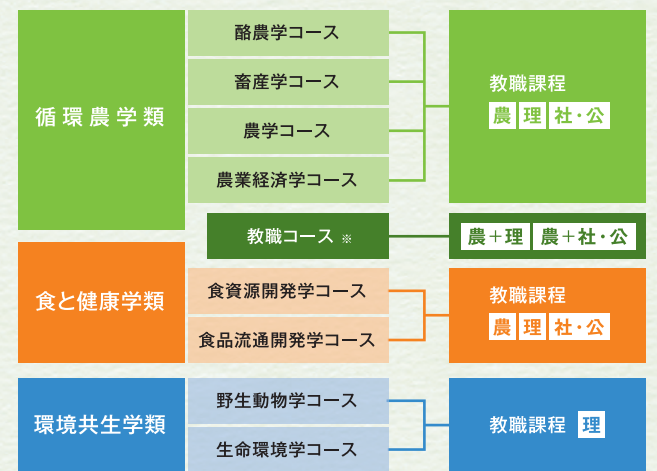
※管理職、実習助手は含まず

北海道内高校の農業系科目教員の
約70%が酪農学園大学出身



※管理職、実習助手は含まず

コースごとに見た取得可能な免許



※教職コース生では、教員免許取得のための単位の一部が卒業要件に含まれます。教職コースの学生は、循環農学類と食と健康学類のどちらかに所属します。

※管理栄養士コースでは教員免許を取得することはできません。

酪農学園大学で取得可能な免許

	農業科(高校)	理科(中学・高校)	社会科(中学) 公民科(高校)
循環農学類	○	○	○
食と健康学類	○	○	○
環境共生学類	—	●	—

卒業生からのメッセージ



食や農業の楽しさを
生徒たちに伝えています

北海道士幌高等学校 教諭
金澤 菜々子 さん
農食環境学群 食と健康学類 2015年3月卒業
北海道／北海道士幌高等学校出身

私は士幌高等学校で農業教師を育成する「農業教員養成コース」を卒業し、酪農学園大学の食と健康学類に設置された教職コースに進みました。現在は母校の教師として「フードシステム科」で食品化学や農業と環境などの授業を受け持っています。また授業のほかに士幌町内で害獣として駆除された鹿を活用した鹿肉カレーの開発や、高校の公式サイトやSNSを通じた情報発信などにも携わっています。

生徒と接する際に心掛けていることは生徒の個性を認め、その個性を引き出せるように接することです。私自身、元々それ程勉強が得意ではなく、人前に立つことは苦手でした。しかし高校で先生達にさまざまなことを教えて頂く中で自信を付け、教師になるという明確な目標を抱くようになりました。私にとって後輩である生徒たちにもそんな先生になれればと、授業内容等を考えています。生徒から「授業面白かったよ」、「あの話楽しかった」と言っていたいた時はとても嬉しかったです。

酪農学園大学の教職コースでは夜間学校で実習を行ったことはもちろん、教職コースで同じ志を持つ仲間と一緒に努力した日々はとても印象に残っています。大学で学んだ知識や技術、培った人間関係は卒業後どこで生きるかわからないものです。ぜひ明確な目標を持って学生生活、そして人生を歩んでほしいと思います。

学生からのメッセージ



生徒の心の支えになれる
農業高校の教師を目指して

本間 裕貴 さん
農食環境学群
循環農学類 4年
北海道室蘭市／北海道社管高等学校出身

私は中学生の頃、農業高校に入り卒業後は農業の道へ進むことを志し、社管高等学校へ進学しました。社管高等学校は全校生徒が約60名と小規模で、先生と生徒の距離が近いのが特徴です。私は所属していた農業クラブの顧問の先生には農業クラブの活動のみならず、受験の相談など学校生活全般のサポートをしていただきました。そんな3年間の中で私も恩師のような先生になりたいと決意し、本学に進学しました。2年次からは教員として必要なことを学ぶ講義が多く設定されている教職コースを選択し、コース生のみ受けられるカリキュラムの1つである附属高校(とわの森三愛高等学校)での授業見学・実習によって、実際の高校生に対し授業をするという経験を多く積むことができました。

私が教員を目指す上で特に取り組んでいるのが、現在全国の学校で必須とされているパソコンやタブレット端末を用いたICTを使った教育です。特にイラスト作成ツールを用いた植物の詳しい図解のイラスト化や動画編集ソフトを活用した植物の生育状況の動画化など、農業高校の授業で活用できるさまざまなICTの手法を学んでいます。

また、教員を目指す上で一番大切なことは、生徒の心の支えになりたいと思う心だと私は思います。全国からさまざまな価値観を持つ生徒が集まる本学は、人間性を養うにはぴったりの大学です。ぜひ目標を共有し合える仲間と切磋琢磨しながら夢の実現に向けて邁進してください。

国際交流

人と研究の国際交流を積極的に推進

海外の大学・研究機関との学術交流の窓口として学術交流協定の締結や、学生交流などを推進しています。また、学生の多様なニーズに応えるため海外研修・留学プログラムの充実にも努めており、語学研修、ファームステイ、動物・環境保護などのプログラムを企画・紹介しています。また、オンラインでの留学プログラムも積極的に実施しています。

学術交流協定

本学は、海外の大学などとの学術交流協定を23カ国43機関と締結しており、学術資料の交換、教員や学生の派遣・受入、共同研究、セミナーなどの開催で交流を行っています。

学術交流協定機関	
23カ国	43機関
■カナダ	●アルバータ大学 ●オールズカレッジ ●サスカチュワン大学
■アメリカ	●オハイオ州立大学(獣医学部、食品・農業・環境科学部)
	●コーネル大学 ●フィンドレー大学 ●バデュー大学
■パラグアイ	●アスンシオンカトリック大学
■ロシア	●極東農業大学
■中国	●新疆農業大学 ●内蒙古農業大学 ●内蒙古民族大学 ●陝西省動物研究所
■韓国	●国立韓京大学校
■台湾	●国立嘉義大学 ●国立屏東科技大学 ●国立中興大学
■フィリピン	●東フィリピン大学
■マレーシア	●サバ大学
■ベトナム	●ハノイ公衆衛生大学 ●ベトナム国立農業大学 ●国立獣医学研究所
■タイ	●マヒン大学(熱帯医学部、獣医学部) ●チュラーロンコーン大学
	●カセサート大学 ●保健省医科学局 ●コンケン大学 ●タマサート大学
■ミャンマー	●獣医科学大学
■インド	●サムヒギンボム農業科学技術大学
■モンゴル	●モンゴル生命科学大学 ●フスタイ国立公園 ●モンゴル国立大学
■カザフスタン	●アルファラピカザフスタン国立大学 ●国立バイオテクノロジーセンター
■ポーランド	●ワルシャワ生命科学大学
■ドイツ	●ハノーバー獣医科学大学
■デンマーク	●国立畜産研究所
■イギリス	●グラスゴー大学生物多様性・家畜衛生・比較医学研究所
■ケニア	●国際家畜研究所
■コートジボワール	●スイス科学研究所
■ウガンダ	●マケレレ大学
■イタリア	●バドヴァ大学



タイ・カセサート大学

獣医学類 5年 藤森 摂さん
青森県弘前市／弘前中央高等学校出身

受動的な大学生活ではなく自ら進んで学習する意欲が得られた

日本では得られない経験や獣医療の症例を学べると思い、3か月間留学をしました。タイの大学では十数人のグループに分かれ農場訪問の実習を行い、学生が主体となりながらサンプリングやオーナーへの質疑等を実施していました。私には先生が常に付き添い説明をしてくれましたが、その際に現地の学生は積極性と主体性があり、学習意欲が非常に高いと感じました。大学の環境も、学生自らが手を動かして意見を発表する機会が多く設けられていることに気がきました。大学という場所は受け身で過ごしても進級や卒業ができます。しかし本来は自ら能動的に学びを求める場所であると、留学を通して考えるようになったことはプラスの部分だと思います。帰国後は周りの雰囲気から流されるばかりではなく、自らの意思を強く持って日々の大学生活を送っています。

カナダ・アルバータ大学

環境共生学類 3年 林 優奈さん
京都府／大谷高等学校出身

オンライン留学をきっかけにカナダの地へ留学を決意

私は2021年に、酪農学園大学が主催する「オンライン留学プログラム」に参加しました。そこでカナダのアルバータ大学の先生や他大学の学生とともに、カナダの文化や環境、語学などを学びました。この研修で留学に興味を湧き、1か月間カナダへ語学留学をしました。期間中は15人のクラスに分けられ、全て英語を使った講義を受けました。グループワークを主体にカナダの文化や気候、歴史などが学べ、日々新たな発見がありました。授業では分からなければいつでも質問して欲しい、というスタンスだったこともあり、積極的に他人とコミュニケーションがとれるようになったと感じます。本学ではオンライン留学と実地研修の二つの留学が可能です。少しでも留学に興味がある人は、ぜひ思い切って挑戦してみてくださいと思います。



地域・企業との連携

酪農学園大学では多くの自治体や企業と協定を締結し、教育・研究活動に役立てています。また、自治体や企業の依頼をうけ、本学の知的資源を活用した対応なども行います。

オホーツクでの参加型臨床実習

獣医学類ではオホーツク地域との協定に基づき、農業共済組合や診療所に在籍しておられる獣医師の皆さんのご協力のもと、生産動物医療に関する実習を行っています。机上の勉強だけではなく、最前線の現場における実践をもとに身に付けた技術は、卒業後皆さんの力となります。



手術切開部レクチャー

手術腹腔内触診

産学連携ドローン教習コース

本学では「株式会社サングリン太陽園(札幌市白石区)」との協定に基づき2022年から「産学連携ドローン教習コース」を創設し、教習を実施しています。

同コースでは、ドローンの基礎知識の座学から各種飛行訓練まで行っており、今後は実地での訓練やサポートを行い、即戦力となるドローン操縦者の育成を目指しております。本学学生をはじめとして、農林業など第一次産業関係者、自治体職員、環境保全団体、非営利組織の関係者を主な対象者としています。



SDGsに関わる取り組み

本学ではSDGs(持続可能な開発目標)への貢献に向け、積極的に取り組みを推進しています。2021年度からは包括連携協定を締結した北海道コカ・コーラボトリング株式会社(東証スタンダード市場)と連携し、BtoBリサイクル(PETボトルの完全リサイクル)、エコフィード(食品加工副産物を使った家畜飼料)の研究、災害時支援に積極的に取り組んでいます。今後さらに様々な取り組みを行ってまいりますので、私たちと一緒に持続可能な未来を作りましょう!



酪農PLUS+

本学では「酪農PLUS+」というサイトも運営しています。酪農家の方々にとって有益な情報をはじめ、在学生を紹介する「未来の酪農家」や、酪農・乳製品に関する疑問に本学教員がお答えする質問コーナーなど、学生の皆さんにとってもプラスになる情報を配信していますので、ぜひ活用してください!「酪農PLUS+」マスコットキャラクターのサンディーも皆さんと会えることを楽しみに待っています!下記SNSへのいいね!もよろしくお願いします!



酪農PLUS+



Instagram



酪農PLUS+のトップページ

現場に強い実践力が身に付く

「酪農」「肉畜」「作物」の3分野でより実践的な学びができます

広大なキャンパスには、酪農・肉畜・作物に関する3つの農業生産ステーションを備えています。

ここで搾乳、肥育、栽培などの実務をしっかり経験。各分野で強い実践力が育まれます。

酪農学園大学ならではの規模と専門的な設備は、あなたの「好き」と「やりたい」にしっかり応えます。



酪農学園フィールド
教育研究センターの
紹介動画はこちら



搾りたての新鮮な牛乳をうつします

酪農生産ステーション

キャンパス内にある牛舎で日々
乳牛の飼育に取り組める



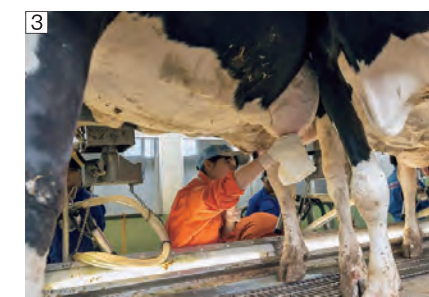
ステーションの
紹介動画はこちら

異なるシステムの牛舎があり、循環農法型により約170頭の乳牛を飼育しています。フリーストール牛舎は牛が自由に行動・採食できます。繋ぎ飼いの牛舎は1頭1頭の牛をしっかりと管理しながら飼育することができます。さまざまな酪農形態を学ぶことが可能です。

また、草地・飼料畑はキャンパス内に牧歌的な景観を見せています。

DATA

【土地】	
牧草地	54.6ha
デントコーン	16.3ha
放牧地	1.4ha
【主な施設】	
フリーストール牛舎	1,439.6㎡
繋ぎ飼いの牛舎	550.8㎡
育成牛舎	432.0㎡
搾乳棟	754.2㎡
バンカーサイロ	1,062.5㎡
乳牛(ホルスタイン種、ジャージー種)	170頭



- 1 草が血となり乳となります。牛の体の仕組みを学び、牛乳の素晴らしさに気付く学生も多いです。
- 2 子牛や育成牛の管理を学生が行っています。
- 3 インテリジェント牛舎で搾乳を体験します。初めて牛に触れる学生も多く、器具を取り付けるのは緊張の瞬間です。
- 4 循環型酪農は、牛の管理だけでなく、飼料生産も含めて成り立っていることを学びます。(サイレージ用トウモロコシ圃場の実規模収量調査)





肉畜生産ステーション

肉畜の飼育・生産・医療・出荷までを学ぶ



ステーションの
紹介動画はこちら

約80頭の黒毛和種や日本短角種がいる肉牛の畜舎と、めん羊、豚、鶏など中小家畜の畜舎群の2カ所の農場があります。飼料設計から日々の世話まで学生が交代で行い、肉牛では低コスト飼料で最高等級のA5を獲得。肉牛の共進会にも積極的に出品し、好成績を収めています。その他の生産動物においても繁殖から出荷して肉になるまでの一連の流れを体験でき、看護を含めた動物医療の学びの場として活用されています。

※DATA

【土地】	
採草・牧草地	58.6ha
【主な施設】	
肉牛牛舎	1,672.0㎡(100頭)
豚舎	904.2㎡(100頭)
鶏舎	498.8㎡(ケージ300羽・平飼い300羽)
羊舎	419.5㎡(20頭)
肉牛(黒毛和種、日本短角種)	
豚(交雑種母豚(主にLW種*)、種雄豚(デュロック種)、肥育豚(主にLWD種*))	
羊(サフォーク種、テクセル種)	
鶏(さくら、もみじ、横斑プリマスロック)	
※Wは大ヨークシャ種、Lはランドレス種、Dはデュロック種	

作物生産ステーション

先進的な施設、圃場を活用して、品種改良から生理生態、病害虫管理を学ぶ

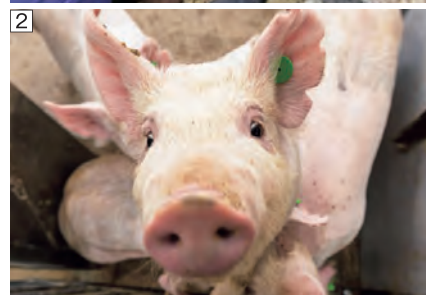


ステーションの
紹介動画はこちら

4棟のガラス温室は、温度や日射量などを計測し、自動で栽培環境を制御できます。冬場でも水稻などの作物の栽培が可能なので、1年を通して栽培や育種に関する研究、作物の病害虫防除の研究ができます。ビニールハウスでは、トマトやアスパラガスなどの野菜やカーネーションなどの花きの栽培研究が行われています。露地圃場では、ダイズやムギ類など畑作物の栽培が行われ、さまざまな教育・研究に活用されています。

※DATA

【土地】	
露地栽培露地圃場	13,676.5㎡
園芸作物露地圃場	591.0㎡
展示圃場	673.2㎡
畑作物露地圃場	4,182.0㎡
サンプル採集圃場(作物病理学用)	116.6㎡
【主な施設】	
実習棟	1,275.0㎡
ビニールハウス	2,203.6㎡
花きガラス温室	331.0㎡
野菜ガラス温室	331.0㎡
作物ガラス温室	331.0㎡
作物保護ガラス温室	331.0㎡



- 1 羊舎にて行われた羊の妊娠鑑定
- 2 ここで産まれた子豚たち
- 3 卵を収集しながら、産んでいない鶏をチェックし、個々の様子を観察します
- 4 高能力牛からの受精卵の回収

- 1 収穫後2週間、乾燥庫に干したライムギを脱穀
- 2 収穫に向けコムギ生育ステージの判断法を学びます
- 3 花きの栽培や研究を学びます
- 4 根に共生する根粒を観察します。作物は微生物の力を利用して大気や土から栄養を獲得しています。実習では、作物生産における一連の流れを体験しながら、物質の循環を学びます

実習と実験を通して 「食」を科学する

酪農学園大学だからできる、品質管理と研究開発



食品加工実習室・
乳製品製造実験実習室の
紹介動画はこちら

食と健康学類 | 食品加工実習室

ソーセージやハム、ベーコンなどの製造工程や品質管理について体系的に学べる実習設備を完備。製造された製品は、「酪農学園大学ブランド」として、学内の生協にて委託販売しています。

研究や試験開発に用いる試作品もここで作成しています。



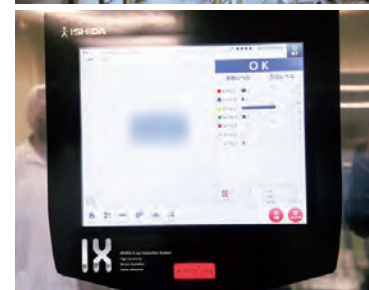
酪農学園大学ブランドの
ポロニアソーセージ



くん煙する木材を変えたりブレンドした試作品を作成し、品質特性に関する試験を実施



食肉製品中の亜硝酸根残存量を測定



X線検査機による異物検査。HACCPに対応した異物の混入が無いかを検査します



牛乳が製品規格に適合しているか検査



オリジナルの牛乳・乳製品の製造には、学生が積極的に参加しています



牛乳製造設備は脱臭処理工程が入ることで生乳本来の風味を残すことを実現



作られた牛乳は直ちに検査をし、翌朝には店頭と並びます

食と健康学類 | 乳製品製造実験実習室

キャンパス内の乳牛から搾った新鮮な生乳を使って、牛乳やチーズ、バター、アイスクリームなどの本格的な乳製品づくりを学べます。ここのてつくられた乳製品は、食品加工実習室の製品と同様に、「酪農学園大学ブランド」として学内のみならず学外からも人気です。なお、2020年に江別市のふるさと納税のお礼品に指定されました。



酪農学園大学ブランドの
牛乳・乳製品

環境試料や分析機器を活用した 環境分野の研究拠点

フィールドから得られた試料の生物化学分析・解析を通して「環境」を紐解く

環境共生学類 | B4号館

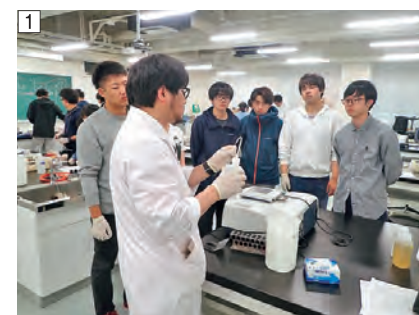
学類が所有する様々な分析装置や環境調査道具、自然史標本のほとんどがこの建物内で管理されており、多くの研究室の調査研究に役立てられています。また、各実験室では学類の実習科目が開講されるなど、大学が掲げる実学教育の場としても活用されています。



同館は大学オープンキャンパスの会場としても利用され、学類企画では各研究室が所蔵する標本展示や調査体験などが出来ます



動物の骨格標本を用いて、生物の体のつくりを観察する実習の様子(3年次)



- ① 環境水中の化学物質を測定する実習の様子(2年次)
- ② ヒグマの糞分析を行う実習の様子(3年次)
- ③・④ 各実験室には様々な分析機器が設置され、多くの研究に役立てられています
(写真④はガスクロマトグラフィー)

附属動物医療センターで 専門性の高い診療が学べる

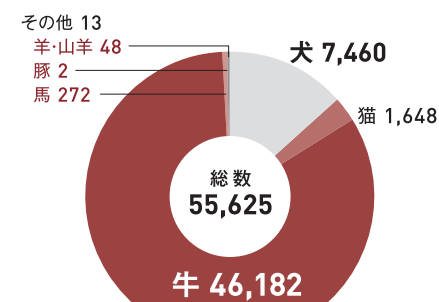
年間約55,600件の診療件数
獣医療の拠点で学ぶ



附属動物医療センターの
紹介動画はこちら

キャンパス内に設置されている附属動物医療センターは日本一の診療件数を誇り、年間の診療件数は犬や猫などの伴侶動物で約9,100件、牛や馬などの生産動物が約46,500件を数えます。附属動物医療センターでは、本学獣医学類および獣医保健看護学類すべての学生に先進的な獣医療を含む実践的な獣医臨床教育を実施。伴侶動物医療部門には、内科・外科・循環器科・神経科・腫瘍科・リハビリテーション科、診療支援部門には、画像診断科・麻酔科・集中治療科などの診療科があり、臨床実習では専門性の高い診療と日本で最高レベルの動物のためのチーム医療に触れることができます。生産動物医療部門では、専用の入院棟と臨床実習棟で、生産現場に近い臨床実習を展開しています。また他にも、環境汚染物質・感染病原体分析監視センターがあります。施設規模は全国の獣医師養成大学の中で最大です。

★2021年度診療動物内訳(件数)



生産動物の多さは、北海道の大学ならでは!

伴侶動物医療エリア



生産動物医療エリア



手術室



診察室

処置室

集中治療室

超音波検査室

画像読影室

薬剤部

入院室

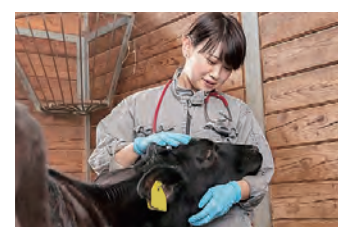


X線検査室

CT検査室

MRI検査室

リハビリテーション室



入院棟

牛手術室

馬手術室

馬麻酔導入覚醒室

TOPICS

ヨーロッパ獣医学教育機関協会(EAEVE)の国際認証取得へ向けて

本学の獣医学群では、ヨーロッパ獣医学教育機関協会(EAEVE)の国際認証評価を通じて、獣医学教育の質の保証と国際化に取り組んでいます。昨今、獣医学を取り巻く情勢は、国民の生命・健康・財産・福祉に関わる領域の拡大と高度化が進展しており、人獣共通感染症や家畜疾病対策、食品安全対策、薬剤耐性菌への対策など、獣医師が関与すべき問題が拡大・増加しています。このような獣医学への多様な社会的ニーズが高まる中で、獣医学教育の質の保証が求められています。本学は大学基準協会の認証も得ていますが、

国内での認証に留まらず、国際認証を取得することで本学の獣医学教育の質をさらに高める努力をしています。また、国際的な基準で食の安全を保証するためにも、畜産物を輸出入する国の間で同等レベルの獣医学教育が求められています。そこで本学はEAEVEの国際認証評価を参考にするため、2019年10月にはEAEVE本部による事前訪問調査を受審してアドバイスを受けました。そして、EAEVE認証取得を視野に入れ、カリキュラム、教育環境の改善、学内規程の整備などを推進しています。



TOPICS

WOAH食の安全コラボレーティングセンターコンソーシアム

国際獣疫事務局(WOAH)は、1924年に設立された世界の動物衛生の向上を目的とする政府間機関で182の国と地域が加盟しています。獣医学類衛生環境学分野は、2014年に東京大学食の安全研究センター、シンガポール獣医公衆衛生センターとともにWOAH食の安全コラボレーティングセンターコンソーシアムの指定を受け、東南アジアおよびサハラ以南アフリカWOAH加盟国の動物衛生・公衆衛生の向上に貢献しています。特にウガンダでは2016年からJICAプロ

ジェクト「ムバララ県安全な牛乳生産プロジェクト」を実施し、研究に基づく指導により牛乳生産量が2割増加しました。2019年にJICA大学連携協定を結び、学生・大学院生も協力隊員として参加し、継続して酪農支援を行っています。



ウガンダ



キャリアサポート

満足度100%の進路へ向けて、入学直後から細やかにサポートします。

“就活”を勝ち抜く実践力を身に付けるために、 講座やセミナーをはじめ多角的な支援体制を構築。

キャリアセンターからのメッセージ

酪農学園大学では、学生が高い目的意識を持ちながら、人生観や職業観を養い、的確な進路や職業の選択を成し遂げられるよう学生の希望に沿ったキャリア支援を行っています。インターンシップの紹介や資格・検定受験の支援、就職活動のノウハウを学ぶ「就活講座」をはじめ、合同企業説明会、公務員試験受験対策講座、面接対策講座、ビジネスマナー講座など各種講座を開催しています。また、キャリアアドバイザーが3名常駐し、個別の進路相談のほか、履歴書添削や面接練習で実践的な訓練ができる体制になっています。農食環境学群では2～3年を対象にキャリア授業を開講して、多面的に進路・職業を考え研究するように促しています。ぜひ気軽に相談に来てください。



主なキャリア・就職支援スケジュール

1・2年次

- 就職ガイダンス
- 公務員試験受験対策講座
- なんでも就活相談会

農食環境学群2年次必修科目 キャリアベーシック



3年次（獣医学類5年次）

- 就職ガイダンス
- 公務員試験受験対策講座
- SPI対策講座、Webテスト
- 就活キックオフセミナー

農食環境学群3年次必修科目 キャリアデザインI

- 履歴書対策講座
- 合同業界セミナー
- 合同企業説明会
- なんでも就活相談会

農食環境学群3年次選択科目 キャリアデザインII

- 証明写真撮影会

4年次（獣医学類6年次）

- 就職ガイダンス
- 面接対応力向上セミナー
- 集団面接・GD対策講座
- 合同企業説明会
- なんでも就活相談会



社会へ

2022年度 キャリア授業、就活講座、合同業界セミナー 主なテーマ

キャリア授業（農食環境学群）※管理栄養士コースを除く

2年後期必修 キャリアベーシック

- 進路選択について、キャリアとは
- 情報リテラシーについて
- 人生のお金について
- ワークルールを知る
- 社会人基礎力向上のためのグループディスカッション
- 就職活動のスケジュールとは

3年前期必修 キャリアデザインI

- 業界企業研究 自分に合った仕事とは
- インターンシップとは
参加意義、参加方法について
- インターンシップWeb合同業界セミナー
- 適性検査（SPI）模擬試験と性格検査の実施
- 履歴書、エントリーシートの書き方
- ビジネスマナーについて

3年後期選択 キャリアデザインII

- キャリアデザインIの復習、就職活動とは
- 業界企業研究、企業を知る
- 履歴書やエントリーシートのための自己分析から作成まで
- ビジネスマナーと身だしなみについて
- 面接対策 グループディスカッション
- 面接対策 集団面接

就活講座と合同業界セミナー 3年次（獣医学類5年次）

4月、5月

- 公務員ガイダンス
- 公務員講座（5月～1月）

6月

- アセスメントテストの受検とフォローアップ講座

9月、10月

- 就活キックオフセミナー（学類毎に実施）

11月、12月

- 就活講座①（秋冬インターンシップ準備）
- 就活講座②（エントリーシート、履歴書作成）
- 就活講座③（自己分析実践）
- 就活講座④（面接、マナー準備の基礎）

10月、11月、12月 ※2022年度実施

- 合同業界セミナー（食品卸売・小売）
- 合同業界セミナー（JA 農業協同組合）
- 合同業界セミナー（環境共生学類向け企業）
- 合同業界セミナー（食品製造・畜産）
- 合同業界セミナー（循環農学類向け企業）
- 合同業界セミナー（家畜人工授精師）
- 合同業界セミナー（動物薬・ペット関連）
- 農林水産省主催 技術職員業務説明会（獣医、畜産系）
- 新規就農相談会

2月 ※2022年度実施

- 就活解禁前直前講座①
就活本番直前・準備総確認講座
- 就活解禁前直前講座②
エントリーシート作成講座（自己PR・ガクチカ）
- 就活解禁前直前講座③
エントリーシート準備仕上げ＆面接マナー講座
- Web合同業界セミナー

酪農学部 酪農学科（現・循環農学類）

つくば本場公園クリニック

谷合 萌 さん 2014年3月卒業
岡山県／岡山県立高松農業高等学校出身

大学で学んだ知識や経験を活かして 患者を笑顔にする胚培養士に

私の祖父は家畜人工授精師で、私自身牛に接する機会が多く、自然と酪農に関心を持ちました。中でも繁殖に関わる部分は特に興味があり、酪農の本場である北海道をフィールドに持つ本学へ進学しました。「受精卵移植論」という講義の中で、不妊治療に携わる胚培養士（エンブリオロジスト）という存在を知りました。命の誕生に関わる仕事に強く関心を持ち、研究室は「応用家畜繁殖学研究室」に所属して、卒業後は不妊治療の専門クリニックで胚培養士として勤務しています。胚培養士の主な仕事は不妊に悩むご夫婦から配偶子（卵子と精子）を預かり、受精操作や受精卵（胚）の培養、凍結融解操作などを行うことです。就職して1年目は技術トレーニングで遅くまで残ることが多かったのですが、研究室に所属した2年間で培った知識や技術、何より牛の出産がある日は牛舎に泊まり込んで観察するなど、現場でのハードな経験があったことで乗り切れました。不妊治療はすべての方が報われるわけではなく、結果に繋がらず諦める患者さんを見送ることもあります。しかし諦めずに治療した結果、妊娠・出産に至るケースもあり、お礼の手紙を頂けることはやりがいの一つになっています。現在は1人でも多くの患者さんが笑顔で卒業できるよう、技術の向上や学会への参加などを通じて知見の収集なども行っています。酪農学園大学は全国から動物好きが集まる大学です。自分の「好き」を多くの仲間と共有しながら素敵な日々を送ってください。



循環農学類 酪農学コース

株式会社マイナビ 農業活性事業部 農業領域中央営業部 北海道企画営業課

台 正宏 さん 2017年3月卒業
東京都／瑞穂農芸高等学校出身

就農を目指す人が 活躍するための架け橋に

私は東京の農業高校で大動物を専攻し、その道でより深く学びたいと思い本学に進学しました。本学には農家出身者が多く、人材不足や離農した事例などをよく聞いていたため、“人”の部分、特に一次産業で働くための基盤作りには貢献したいとマイナビに就職しました。現在は農家の方へ向けて人材採用の提案や、求人サイトの運営、就農イベントの開催など、農業界に興味を持つ方と現場をつなぐ役割を担っています。就職して一番印象に残っているのは、自分が携わった農家さんで初めて採用が成功した時です。「今後も生産を落とさずに経営が続けられる」と感謝の連絡をいただいたことです。この体験を通じて農家さんの採用のお手伝いすることは、経営の一部を任せられているという事を実感しました。弊社の農業イベントに参加される方の中には、農業に興味はあるものの、専門知識が全くない方もいらっしゃる。そんな方々に農業の魅力をわかりやすく伝えられるのは、本学で学んだ「現場」での経験が活かされているからだと思います。本学は農業を身近なものとして学べるのが一番の魅力です。日々の授業や実習を通じて、知識や技術を習得することももちろん、農家出身の友人から最近のトレンドや経営の考え方などを学ぶこともできます。最初は目標が定まらなくても本学で学ぶうちに進みたい道が明確に見えてくると思います。やりたいことを見つけて思い切り経験してください！



循環農学類 畜産学コース

公益社団法人日本軽種馬協会 静内種馬場 研修課

吉井 ちひろ さん 2020年3月卒業
栃木県／宇都宮中央女子高等学校出身

4年間夢中になれることが きっと見つかる大学です

将来、動物にかかわる仕事がしたいこと、馬術部があること、そしてサラブレッド生産の本場である北海道で暮らしてみたいことから本学に入学。動物の飼育だけではなく、草地の管理や知識を学んだことも、今の仕事に役立っています。馬術部で馬の取り扱いや騎乗技術を身に付けられたことも、大きいです。馬術部の合宿で静内種馬場を訪れる機会があり、現在の職場を目指しました。軽種馬牧場で働く人材を養成する生産育成技術者研修の教官として、研修生に馬の取り扱いや騎乗を指導しています。私自身が外部研修を受けるなど日々勉強中で、教官として未熟で補佐的な立場ですが、研修生たちが馬の楽しさを感じながら成長していく姿に、やりがいを感じています。大学生活で一番の思い出は、馬術部に入った10人の同期が全員4年後に卒部できたことです。北海道はサラブレッド生産だけでなく、日本の農業の本場です。酪農学園大学では、本場の農業をリアルに学べます。私も研究室でさまざまな企業や農場の見学に行けたことで、興味の範囲が広がりました。動物が好き、自然が好き、北海道で暮らしてみたい。そんな人に本学をお薦めします。私もそうでしたが、4年間夢中になれることが、きっと見つかります。



酪農学部 酪農学科（現・循環農学類）

株式会社明治 恵庭工場

小川 啓示 さん 2010年3月卒業
北海道／武修館高等学校出身

酪農家と乳業メーカー 発展の架け橋に

私の実家は酪農家。小さい頃から食べることと動物が大好きで、高校生の時には食品や動物に関わる仕事がしたいと思っていました。その両分野が学べる大学として、私の理想と最も合致していたのが酪農学園大学でした。酪農学科では、酪農や食に関する座学だけでなく、学内の農場で牛の胃の中に手を入れて内容物を調べたり、学外実習では酪農家の所で牛の世話をしたりしました。難しい内容も自分が学びたいと思っていたことなので、楽しんで学習できました。講義の後は、日本拳法部で鍛錬。ゼミは天然物化学研究室で、友人や先輩と植物成分の有用性について研究しました。現在は、株式会社明治の恵庭工場に勤務しています。夢だった「食品や動物に関わる仕事」を実現するにあたって、乳業は食品、動物（牛）のどちらにも関わることができる理想の職業です。工場では、市乳製造に加え、サステナビリティへの取り組み強化に向けて日々業務にあたっています。食品を扱う責任ある仕事に、とてもやりがいを感じます。酪農家と乳業メーカーのさらなる発展への架け橋になれるよう努力していくことが、今の目標です。酪農学園大学でしか学べないことを実践し、よく学び、よく食べ、よく遊んでください！



食と健康学類 食品機能科学コース
(現・食資源開発学コース)

北海道ワイン株式会社 製造企画部 品質管理課

鹿野 皓己 さん 2018年3月卒業
北海道／北海道北陵高等学校出身ワインサークルへの参加が
自身の夢を決めるきっかけに

私は現在北海道ワイン株式会社でワインの品質管理に携わっています。高校生の頃はコーヒー飲料を製造する仕事がしたいと食品化学を学べる酪農学園大学に入学しました。ワインに興味を持つきっかけは、在学中にオリジナルワインプロジェクトを行うサークル「ROWP」に参加したことです。ぶどうの栽培に触れ、収穫したぶどうがワインになる工程を通じてワイン造りに魅了されこの道に進みたいと思いました。所属する品質管理課ではワインの成分分析や発酵管理、仕込んだワインの貯酒管理、ワイン仕込みに向けて醸造所内の業務改善や清掃、洗浄等を行っています。ワインを造る上で特に意識をしているのが「異変」に気付くことです。ぶどうの受け入れから、醸造、貯蔵、瓶詰めに至るまでの各種製造工程で小さな変化を見逃さず、香りや味はもちろん、日々の分析結果から異変を早期に気付けるよう心がけています。これらの作業の基礎になっているのが本学の食品機能科学総合実験概要の講義です。ワインの香り成分である有機化合物について学んだこと、また実習で実験器具の使い方や手入れ方法を知ったことはワインの製造に携わる上で大いに価値のある経験だったと思います。食は人が生きる上で欠かせないだけではなく、人生を豊かにする上でもとても重要な要素です。食品化学だけではなく流通や企画開発など多角的に学びたいと思ったらぜひ「食と健康学類」で学んでみてください。あなたの「知りたい」を学び得ることができますよ。



食と健康学類 食品流通学コース

コープさっぽろ

谷口 李駆 さん 2020年3月卒業
北海道／札幌啓北商業高等学校出身大学での学びや経験が
現在の私を作っています

私は高校在学中から将来は食品のバイヤーになることを目標としていました。そんな時に本学のオープンキャンパスに参加し、バイヤーになるために身に付けたい食の知識を学ぶことができると感じ、食と健康学類に進学しました。食品バイヤーを目指すうえでさまざまなスーパーの売り場を視察し、なかでもコープさっぽろの売り場の商品が一番おいしそうで、きれいな陳列だと感じ、私もこの売り場づくりに携わりたいと入社を決めました。現在は、食品部門のチーフとして、チラシに載る商品の発注や補充、パートさんへの指示などを行っています。売り場の華である季節催事の売り場づくりは大変ながらも、自分で試行錯誤した売り場の商品が売れることにやりがいを感じています。大学在学中は、菌に関する勉強を通じて、食品の安全性、衛生面について学びました。この知識は現在の仕事に生かされていると感じています。また、大学でゼミ長だった時に培ったコミュニケーション能力は、上司と部下との意見調整や、他部門との折衝などいろいろな人と携わる際にも役立っています。酪農学園大学は札幌からすぐ近くでありながら、土地も広く空気がきれい、気分良く通えるのも魅力だと思います。大学生活の4年という歳月は、長いからいろいろなことを後回しにしがちです。しかし私のように在学中に旅行や新しいことにチャレンジしておけばよかったと後悔する可能性があります。思った時にすぐ行動することが充実した大学生活につながると思います。



食と健康学類 管理栄養士コース

市立札幌病院 栄養科

小鹿 真由 さん 2016年3月卒業
青森県／八戸南高等学校出身病院の管理栄養士として
さまざまな経験を積んでいます

管理栄養士を目指し、国家試験の合格率が高い本学に入学しました。少人数制クラスや牛の観察・チーズづくりなどの授業があることも魅力でした。保健センターや小学校で実習する中で、行政栄養士になろうと札幌市公務員になり、現在の職場に配属となりました。患者さんの栄養指導や栄養管理では、病態や患者さんの理解度に合わせて、指導の内容を変えています。食事の調整や補助食品の付加もすれば、口から食事を摂れない方の点滴の内容を医師に提案もします。印象に残っているのは、全身に重度の火傷を負った患者さんです。最初は胃に直接チューブで流す栄養の内容調整をしましたが、最終的に食事を全量食べられ、歩行できるまでになりました。本学では教授が医師で臨床の授業が手厚く、知識を深めることができて、臨床現場で役に立ちます。管理栄養士試験勉強のため、友達の家で集まったり、教室に夜中まで残ったり、また本学のソフトクリームを食べながら、励まし合って勉強したのはいい思い出です。本学での友達の存在があったからこそ、受かったと思います。管理栄養士は経験を積むことで輝く資格なので、資格を取ったその先に何をしたいのかを考えて大学生活を送るといいですね。勉強は大変ですが、合格へのサポートが手厚いことも本学の魅力の一つです。



食と健康学類 食品流通学コース

セイコーリテールサービス株式会社
営業支援部堀端 友貴 さん 2019年3月卒業
北海道／酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校出身学んだことすべてが
仕事のさまざまな面で活かしています

私は大学時代セイコーマートの店舗でアルバイトをしており、インターンシップや説明会で先輩社員の姿を見て、入社しました。現在、支援が必要な店舗の応援や新人がいる店舗での研修、移転新店の立ち上げなどに携わっています。「北海道の食のインフラ」の誇りを持って、仕事に打ち込んでいます。製造・物流・小売の幅広い事業を行うセコマの一員として、複数の部門・分野で活躍できるプロフェッショナルを目指しています。私は農産物の知識や食品加工の技能を学び、社会に貢献するため酪農学園大学に入学しました。3年次からは食品生産システム研究室に所属し、江別の豆腐工場でHACCP講習会の受講や、東京の物流施設の視察など、貴重な体験をさせてもらいました。専攻した品質管理、商品開発はもちろん、4年間で学んだことすべてが、仕事のさまざまな面で活かしています。部活の合気道を通じて、忍耐力、集中力、思いやりの心を養えたことも良かったです。酪農学園大学は、興味深く専門的なことが学べ、やりたいことを見つけるには最高の場所です。全国から集まる仲間と積極的に接し、一つでも多くの経験を積んで、自分の夢をイメージして頑張ってください。



環境共生学類 野生動物学コース

東北野生動物保護管理センター

大室 智暉 さん 2018年3月卒業
山形県／山形県立楯岡高等学校出身人と野生動物が共生できる
地域づくりに貢献したい

私は宮城県にある「東北野生動物保護管理センター」に勤務しています。主に東北地方を中心に野生動物の調査・研究および獣害対策に関わる業務を行っています。対象となる動物は、ニホンザルやツキノワグマ、イノシシにニホンジカなど、中型・大型哺乳類と幅広く担当していて、多彩な知識が求められます。ある業務で生体捕獲したニホンジカにGPS首輪を取り付けて追跡調査を行いました。結果として季節により変化する生息域を特定できたことで、シカの獣害対策に有用な情報を得ることができました。自身の仕事が役に立てたことにやりがいを感じたとともに、本学で経験したフィールドワークが活かしていることを嬉しく感じました。私は専門学校から本学へ編入をしています。専門学生の中から野生動物の保護管理に興味がありましたが、学びの場の選択に迷っていました。ある時に参加したシンポジウムで本学の教授の講義を聞き、この先生の元で学びたいと思ったのが入学のきっかけです。在学中は所属する研究室で、他の研究室と共同で動物のモニタリング調査を行いました。その活動を通して尊敬できる先生方や気の置けない学友と出会えたことは、社会人になった今でもかけがえのない宝物です。私は本学で学んだ知識や経験が、現在携わっている業務でも活かしていると感じます。日々の授業もそうですが、「大学で得たものを将来どう活用できるか」を考えながら大学生活を過ごすことが大切だと思います。



環境共生学類 野生動物学コース

公益財団法人 知床財団 公園事業係

谷 洸哉 さん 2016年3月卒業
北海道／北海道岩見沢農業高等学校出身さまざまな仕事を経て好きを発見
何事も挑戦することが大事

私は知床にある「知床五湖フィールドハウス」で勤務しています。もともと大学卒業後は別の仕事に就いており、今の職場には当初アルバイトとして雇用されました。そして所属の知床財団の活動を知ると共に、もっと国立公園の利用に携わりたいという気持ちが膨らみ翌年正式に入社しました。知床国立公園内にある知床五湖の遊歩道はヒグマや植生保護の観点から、散策利用者には立ち入り手続きとレクチャー講習が課せられています。私はその利用者レクチャーをはじめ、知床五湖の調査、動植物のモニタリング業務などを行っています。大学ではヒグマの生態調査の研究をしていました。広大なフィールドで行う調査やそこで得られたデータの分析、また仲間と過ごした時間など研究室に入ってから、すべてがかけがえのない思い出となっています。現在の仕事でも、利用者へヒグマについて普及啓発をするうえで大学時代の研究が大いに役立っています。ほかにも業務の中には所属とは関係のないエゾシカの捕獲や知床岬の巡視などもあり、本学で学んださまざまなフィールドワークの経験が活かしていると感じます。私はいろいろな職を経てようやく現在のやりたい仕事に出会えました。みなさんは大学進学も含めこれから「選択する」という機会が増えますが、その選択は自由です。興味があれば何事にもまず挑戦してみてください。立ち止まる勇気より、一歩前へ進む勇気が大切だと思います。



環境共生学類 野生動物学コース

北海道 釧路総合振興局 保健環境部
環境生活課 自然環境係井川 由唯 さん 2020年3月卒業
北海道／札幌新川高等学校出身大学では狩猟免許も取得
多様な経験を仕事に活かしています

野生動物のことをフィールドで学びたくて、本学に入学しました。野生動物の授業を受け、エゾシカなどの調査をし、狩猟免許も取得しました。その知識や経験を活かせる仕事がしたいと、北海道職員になりました。現在、狩猟免許試験の運営や、釧路管内での狩猟の手続き、ノットロールなどの仕事をしています。アライグマの捕獲計画やタンチョウの分布調査などでもしており、北海道と釧路管内の市町村の橋渡し役でもあります。そうした業務において、本学で学んだ動物についての知識や実習での経験をしばしば応用しています。サークル活動で得たコミュニケーション能力も、職場や市町村の担当者や打ち合わせをする際に役立っています。本学では広大なフィールドや動物たちと接することで、他の大学とはひと味違った経験ができます。自然に興味がある学生が全国から集まるので、そんな仲間たちと共に過ごす時間は貴重です。私は2年次の頃に海外実習先のマレーシアで現地の学生と交流し、日本とは異なる文化や生物をたくさん体験しました。本学は自然や野生動物が好きな人にはピッタリです。授業も大切ですが、サークルや趣味などさまざまなことに挑戦し、たくさん経験を積んでください。それが将来必ず役立ちます。



環境共生学類 生命環境学コース

浜頓別クッチャロ湖水鳥観察館
浜頓別町役場千田 幹太 さん 2017年3月卒業
岩手県／黒沢尻北高等学校出身研究フィールドで子どもたちと触れ合い
環境教育の仕事へ

私はラムサール条約登録湿地の拠点である浜頓別クッチャロ湖水鳥観察館で、自然環境に関することを中心に勤務しています。具体的には、来館者の案内、近隣学校での授業、野鳥の標識調査、ハクチョウの飛来数調査・発信器調査、大学や研究機関の調査協力、子どもチームの活動、湖水まわりの開催や、観光などにも携わっています。大学での一番の思い出は、研究室での活動です。浜頓別町には、環境地球化学研究室に所属している時に約20回、足を運びました。他にもいくつか研究フィールドがあり、全てのフィールドに参加。徹夜で分析をしたり、環境教育のプログラムを考えたり、大切な仲間もできてとても楽しかったです。その活動の1つに、浜頓別町の子どもチームと一緒に「環境キャンプ」がありました。社会人になっても子どもと活動したいと思い、指導教員の吉田磨教授から、浜頓別町を紹介していただきました。実習や卒業論文に取り組む際、さまざまな分析機器や調査道具を使いますが、本来は大学院生からしか使えない機器でも、酪農学園大学では積極的に使用方法が学べます。技術を身に付けることは、就職後の即戦力にもなります。ハードな面もありますが、全国から集まる仲間と一緒に、楽しい学生生活を送ってください。



獣医学群 獣医学類

福岡夜間救急動物病院

藤 将大 さん 2021年3月卒業
福岡県／西南学院高等学校出身多くの動物の命を救う
幅広い獣医の知識を学べる場

高校時代、将来は臨床獣医師として活躍がしたいと漠然と思っていたものの、その対象を産業動物、伴侶動物、展示動物の中で決めかねた結果、バランスよく学べる本学に進学しました。所属していた「獣医病理学ユニット」では、病理解剖や組織診断を通じて「なぜこの病気になるのだろうか?」という疑問を追究しました。その過程で診断・治療に必要な基礎獣医学的な考え方など、現職で活きる多くの学びを得たと思います。現在は地元福岡市内にある福岡夜間救急動物病院で、犬と猫の臨床獣医師として新卒より働いています。同病院は全国的にも数が少ない年中無休の夜間専門病院です。救急病院勤務で心掛けているのが、飼い主様の方に「速く」「分かりやすく」「正確」に説明すること。救急疾患は短時間で容体が急変することも多いため、現在の状態や治療の必要性を素早く伝え、処置の方向性を決断していただくこともあるからです。印象に残っていることは初めて犬の帝王切開を執刀した時です。母体より胎児を急いで取り出し、無呼吸状態の胎児の背中を必死に擦りました。しばらくすると子犬が「ミュー、ミュー」と鳴き始め、新しい命が誕生する瞬間に立ち会い、思わず感動してしまいました。大学受験の際に、しっかりとした目標を持つことは素晴らしいと思いますが、中には定まった目標を持つことが難しい人もいます。「何となく生き物が好きだから学びたい」、「大自然や広大な大地に対する憧れがある」といった漠然と思いで入学の動機としては十分だと思います。酪農学園大学はそんな思いを受け入れてくれる大学です。



獣医学群 獣医学類

オホーツク農業共済組合
湧別家畜診療所マンビ モンゴメリ さん 2020年3月卒業
北海道／札幌南高等学校出身獣医師としてのチャンスを
さまざまな角度から提供してくれる

私は幼少期の自然や動植物に対する興味から、生命科学の専門家である獣医師になりたいと思いました。在学中に農業共済組合(NOSAI)に所属する獣医師の働き方や生き方に触れと共により、さまざまな興味や技術を持つ人が多いことを知り、その影響を受けながら自身が成長できると感じオホーツクNOSAIに就職を決めました。NOSAIは大動物診療の分野では国内最大規模の組織です。特にオホーツクNOSAIは症例報告や学術発表が多く、それぞれが日々の経験から得た知見を広く共有する風土が根付いています。現在は乳牛を主に、肉用牛までの一般診療や繁殖診療、また家畜共済制度運営のための保険業務を行っています。仕事では未熟な部分もあり無力感を感じることも多いですが、しかし自分の治療で瀕死の子牛が元気を取り戻したとき、また伝染病を拡散前に発見できたときなど、自身の手で何かを変えられたときは仕事のやりがいを感じられます。本学で得た経験として、十勝の酪農家さんで実習を行っていた時に、早朝の牛のお産で叩き起こされて、わけもわからないまま、引つ張れ、押せ、バケツ持ってこいなどの緊迫したドタバタに巻き込まれました。なんとか無事に生まれてきた子牛、それを愛おしそうに舐める親牛、全身羊水などでぐちゃぐちゃになった背中をバンバン叩きながらいい仕事したなど笑う酪農家さん。今でもはっきり覚えています。獣医師を目指すきっかけは人それぞれだと思いますし、その職種は多岐にわたります。本学ではその多くに触れる機会があります。自分がどの分野で活躍していくかを最初から決めつけず、大学の提供してくれるチャンスを広く体験してと自分の道が見えてくると思います。



獣医学部 獣医学科 (現・獣医学群 獣医学類)

日本動物特殊診断株式会社

蛭沢 雅司 さん 2012年3月卒業
北海道／札幌第一高等学校出身獣医学の知識・研究を活かして
実験室から一次産業を守る

私は酪農学科へ入学しましたが、動物を守り、私たちの食や伴侶動物を守りたいと思うようになり、獣医学科へ再入学しました。獣医生化学教室では、自分の予測通りにいかなかった時、ただ失敗にするのではなく、新たな発見が隠れているかもしれないと、多角的に物事を考えることを学びました。その発想は現在、お客様からの相談に柔軟な対応ができることにつながっています。仕事は生物、生体由来する試料や生物を取り囲む環境試料の分析、検査、試験、研究です。動物の乳や血液、糞便などの中から病原体(牛の乳房炎や肺炎、伝染性疾患)遺伝子の検索、アミノ酸やビタミンなどの微量な成分の測定をしています。先進的な技術により、実験室から一次産業を守ることに貢献しています。普段は実験室にいますが、学術集会などでお客様から、「検査により病気をコントロールできた」「病気の蔓延を防げた、ありがとう」といった声をいただくと、やりがいを感じます。本学には全国から学生が集まり、自然豊かな環境で多くの仲間たちと過ごせます。分野が異なる人とも語り、助け合ったことは最高の思い出です。たくさんのお会いと経験を大切にしてください。新たな発見と無限の可能性が待っています。



獣医学部 獣医学科 (現・獣医学群 獣医学類)

北海道中央農業共済組合
宗谷南部家畜診療所金枝 花 さん 2014年3月卒業
北海道／酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校出身自然や動物にこれほど
恵まれたキャンパスはない

私は主に酪農家を往診し、子牛の熱や下痢、成牛の乳房炎や蹄病などの治療を行っています。一番印象に残っているのは、首の筋肉が損傷した牛です。当初は起立もできませんでしたが、徹底して治療し、農家さんの手厚い看護もあり、私の顔を見ると走って逃げるくらい元気になりました。実家が酪農家だったため、牛を治していく獣医師に憧れて、酪農学園大学の獣医学部に入學しました。生産動物外科科学ユニットでは、内視鏡での第四胃変位の手術や、蹄病の治療、臍の手術など、さまざまな手術を見ることができ、今でも似たような症例ではその時のメモを見ます。中小家畜研究会というサークルで、豚の出産から立ちあい、かわいい子豚ちゃんを大きく育て、出荷することを経験しました。また、育てた豚を加工し、食べてもいました。出産から出荷、食べることで、「かわいい」だけでなく「命の大切さ」や「安全安心なおいしい食品をつくる大変さ」も学ぶことができ、農家さんの大変さも少しは体験できたと思います。早朝はエゾリスやキタキツネなどの野生動物が歩き、昼間は犬が散歩され、牛は放牧地で寝そべり、運がいいと学内を学生と歩く馬に出会い、少し奥まで見学すると豚や羊やヤギにも触れあえる。自然や動物好きにとって、これほど恵まれた環境のキャンパスはなかなかないと思います。



獣医保健看護学類

JRA栗東トレーニングセンター 橋口厩舎(調教助手)

幣旗 勇太郎 さん 2017年3月卒業
北海道／北海道静内高等学校出身動物への対応力を鍛え
夢であった競走馬の世界へ

私の実家は競走馬の牧場を営んでおり、小学生から高校生まで馬術を習うなど、小さいころから馬と触れ合ってきました。自然と将来は馬に関する仕事に携わりたいと考え、動物の幅広い知識が学べる酪農学園大学への進学を決めました。卒業後は千葉県の競走馬の牧場に就職し、現場で馬について学ぶうち競馬の最前線であるJRAの調教師になりたいと思うようになりました。そして2021年に調教助手の試験に合格し、現在はJRAの調教拠点である栗東トレーニングセンターで調教助手として働いています。馬、特に競走馬は些細なケガや体調不良が大きなケガや病気に繋がるため、いち早く気付くことが重要です。そのため毎日の馬体チェックは丁寧に時間を掛けて行うよう心がけています。馬の体調管理の基本を私は在学中に学びました。獣医保健看護学類では、学生自身が学類に所属する学類犬を世話する講義があります。実習はもちろん、日々の体調管理や体調のトラブルに対しても学生同士で話し合ってお互いに解決するなど、試行錯誤しながら学類犬と共に成長します。この時の経験が馬の体調管理や問題解決に対する引き出しの多さに繋がっていると思います。酪農学園大学の魅力は、自然と動物の多さだと私は思います。牛の乳搾りやバター作り、羊の毛刈りなど、農作物の種まきから収穫まで、動物看護の専門的な知識のみならずさまざまな農業や畜産に触れる機会は貴重なものです。自分の興味あることを学ぶチャンスはたくさんありますので、ぜひ皆さん挑戦してください。



獣医保健看護学類

札幌夜間動物病院

濱中 なぎさ さん 2017年3月卒業
山口県／山口県立岩国高等学校出身質の高い動物看護の学びが
実際の獣医療現場に活かしている

私は札幌夜間動物病院で動物看護師として勤務しています。診療中の保定や投薬準備、血液検査や尿尿検査といった獣医療業務を行うほか、受付の入電で症状を聞き出し重症度を判断することも重要な仕事です。また来院する飼い主様は当然不安を抱えているものです。しかし速やかな処置のためには迅速かつ正確なヒアリングが必要になるため、素早く情報を聞き出しつつ話し方や態度が威圧的にならないよう注意を払っています。治療後に動物が元気になった姿を見た時や、飼い主様から感謝の言葉をいただく時は、この仕事を選んで良かったと感じます。私が酪農学園大学に入学を決めたのは、伴侶動物だけではなく牛や馬など、幅広い獣医療が学べる点に魅力を感じたからです。1年次の健士健民入門実習は道外出身の自分にとって、今でも忘れられない刺激的な体験でした。また本学は獣医学類と学群が同じため、動物看護や獣医学の基礎を高いレベルで履修できます。夜間動物病院で働いている今も、麻酔や心肺蘇生の実習は仕事に活かしていますし、教科書は今でも読み返すことがあります。本学は農業大学で、自然に関するさまざまな興味に対し、学類の垣根を越えて挑戦できる環境が整っています。なにより北海道の広大な土地でしか味わえない貴重な経験ができることは、他の大学にはない魅力だと思います。みなさんも自然あふれる北海道で、可愛い動物たちとともに獣医療を学んで欲しいと思います。



獣医保健看護学類

ひのき動物病院

茶屋原 夕子 さん 2016年3月卒業
広島県／広島県立西条農業高等学校出身苦しむ動物を救える仕事に
誇りを持って日々取り組む

私は地元の広島にある「ひのき動物病院」に勤務しています。業務内容は多岐にわたり、朝は入院管理という、入院中の動物の体調チェックや食事、投薬準備などを行います。その後は午前診療が始まり、飼い主様の問診や診療の補助、検査や薬の準備に掛かります。午前診療が終わると次に手術や検査、往診業務に移り、最終的に午後の診療が始まります。対応する患者動物は犬猫だけではなく、ウサギやインコ、ヤギや馬などさまざまで、その患者動物に合わせた看護を日々心掛けています。任される仕事が増えた時はやりがいを感じますし、診察や手術の際に飼い主様から「頼りにしています」と言ってもらえることもあります。そのような時は「向上心を忘れず、知識もスキルも磨いていこう」というモチベーションにも繋がります。私は大学受験の際に動物看護の資格が取れる進学先を探していました。そして進学相談会で本学のカリキュラムや充実した設備、広範囲の動物種について学べることを知り入学を決めました。在学中に学んだことは今の仕事にも活かしていますし、中でも研究室での活動は人生に大きな影響を与えてくれました。元々興味があった野生動物の研究や、ダイビングライセンスの取得など、信賴できる仲間たちと過ごした経験はかけがえのないものです。大学の4年間はあっという間に過ぎてしまいます。今はまだ将来の夢が決まっていなくても、チャレンジすることで見えるものもあります。気になることは貪欲に挑戦し、後悔のない学生生活を送って欲しいと思います。



獣医保健看護学類

酪農学園大学附属動物医療センター
(生産動物医療部門 生産動物看護師)秋吉 珠早 さん 2015年3月卒業
大分県／大分西高等学校出身動物が好きで学びたい人にとって
本学は可能性の宝庫です

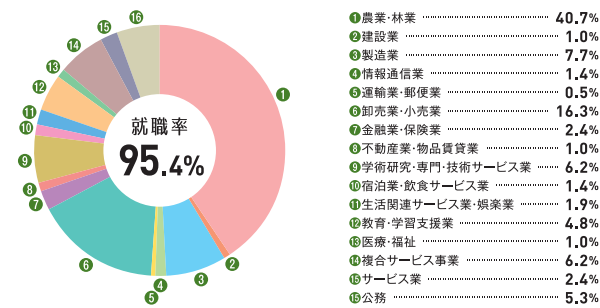
北海道で動物について学びたいと思い、酪農学園大学を選びました。獣医保健看護学類は犬猫など伴侶動物が中心であるものの、この大学の特色としてあらゆる動物について学べ、学類にかかわらず1年次から生産動物にかかわる講義・実習があります。その中でも学外農場実習やオハイオ州立大学への短期研修に参加したことが、私にとって生産動物の道へ進むきっかけになりました。今の職場を選んだのは、大学附属という最新の情報が入る環境で、日本では数少ない生産動物の「動物看護師」として、この分野での職域確立の可能性を模索し、後輩にも伝えていける魅力を感じたからです。現在、牛の人工授精や受精卵移植(家畜人工授精・受精卵移植の資格利用)、細菌検査、手術他診療補助などを行っています。繁殖にかかわる中で、一般診療側と繁殖側とで情報を共有し、農家に対してより細やかな診療・繁殖アプローチを提供できた時はやりがいを感じます。自分の授精した牛が分娩後、第一線で活躍しながら再び人工授精などで戻ってくるのが嬉しいときです。酪農学園大学は具体的な進路が決まっていなくても、動物が好きで学びたい人にとって興味を広げていける可能性の宝庫です。ぜひこの大学で自分の好きなこと、興味があることを探して追究してほしいと思います。



2021年度卒業生就職データ ※2022年5月現在

主な就職先 ※1 及び業種別円グラフ ※2

循環農学類



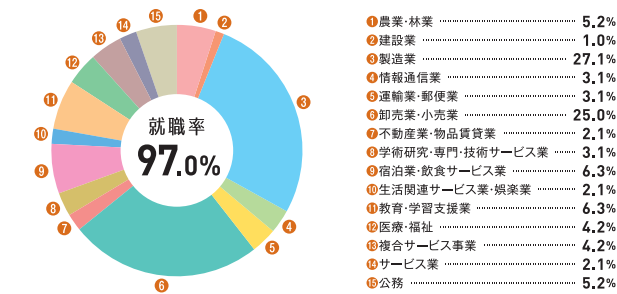
農業・林業 (株)アグリプロダクト笠井、(株)久保田農場、あすばらハウス、(有)加藤農場、(株)アンドファーム、松田牧場(株)、和楽堂養生農苑、(有)大原牧場、小岩井農牧(株)、(有)ウェルシーファーム、島淵牧場、(有)宇佐美牧場、(有)小林農産、(有)那須高原今牧場、(中)山中農場、(株)河野牧場、(有)朝霧メイブルファーム、(有)北広牧場、雪割牧場(有)、農事組合法人遠藤牧場、近藤牧場、(有)石坂牧場、菅井牧場、(有)ノースイースターファーム、ひえだ牧場、吉野牧場、アライホルスタイン、鈴木牧場、熊谷農場、農地所有適格法人(株)ジェイイーティファーム、(株)アグリス・ワン、(有)ビクトリーボーク、(有)プラトビク、(有)社台コーポレーション、ノーザンファーム、(株)大野ファーム、(株)ノベルス、(株)エフティファーム、(有)大造畜産、U.F.F Racing Club、(有)三嶋牧場、岩瀬牧場、小野幸一牧場、(株)サンエイ牧場、(有)めぐみ夢牧場、(株)悠牧舎、(株)武隈プリーディングファーム、(有)田中ファーム、尾形プロイラー農場、(有)鹿追町デリーリーサービスカンパニー、(有)浜中町酪農ヘルパー利用組合、(株)さくらなでこ、成瀬削蹄所

建設業 (有)珍田建設
製造業 ニチロ畜産(株)、スターゼン(株)、AWアグリフーズテクノ(株)、(株)山のハム工房コーバル、明治飼糧(株)、JA全農北日本くみあい飼料(株)、飛騨産業(株)、日本全業工業(株)、ホクレン/肥料(株)、ホクサン(株)、共立製菓(株)、(株)月寒製作所、日昭(株)、(株)ガッツ
情報通信業 (株)アクロビジョン、(株)システナ、(株)北海道新聞HotMedia
運輸業・郵便業 北海道旅客鉄道(株)
卸売業・小売業 東京シティ青果(株)、グローバルビッグファーム(株)、(株)ホクリヨウ、北海道プリマハム(株)、(株)石竹、(株)ホクドー、(株)コーンズ・エージー、日本ニューホランド(株)、(株)北海道クボタ、(株)マルゼン、(株)関東甲信クボタ、オールジャパンフリーダースサービス(株)、タイセイ飼料(株)、(株)モンペル、松崎糧穀商事(株)、生活協同組合コープさっぽろ、イオン北海道(株)、生活クラブ生活協同組合埼玉、セントラルグリーン(株)、(株)セコマ、アビ(株)、(株)南東北クボタ、(株)ヨドバシカメラ、(株)エムデジ、(株)ツルハ、(株)AHB、(株)藤橋商店、(株)コメリ、(株)ジョイフルエーカー、(株)ダイユーエイト、DCMホールディングス(株)、(株)レブニース
金融業・保険業 北海道信用農業協同組合連合会、宮崎県信用農業協同組合連合会、京都府農業共済組合、オホーツク統括センター(旧オホーツク農業共済組合)
不動産業・物品賃貸業 (有)帯広ドコモ、三田農林(株)
学術研究・専門・技術サービス業 地方独立行政法人北海道立総合研究機構、独立行政法人家畜改良センター、(公財)北海道農業公社、(公財)群馬県畜産協会、(公財)日本装削蹄協会、(公財)全国和牛登録協会、(株)トータルハードマネジメントサービス、(一社)ジェネティクス北海道、(株)マーキュリー、共同エンジニアリング(株)、(株)スタジオアリス、(株)フジモリ牛群サポート
宿泊業・飲食サービス業 (株)タスク、(株)あきんビスシロー、LATURE
生活関連サービス業・娯楽業 (株)乗馬クラブクレイン、日本中央競馬会、(株)秋葉牧場(成田ゆめ牧場)
教育・学習支援業 北海道旭川農業高等学校、北海道教育委員会、北海道ニセコ高等学校、北海道岩見沢農業高等学校、福島県教育委員会、長野県教育委員会、三重県教育委員会、北海道大空高等学校
医療・福祉 (医)ヒューマンプロダクション(つばきウイメンズクリニック)、(株)富久屋
複合サービス事業 ながめま農協、とまこまい広域農協、浜中町農協、十勝農協連、そらち南農協、ひまわり農協、東京谷農協、いわみざわ農協、北宗谷農協、新岩手農協、幕別町農協、北オホーツク農協、木野農協
サービス業 UTエイム(株)、(株)夢真、(株)アルプスアグリキャリア(旧(株)アグリ&ケア)、(株)APパートナーズ、(株)シー・アイ・シー
公務 防衛省・自衛隊、北海道、福島県、岩手県、長野県、岐阜県、三原村



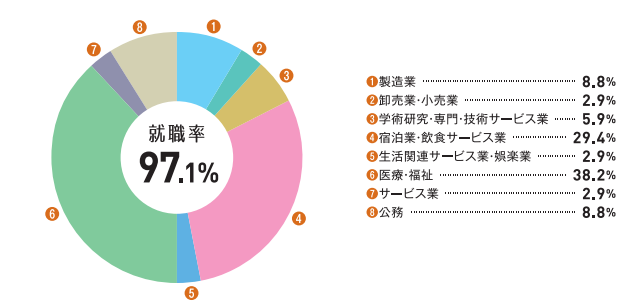
※1 自営者を除く ※2 自営者を含む
業種別グラフ内就職率:就職を希望した学生のうち、就職が決定した学生の割合

食と健康学類 (管理栄養士コースを除く)



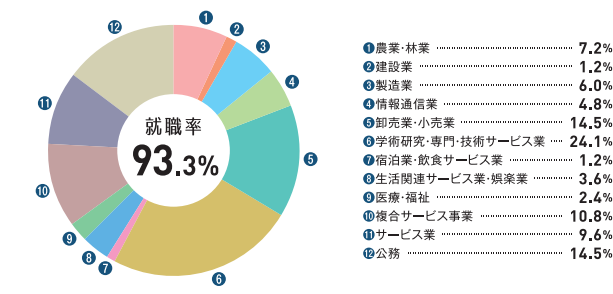
農業・林業 農事組合法人 蓮だより、(有)大木牧場、全農畜産サービス(株)
建設業 (株)ネクサス
製造業 伊藤ハム(株)、新札幌乳業(株)、北海道保証牛乳(株)、森乳業(株)、日本酪農協同(株)、(株)菊水、サンマルコ食品(株)、福山醸造(株)、(株)弁釜、フジフーズ(株)、日糧製パン(株)、(株)ロバパン、北海道日高乳業(株)、(株)ケイシイシイ、(株)武蔵野、スターゼン(株)、岩手缶詰(株)(株)大麦工房ロア、平和食品工業(株)、北海道コカ・コーラプロダクツ、岩井機械工業(株)
情報通信業 (株)アイティ・コミュニケーションズ、沖縄テクノス(株)、(株)バーナーソフト
運輸業・郵便業 TKタクシー(株)、SBSフレックネット(株)、(株)ヒューテックノオリン
卸売業・小売業 東海澱粉(株)、(株)ホクリヨウ、日本アクセス北海道(株)、福岡大同青果(株)、札幌みらい中央青果(株)、(株)ミート前田、(株)ニッセン産業、イオン北海道(株)、(株)ラルズ、(株)ロピア、ハムユーレ(株)、(株)キャメル珈琲、(株)ヨドバシカメラ、(株)メガネット、(株)サンドラッグプラス、(株)マックスガイ
不動産業・物品賃貸業 (有)エステティ相馬、大和リビング(株)
学術研究・専門・技術サービス業 (株)クロスアブリード、(株)イング北海道、(株)テクノプロ・コンストラクション
宿泊業・飲食サービス業 (株)琉球ホテルリゾートオクマ、(株)アレフ(びくりリンドキー)、日本マクドナルドホールディング、(株)SENSACION、(株)フォーモーション
生活関連サービス業・娯楽業 (株)新和、(同)ユー・エス・ジェイ
教育・学習支援業 北海道教育委員会、駒澤大学附属苫小牧高等学校
医療・福祉 (医)メディカルインテリジェンス グリンドentalクリニック、(福)松里福祉会、(福)共働学舎、(株)リーベ
複合サービス事業 サツラク農協、ながめま農協、あきがわ農協
サービス業 (株)アウトソーシングテクノロジ、(株)北海道シー・アイ・シー
公務 北海道警察、神奈川県警察、宮城県警察、小樽市

食と健康学類 (管理栄養士コース)



製造業 ベル食品(株)、中部フーズ(株)、(株)八天堂
卸売業・小売業 (株)薬王堂
学術研究・専門・技術サービス業 (株)池田理化、シダックス(株)
宿泊業・飲食サービス業 (株)レジスタ(REGISTA)、日清医療食品(株)、エームサービス(株)、(株)アスモフードサービス、(株)キプラス
生活関連サービス業・娯楽業 (株)セサミ
医療・福祉 松前町立松前病院、(医)明理会道南ロイヤル病院、(医)栗林歯科医院、(医)医誠会、遠軽共立病院、長万部町立病院、(福)剣洲北斗会、(福)緑陽会、(福)きたの愛光会こもれびの里、(福)どんご会、(医)萌佑会 介護老人保健施設 ゆあみーる、(福)杉の子保育会
サービス業 (株)モードプランニング・ジャパン
公務 防衛省・自衛隊、滝上町、根室市

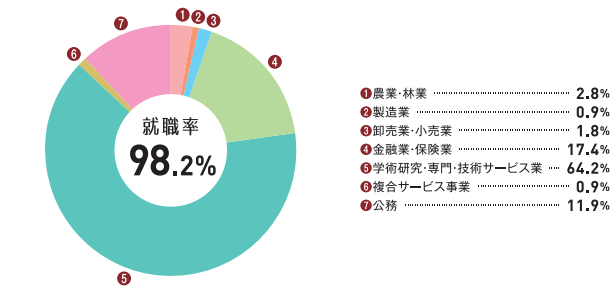
環境共生学類



農業・林業 杜のいちご(株)、(有)バインランドデリーイ、出田牧場、インターファーム(株)、(株)アーク、(有)柴畜産
建設業 エイコー技研(株)
製造業 JA西日本くみあい飼料(株)、三津橋産業(株)、日本赤十字社北海道ブロック血液センター、日本耐酸塩工業(株)、ナバック(株)
情報通信業 (株)北海道総合技術研究所、ESRIジャパン(株)(エスリジャパン)、北海道地図(株)
卸売業・小売業 (株)アイミック、(株)北海道クボタ、大阪よどがわ市民生協、イオン北海道(株)、(株)ベシシア、(株)さが美、(株)ジンス、札幌トヨタ自動車(株)、十勝三菱自動車販売(株)、(株)ツルハ、(株)ジョイフルエーカー
学術研究・専門・技術サービス業 (公財)北海道農業公社、(株)PASCO、(同)キリモジ、(株)エコニクス、(株)地域環境計画、(株)北海道朝日航洋、野外科科学(株)、(株)マーキュリー、明治コンサルタント(株)、(株)森林環境リアライズ、内外エンジニアリング北海道(株)、(株)興和測量設計、札幌建設コンサルタント(株)、(株)佐藤測量、東京パワーテクノロジー(株)、日本データサービス(株)、(株)山口技研コンサルタント、(株)ユニテック、(公社)北海道栽培漁業振興公社、(株)アケアジオテック
宿泊業・飲食サービス業 (株)知床第一ホテル
生活関連サービス業・娯楽業 (株)合田観光商事、スポーツクラブNAS(株)、十勝アウトドアメイツ
医療・福祉 (福)音更町柏寿協会、ブルー・ケア(株)
複合サービス事業 札幌市農協、オホーツク網走農協、鶴川農協、とうや湖農協、美瑛町農協、十勝農協連、はが野農協、更別村農協、北海道有機農協
サービス業 三友プラントサービス(株)、日研トータルソーシング(株)、イカリ消毒(株)、ALSOK北海道(株)、(株)関西シー・アイ・シー、(株)nobitel、国富(株)
公務 農林水産省、防衛省・自衛隊、国土交通省、北海道、北海道警察、千葉県、三笠市、警視庁、浜中町

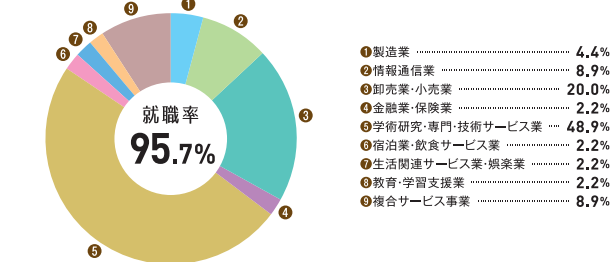


獣医学類



農業・林業 インターファーム(株)、日本クレア(株)、社台ファーム
製造業 藤本製菓(株) **卸売業・小売業** イオンペット(株)
金融業・保険業 北海道農業共済組合、十勝統括センター(旧十勝農業共済組合)、宮城県農業共済組合、山形県農業共済組合、滋賀県農業共済組合、岡山県農業共済組合、香川県農業共済組合、オホーツク統括センター(旧オホーツク農業共済組合)、ひがし統括センター(旧北海道ひがし農業共済組合)、みなみ統括センター(旧みなみ北海道農業共済組合)
学術研究・専門・技術サービス業 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構、(株)ボソリサーチセンター、(独)家畜改良センター、北海道衛生研究所、(有)ホクアイ・ベッツ北愛動物病院、(株)グリーンフォレスト緑の森どうぶつ病院、東千葉動物医療センター(沢村獣医科病院)、(有)野田動物病院、(株)大冬希大阪動物医療センター、福岡中央動物病院、(有)宗像犬猫病院あさか台動物病院、(株)王子ペットクリニック、ミスノ動物クリニック、カソラ犬猫病院、あいの里動物病院、中標津家畜健康センター、(有)アースベッツアース動物病院、(株)刈谷動物病院グループ、(株)コジマ(コジマ動物病院)、(有)梅島動物病院、ほさか動物病院、浜松どうぶつ医療センター木保動物病院、長屋動物医療センター、平成動物病院、池沢動物病院、神戸西動物医療センター、ベッククリニックハルヤ、(有)おがた動物病院、(有)榎馬動物医療センターホント動物病院、加古川動物病院、(株)テリアもりやま犬と猫の病院、(株)大山動物総合医療センター、(有)豊浦獣医クリニック、(社)松浦地区畜産振興会松浦地区家畜診療所、アニホスフォレスト(株)Pet Clinicアニホス、(株)JPR、倉敷ペットクリニック、(有)エレファントエレファント動物病院、埼玉動物医療センター、目白通り高度医療センター(小滝橋動物病院グループ)、酪農学園大学附属動物医療センター、北海道大学大学院獣医学研究科付属動物病院、(有)松原動物病院、高橋動物病院、ノア動物病院、DVMsどうぶつ医療センター横浜、田中動物病院、川畑動物病院、ポツクル動物病院、かざなみ動物病院、ダクタリ動物病院品川ウエルネスセンター、(有)バルバール動物病院、オリバ犬猫病院、右京動物病院、かいげ動物病院、(株)ヴィアーレ動物病院、上桂動物病院、神戸ピア動物病院、だて動物病院、中部動物医療センター、円山動物病院
複合サービス事業 全国農業協同組合連合会
公務 農林水産省、北海道、熊本県、山形県、高知県、大阪府、大阪市、石川県、京都府、柏市

獣医保健看護学類



製造業 松田医薬品(株)、共立製菓(株)
情報通信業 (株)デジック、アイビシステム(株)、(株)DTS、NSSホールディングス(株)
卸売業・小売業 北海道キンビバレッジ(株)、(株)アグロジャパン、MPアグロ(株)、イオンペット(株)、(株)AHB、(株)ロイズ
金融業・保険業 ひがし統括センター(旧北海道ひがし農業共済組合)
学術研究・専門・技術サービス業 (株)グリーンフォレスト緑の森どうぶつ病院、江別白樺通りアニマルクリニック、赤坂動物病院、(有)HPCまさき動物病院、酪農学園大学附属動物医療センター、北海道大学大学院獣医学研究科付属動物病院、社台ホースクリニック、ガーデン動物病院、あかしや動物病院、南郷どうぶつ病院、だて動物病院、アイリス動物医療センター、abikoゆうざくら動物病院、えとう動物病院、(有)甲賀すずき動物病院、(大)東海国立大学機構岐阜大学応用生物科学部附属動物病院、(株)361*(クロス動物医療センターグループ)、廣瀬動物病院、円山動物病院、みらい動物病院(株)、森崎動物病院
宿泊業・飲食サービス業 カトープレジャーグループ
生活関連サービス業・娯楽業 モモセライディングファーム
教育・学習支援業 (株)鳥羽水族館
複合サービス事業 北宗谷農協、釧路丹頂農協、道東あさひ農協

キャンパス

学び・食・健康など学生生活のすべてを支援する施設と職員が揃っています。

キャンパスライフ紹介動画はこちら



附属図書館

図書館は情報の宝庫。約32万7千冊の蔵書数で書籍だけではなく、雑誌や新聞、DVDや語学CDなども揃っているのでフルに活用しましょう。

■図書・雑誌フロア(3F～5F)

一般図書から論文まで充実。静かな環境で勉強がはかどります。

■マルチメディアフロア(6F)

DVDや語学CDなど視聴覚資料が満載。AVブースで視聴もできます。

■オープンPCフロア(7F)

学生が自由に使えるパソコンが設置されています。

中央館



1F ロビー

お弁当を食べたり、友人とおしゃべりしたり、自習したりなど学生たちが自由に出入りできるフリースペースです。



2F



1F 生協中央店

軽くお昼をすませたい方はこちらへ。おにぎりやお弁当、パンなどがあります。



学生サービスセンター



1F 医務室

保健師が常駐しており、学生の日常の健康をサポート。ケガの応急処置のほか、健康や病気の相談にものってくれます。



1F

学生相談室

カウンセラーが常駐して、学生一人ひとりがより良い学生生活を送れるようサポートします。勉強のこと、健康のこと、対人関係など、相談できます。

D1号館



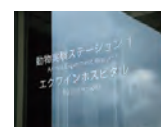
獣医保健看護学類実習室

ドッグトレーニングや動物ハンドリング実習、獣医保健看護学類で飼っている学類犬の健康チェック、同学類のゼミ活動などで主に使用します。また一般の方向けに行っている犬のしつけ教室や歯磨き教室にも使われています。



動物実験ステーション1

同ステーション内には、牛舎や羊舎等の他、EAEVE(ヨーロッパ獣医学教育機関協会)の国際認証評価基準に基づいたエクワインホスピタル(馬の診療施設)も設置されており、獣医学教育の質保証と国際化に取り組んでいます。



酪農学園ホール(学園生協)



1F

ホール

1Fのスペースは、食事でも、学生の憩いの場になっています。



1F

生協サービス店・ルームガイド店

帰省や就職活動の時など飛行機、ホテルのチケットを手配してくれます。卒業旅行もここでチェック。物件探しもラクラクです。



1F

生協購買店・書籍店

大学オリジナルブランド製品が買えるのはここだけ！参考書や文房具もここで揃えることができます。



2F

生協食堂

カフェテリア方式で、1日70品以上のメニューを用意。季節に応じて色々なフェアメニューが登場するなど、通い続けても飽きがきません。



健民館

合宿部屋

合宿エリアは浴室や厨房・食堂を完備しております。



4F



1F 2F

アクティブスペース

大きな多目的アクティブスペースのほか、課外活動部室や合宿スペースを完備。コモンスペースでミーティングも可能です。地下1階には吹奏楽団専用部屋もあります。



1F

アリーナ

開放感のあるアリーナには、吹き抜け部分にクライミングウォールを設置。ギャラリースペースもあり、観覧が可能です。



B4号館



2F

学習支援室

勉強のことで悩んだり、困ったりしたらここへ。英語と数学の専門学習支援アドバイザーが常駐し、学生の習熟度に合わせてサポート。



黒澤記念講堂



1F



2F

「健士健民」を提唱し、農民の育成を目指した酪農学園の創立者・黒澤西蔵の偉業を記念する講堂。1階では大学礼拝や講演会が行われ、2階には黒澤西蔵資料室などがあります。

部活動 クラブ・サークル

日々の学びとともに、生涯にわたる仲間ができる各種のクラブ・サークル活動も盛んです。大学間の交流や、社会人との交流も広がります。



馬術部



熱気球愛好会



硬式野球部



男子バスケットボール部



肉牛研究会



ブルーグラス研究所



男子アイスホッケー部



野生動物生態研究会



乳牛研究会



フライングディスクサークル



ラクロス部



どうぶつボランティア 幸せなしっぽ



中小家畜研究会



日本拳法部



酪農学園YOSAKOIサークル“祭”



フリークライミングサークル

その他のクラブ・サークル

体育系

- ・ソフトテニス部
- ・剣道部
- ・ラグビー部
- ・山岳部
- ・男子バレーボール部
- ・柔道部
- ・バドミントン部
- ・ワンダーフォーゲル部
- ・スキー部

- ・ウエイトリフティング部
- ・サッカー部
- ・陸上競技部
- ・少林寺拳法部
- ・空手道部
- ・アーチェリー部
- ・弓道部
- ・水泳部 酪泳会
- ・合気道部
- ・硬式テニス部
- ・軟式野球部

- ・女子バスケットボール部
- ・フリースタイルスキークラブ
- ・女子バレーボール部
- ・North Paddler
- ・卓球部
- ・ハンドボール部
- ・ビリヤードサークル Number9
- ・フットサルサークル「R-Foot」
- ・準硬式野球部
- ・自転車部
- ・女子アイスホッケー部

文化系

- ・合唱団
- ・軽音楽同好会
- ・写真部
- ・美術部
- ・音楽研究会
- ・近代演劇
- ・キリスト者学生会
- ・吹奏楽団
- ・旅行サークル“The travelers”

- ・漫画倶楽部
- ・創作文化研究会
- ・酪農学園ボランティアクラブ
- ・ESS
- ・酪農茶道部
- ・棋道部
- ・野菜サークル (V.R)
- ・植林研究会
- ・室内楽団
- ・アカベラサークル『唄種』

- ・野生動物との共存支援サークル えれふぁんと
- ・国際交流サークル SukaRela
- ・サマーアグリキャン
- ・ワインサークル“ROWP”
- ・動物保全研究会 ルウェ



暮らし

学生寮

色々な面で安心して暮らせるのが寮の魅力。大学の敷地内にあるから通学もラクラク。



学生寮の紹介動画はこちら

希望寮【男子寮】

快適な環境で、学びと友だちづくりができる男子学生寮

「希望寮」はキャンパスの西側にある男子寮です。隣接する附属高校との併設寮という特徴があり、生活時間が異なることから、高校生のスペースと大学生のスペースは完全に分けて配置。上級学年は1人部屋を選択することもできます。また、共用スペースとして、食堂、談話室、集会室、多目的室、学習室、浴室、洗濯室、乾燥室、フリースペースなど快適な環境が整っています。



1



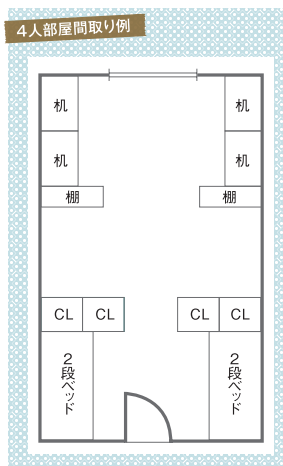
4人部屋



2



3



- ①各フロアにある談話スペース
- ②食堂で仲間と食事
- ③キレイな洗面所

清温寮【女子寮】

学年を超えた輪が広がる、安心・便利な共同女子寮

キャンパスの中心部ほど近くに建つ「清温寮」。1人部屋、2人部屋、4人部屋があり、バランスのとれた食事を提供する食堂や多目的室、無料の洗濯室などが整えられ、充実した学生生活をサポート。寮生が企画運営するイベントや男子寮（希望寮）との交流会も開催されます。学年・学類の枠を超えた友人たちとの共同生活は、成長していくための大きな財産となるでしょう。



1



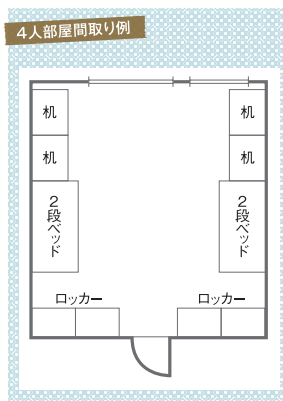
2人部屋



2



3



- ①4人部屋
- ②自由に使える洗濯機
- ③セキュリティ対応・エントランスのカードキー

1人暮らし

大学に入学してからはじまる新たな生活。学生に感想を聞いてみました。

共通QUESTION

- ②嫌だった事 ③大学まで徒歩何分? ④よく行くスーパー ⑤生活費(バイト代、仕送り、奨学金) ⑥家賃 ⑦部活・サークル

Q&A

獣医保健看護学類 2年
吉村 圭右さん
奈良県 / 桜井高等学校

- ① 酪農学園大学に来て良かった事ベスト3
 - 1 色々な動物に触れ合える
 - 2 全国に友達ができる
 - 3 自然豊かな場所に触れられる
- ② 雪がつらい
- ③ 徒歩20分
- ④ TRIAL
- ⑤ アルバイト 8万円
仕送り 3万円
奨学金 5万円
- ⑥ 4万円
- ⑦ オープンキャンパススタッフ

スーパー・駅近で便利!
快適な一人暮らし!



循環農学類 1年
三木 ひなたさん
大阪府 / 大阪女学院高等学校

- ① 酪農学園大学に来て良かった事ベスト3
 - 1 先生も職員さんも先輩もみんな優しい
 - 2 空港が近いから旅行に行きやすい
 - 3 自然豊かで景色が綺麗
- ② 寒い
- ③ 徒歩20分
- ④ TRIAL、ザ・ビッグ
- ⑤ アルバイト 8万円
仕送り 2万円
- ⑥ 2万1000円
- ⑦ オープンキャンパススタッフ、乳牛研究会



家賃2万1000円!
コンビニ・ドラッグストアのすぐ近く!

オープンキャンパス 2023 本学開催

第1回 7/22(土)・23(日) 第2回 9/16(土)・17(日)

学類イベント



体験見学イベント



学食体験

お腹が空いたら
おいしいランチ!
アイスももらえます!



じっくり相談してみよう

学生相談



教員相談



入試相談



など

オープンキャンパス
スタッフがあなたの
進路を応援します!!



WEBオープンキャンパス 2023

あなたのスマホが北海道・酪農学園大学とつながる!
大自然・北海道での学びを体感してください!

第1回

5/20(土)

第2回

2024 3/23(土)

出張オープンキャンパス in 大阪・東京

教員、学生、入試広報センター教職員が現地の会場で直接、酪農学園大学の魅力をお伝えします!!

大阪

8/26(土)



東京

8/28(月)



ミニ出張オープンキャンパス (全国5都市)

教員、学生が北海道からWEB出演! 入試広報センター教職員が、現地会場で個別相談を行います!

名古屋

5/28(日)

大阪

6/3(土)

東京

6/10(土)

福岡

6/17(土)

仙台

6/24(土)



学内見学

実際にキャンパスを見てみたい!
学内の雰囲気を経験したい! という
皆さんをお待ちしています。

学内見学期間

5/1(月)~10/31(火)まで
(土曜・日曜・祝日および8/10~17を除く)

時間

9:00~16:00

詳細・申し込み方法については
コチラから



いつでも質問可能
LINEでQ&A

LINEメニューから質問をタップ! 自動
応答ですぐに回答を受け取れます。

開催日時 常時開催中!

気になる質問をタップすると
すぐに答えが表示されます!

※LINE相談で解消しない
質問は、Zoom個別相談を
活用してください!



じっくり 事前予約制
Zoom相談

Zoomを利用し、大学教職員が直接
相談・説明を行います。

開催日時 5月下旬~
10/31(火)まで

お申し込みは
WEBオープンキャンパス
特設サイトにて!

酪農学園大学の特色を動画でチェック

酪農学園大学の大学紹介ムービーが満載。大学の最新ニュースから、すべての学類のことが知ることができたり、北海道・大自然にあるキャンパスを体験できます。

ムービー MOOVIE 酪農学園大学の最新ニュースを配信する
ムービーをこちらのQRからチェック!



受験生サイト

オープンキャンパス、出張オープン
キャンパス、ミニ出張オープンキャン
パスのお申し込みはコチラから



WEBオープンキャンパス 特設サイト

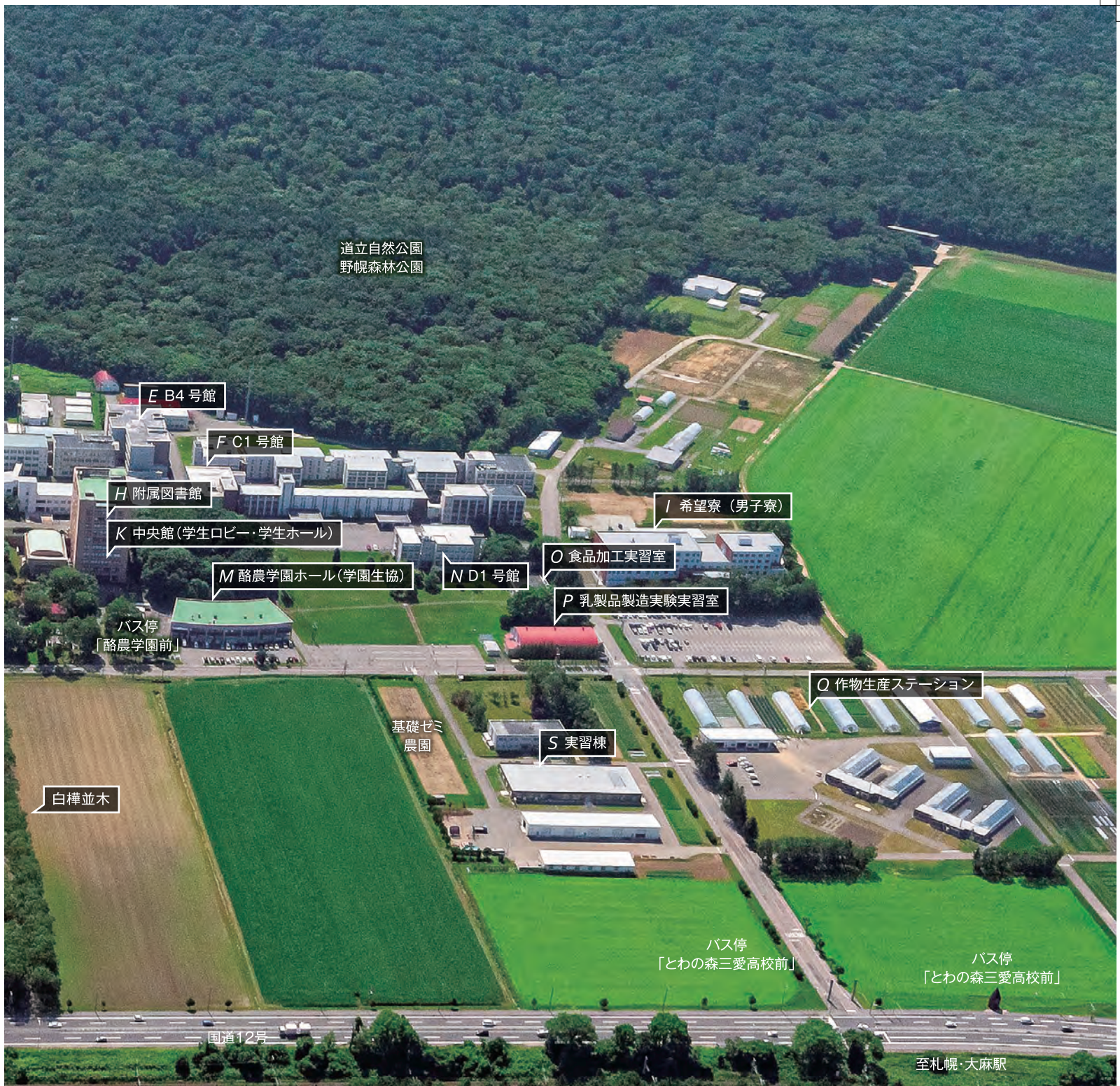
WEBオープンキャンパス、Zoom個
別相談のお申し込みはコチラから



オープン
キャンパス
スタッフ
Twitter



オープン
キャンパス
スタッフ
Instagram



2020年7月撮影



A 附属動物医療センター
詳しくは79ページをご覧ください



B 健身館
(格技・体育系部室)



C 健民館
(体育施設・トレーニングセンター)
詳しくは90ページをご覧ください



D 黒澤記念講堂
詳しくは90ページをご覧ください



E B4号館
詳しくは78・90ページをご覧ください



F C1号館



G 緑音館
(音楽系部室)



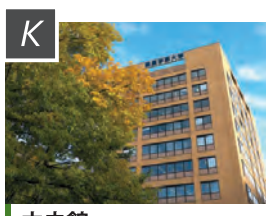
H 附属図書館
詳しくは89ページをご覧ください



I 希望寮 (男子寮)
詳しくは93ページをご覧ください



J 健音館
(音楽・演劇系部室)



K 中央館
(学生ロビー・学生ホール)
詳しくは89ページをご覧ください



L 清温泉 (女子寮)
詳しくは93ページをご覧ください



M 酪農学園ホール (学園生協)
詳しくは90ページをご覧ください



N D1号館
詳しくは89ページをご覧ください



O 食品加工実習室
詳しくは77ページをご覧ください



P 乳製品製造実験実習室
詳しくは77ページをご覧ください



Q 作物生産ステーション
詳しくは76ページをご覧ください



R 酪農生産ステーション
詳しくは74ページをご覧ください



S 実習棟



肉畜生産ステーション
所在地／北海道江別市元野幌1107
詳しくは75ページをご覧ください